

## 第 28 回「県民健康調査」検討委員会

日 時： 平成 29 年 10 月 23 日（月）13：30～15：50

場 所： ウエディングエルティ 2階 ハートンルーム

### 配付資料一覧

- 次 第
- 「県民健康調査」検討委員会 設置要綱及び運営要領
- 「県民健康調査」検討委員会 委員名簿
- 出席者名簿
- 座席表
  
- 資 料 1 県民健康調査「基本調査」の実施状況について
  
- 資 料 2-1 県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査2回目）】」結果概要
  
- 資 料 2-2 県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査3回目）】」実施状況
  
- 資 料 3 平成 29 年度 県民健康調査「健康診査」事業計画
  
- 資 料 4 平成 29 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」実施計画（案）
  
- 資 料 5-1 平成 24 年度「妊産婦に関する調査」の回答者に対するフォローアップ調査結果報告
  
- 資 料 5-2 平成 29 年度「妊産婦に関する調査」実施計画
  
- 資 料 5-3 平成 29 年度「妊産婦に関する調査」の変更点について
  
- 資 料 5-4 平成 29 年度 妊産婦に関する調査 調査票 及び フォローアップ調査 アンケートはがき
  
- 資 料 6 東京電力福島第一原子力発電事故における住民の線量評価に関する包括研究の経過報告
  
- 資 料 7 部会設置要綱及び部会員名簿
  
- 資 料 8 甲状腺がん等症例の把握について

## 第 28 回 「県民健康調査」 検討委員会次第

日時：平成 29 年 10 月 23 日（月）13：30～15:50

場所：ウエディングエルティ 2階 ハートンルーム

### 1 開 会

### 2 委員紹介

### 3 座長選出

### 4 議 事

(1) 東京電力福島第一原子力発電事故における住民の線量評価に関する包括研究について

(2) 基本調査について

(3) 詳細調査について

ア 健康診査

イ こころの健康度・生活習慣に関する調査

ウ 妊産婦に関する調査

エ 甲状腺検査

(4) 甲状腺検査評価部会及び学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会について

(5) その他

### 5 閉 会

## 「県民健康調査」検討委員会設置要綱

### (設置)

第1条 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげ、もって、将来にわたる県民の健康の維持、増進を図ることを目的として、福島県が実施する「県民健康調査（以下、「調査」という。）」に関し、専門的見地から広く助言等を得るために、「県民健康調査」検討委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の事項を所掌する。

- (1) 調査の実施方法等の検討に関すること。
- (2) 調査の進捗管理及び評価に関すること。
- (3) その他、調査の実施に必要な事項に関すること。

### (組織)

第3条 委員会は、知事が指名する有識者により構成する。

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、任期期間中において、新たに指名された委員の任期は、他の委員と同じとする。
- 3 委員は、再任されることができる。
- 4 委員会に座長を置き、委員の互選によってこれを定める。
- 5 座長は、委員会の会務を総理する。
- 6 委員会に座長代行を置き、座長がこれを指名する。
- 7 座長に事故があるとき又は座長が欠けたときは、座長代行が、その職務を代理する。

### (運営)

第4条 委員会の会議は、座長が招集する。ただし、委員の任期満了に伴い新たに組織された委員会の最初に開催される会議は、知事が招集する。

- 2 座長は、委員会の会議の議長となる。
- 3 座長は、必要があると認めるときは、委員会の会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴取することができる。

### (部会)

第5条 委員会は、専門的な事項について検討をするため、部会を設置することができる。部会の設置に必要な事項については知事が別に定める。

### (事務局)

第6条 委員会の庶務を処理するため、福島県保健福祉部健康衛生総室に委員会の事務局を置く。

### (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、知事が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成23年5月19日から施行する。

### 附 則

- 1 この要綱は、平成25年4月17日から施行する。
- 2 この要綱の施行日以後最初の指名があるまでの間、委員の任期は、改正後の要綱第3条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

### 附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

## 「県民健康調査」検討委員会運営要領

### (趣旨)

第1条 この要領は、「県民健康調査」検討委員会設置要綱（以下、「要綱」という。）第7条の規定に基づき、「県民健康調査」検討委員会（以下、「委員会」という。）の運営について、必要な事項を定めるものとする。

### (開催)

第2条 委員会は、定例会及び臨時会として開催する。

- 2 定例会は、年4回（概ね5月、8月、11月、2月）開催する。
- 3 臨時会は、前項の定例会開催以外に座長が必要と認めた場合に開催するものとする。
- 4 委員会の開催にあたっては、緊急の場合を除き、開催日の属する週の2週前の金曜日までに、報道機関への資料提供、県政情報センター、福島県ホームページに掲示することにより周知を行う。

### (公開)

第3条 委員会は、原則として公開するものとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、議長が会議に諮って、全部又は一部を公開しないことができる。

- (1) 委員会において、福島県情報公開条例（平成12年福島県条例第5号）第7条各号に定める不開示事由に該当する情報（以下、「不開示情報」という。）に関し審議を行う場合
  - (2) 委員会を公開することにより、公正又は円滑な議事運営に著しい支障が生じると認められる場合
- 2 全部又は一部を公開しないとした場合のオブザーバーの取扱については、議長が会議に諮って決定する。

### (資料)

第4条 委員会の資料は、次の各号のいずれかに該当する場合を除き原則として公開するものとする。

- (1) 福島県情報公開条例第7条各号に定める不開示事由に該当する情報に関する資料
- (2) 前条第1項第2号において使用した資料（ただし、委員会において公開することとしたものを除く）
- (3) 計数が確定していない資料等公開することが適当でない資料

### (議事録)

第5条 委員会を開催した場合は、議事録を作成する。

- 2 議事録は、事務局で案を作成し、議長が委員会 で指名した2名の議事録署名人の確認を得る。
- 3 議事録は、作成後すみやかに福島県ホームページに掲示し公開する。
- 4 前項の場合において、委員会の全部又は一部を公開せずに行った審議の内容については、議事録の内容に代えて、次の事項を記載する。
  - (1) 委員会の全部又は一部を公開せずに開催した理由
  - (2) 審議の概要
  - (3) 審議において使用した資料の名称

### 附 則

この要領は、平成25年4月18日から施行する。

### 附則

この要領は、平成26年4月1日から施行する。



# 「県民健康調査」検討委員会 委員名簿

50音順 ・ 敬称略

氏名	現職
あかし まこと 明石 真言	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 執行役
いなば としや 稲葉 俊哉	国立大学法人 広島大学 原爆放射線医科学研究所 教授
いのうえ ひとし 井上 仁	一般社団法人 福島県病院協会 会長
うめだ たまみ 梅田 珠実	環境省 大臣官房環境保健部長
かしわく いらいこ 柏倉 幾郎	国立大学法人 弘前大学 副学長（被ばく医療、COI担当）
かすが ふみこ 春日 文子	国立研究開発法人 国立環境研究所 特任フェロー （日本学術会議 推薦）
こだま かずのり 児玉 和紀	公益財団法人 放射線影響研究所 主席研究員
しみず かずお 清水 一雄	医療法人社団 金地病院 名誉院長 （日本内分泌外科学会及び日本甲状腺外科学会 推薦）
たかの とおる 高野 徹	国立大学法人 大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌代謝内科学 講師 （日本甲状腺学会 推薦）
たかむら のぼる 高村 昇	国立大学法人 長崎大学 原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野 教授
つがね しょういちろう 津金 昌一郎	国立研究開発法人 国立がん研究センター 社会と健康研究センター長
とみた てつ 富田 哲	国立大学法人 福島大学 行政政策学類 教授
なるい かなえ 成井 香苗	NPO法人 ハートフルハート未来を育む会 理事長 （福島県臨床心理士会 推薦）
ほし ほくと 星 北斗	一般社団法人 福島県医師会 副会長
ほりかわ あきひと 堀川 章仁	一般社団法人 双葉郡医師会 会長
むろつき じゅん 室月 淳	地方独立行政法人 宮城県立こども病院 産科科長 （公益社団法人日本産科婦人科学会 推薦）
やまざき よしひさ 山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター 副センター長・保健センター長 （公益社団法人日本小児科学会 推薦）

## 第28回「県民健康調査」検討委員会 出席者名簿

平成29年10月23日

○委員

50音順、敬称略

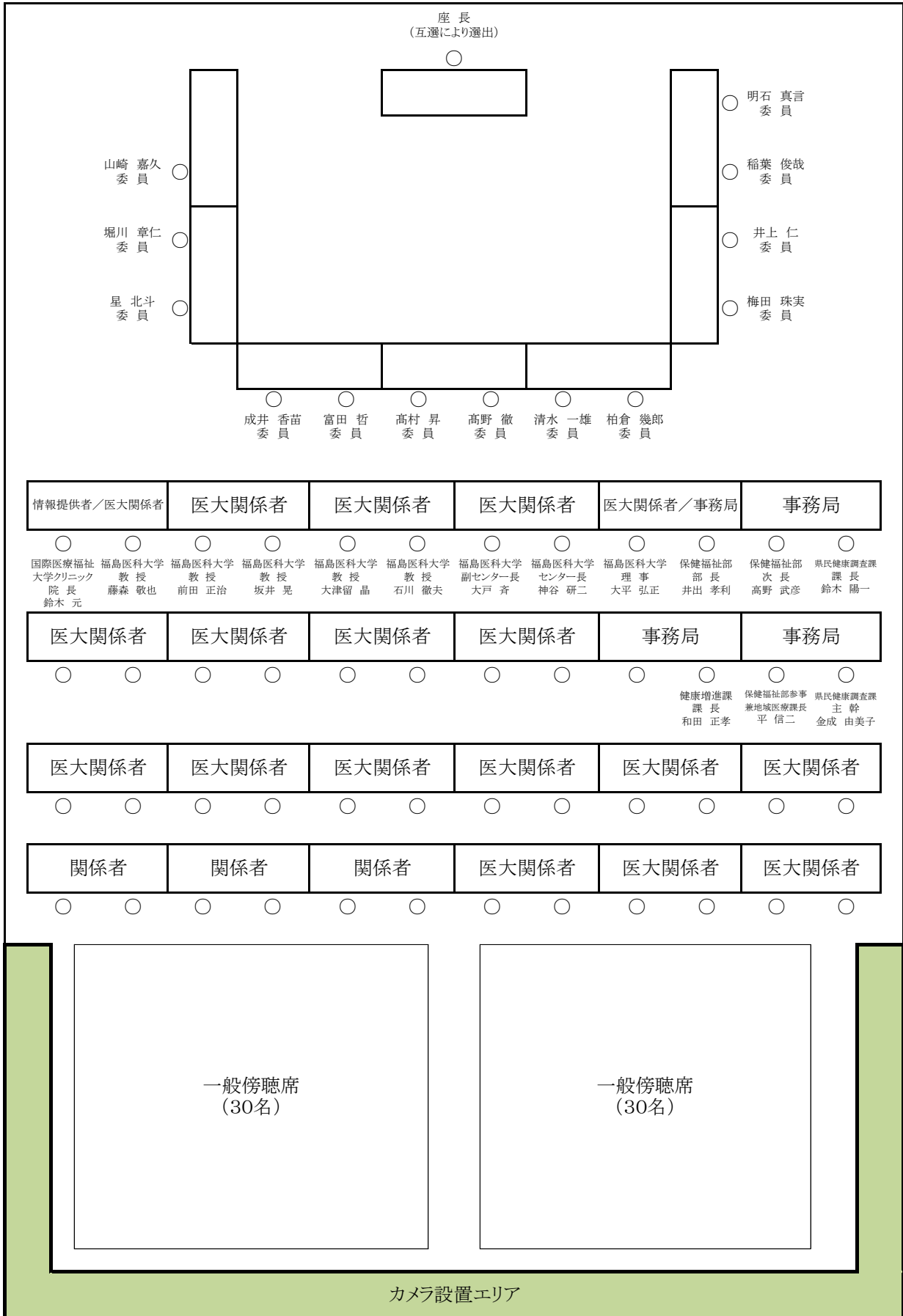
氏名	所属及び職名	出欠
明石 真言	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 執行役	出席
稲葉 俊哉	国立大学法人 広島大学 原爆放射線医科学研究所 教授	出席
井上 仁	一般社団法人 福島県病院協会 会長	出席
梅田 珠実	環境省 大臣官房環境保健部長	出席
柏倉 幾郎	国立大学法人 弘前大学 副学長（被ばく医療、COI担当）	出席
春日 文子	国立研究開発法人 国立環境研究所 特任フェロー （日本学術会議 推薦）	欠席
児玉 和紀	公益財団法人 放射線影響研究所 主席研究員	欠席
清水 一雄	医療法人社団 金地病院 名誉院長 （日本内分泌外科学会及び日本甲状腺外科学会 推薦）	出席
高野 徹	国立大学法人 大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌代謝内科学 講師 （日本甲状腺学会 推薦）	出席
高村 昇	国立大学法人 長崎大学 原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野 教授	出席
津金 昌一郎	国立研究開発法人 国立がん研究センター 社会と健康研究センター長	欠席
富田 哲	国立大学法人 福島大学 行政政策学類 教授	出席
成井 香苗	NPO法人 ハートフルハート未来を育む会 理事長 （福島県臨床心理士会 推薦）	出席
星 北斗	一般社団法人 福島県医師会 副会長	出席
堀川 章仁	一般社団法人 双葉郡医師会 会長	出席
室月 淳	地方独立行政法人 宮城県立こども病院 産科科長 （公益社団法人日本産科婦人科学会 推薦）	欠席
山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター 副センター長・保健センター長 （公益社団法人日本小児科学会 推薦）	出席

○情報提供者

氏名	所属及び職名
鈴木 元	国際医療福祉大学クリニック 院長

# 第28回「県民健康調査」検討委員会 座席表

開催日時：平成29年10月23日(月) 13:30～15:50  
 会場：ウエディングエルティ2階 ハートンルーム



議長  
 (互選により選出)

山崎 嘉久  
委員

堀川 章仁  
委員

星 北斗  
委員

明石 真言  
委員

稲葉 俊哉  
委員

井上 仁  
委員

梅田 珠実  
委員

成井 香苗 委員

富田 哲 委員

高村 昇 委員

高野 徹 委員

清水 一雄 委員

柏倉 幾郎 委員

情報提供者/医大関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者/事務局	事務局
-------------	-------	-------	-------	-----------	-----

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

国際医療福祉大学クリニック 院長 鈴木 元  
 福島医科大学 教授 藤森 敬也  
 福島医科大学 教授 前田 正治  
 福島医科大学 教授 坂井 晃  
 福島医科大学 教授 大津留 晶  
 福島医科大学 教授 石川 徹夫  
 福島医科大学 副センター長 大戸 斉  
 福島医科大学 センター長 神谷 研二  
 福島医科大学 理事 大平 弘正  
 保健福祉部 部長 井出 孝利  
 保健福祉部 次長 高野 武彦  
 県民健康調査課 課長 鈴木 陽一

医大関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者	事務局	事務局
-------	-------	-------	-------	-----	-----

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

健康増進課 課長 和田 正孝  
 保健福祉部参事 兼地域医療課長 平 信二  
 県民健康調査課 主幹 金成 由美子

医大関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者
-------	-------	-------	-------	-------	-------

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

関係者	関係者	関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者
-----	-----	-----	-------	-------	-------

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

一般傍聴席  
 (30名)

一般傍聴席  
 (30名)

カメラ設置エリア

## 県民健康調査「基本調査」の実施状況について

## 1 問診票の回答状況及び線量推計作業状況

## (1) 問診票の回答状況

平成29年6月30日現在、全県ベースでは対象者2,055,258人のうち、566,773人から回答が寄せられ、回答率は27.6%となっている。このうち簡易版で回答いただいた方が73,189人<sup>(注1)</sup>である(表1)。

なお、年齢階級別の回答率を表2に示している。

(注1) 簡易版の回答数については、随時、回答内容を精査した結果、詳細版で回答いただく必要のある方が含まれている可能性があるため、確定数値ではない。なお、以下に示す問診票の回答、線量推計、結果通知の状況に関しては、簡易版、詳細版を合算した数値である。

対象者数		2,055,258	
回答数	詳細版	493,584	24.0%
	簡易版	73,189	3.6%
	計	566,773	27.6%

※回答率は、回答数の区分ごとに端数処理

表2 年齢階級別 回答率  
H29.6.30現在

年齢階級	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	計
回答率	46.6%	35.8%	18.1%	24.7%	22.4%	23.0%	27.9%	27.6%

## (2) 線量推計作業・結果通知

回答数566,773件<sup>(注2)</sup>のうち97.4%にあたる552,298件の推計作業が完了しており、うち551,911件が結果通知済となっている(表3)。<sup>(注3)</sup>

表3 基本調査問診票 回答・線量推計・結果通知  
H29.6.30 現在

地域区分 (先行+全県民)	調査 対象者数 a	回答数 b	回答率 c=b/a	線量 推計済数 d	推計率 e=d/b	結果通知 済数 f	通知率 g=f/b
県北	504,034	152,187	30.2%	149,251	98.1%	149,194	98.0%
県中	557,187	136,664	24.5%	133,289	97.5%	133,216	97.5%
県南	152,226	35,317	23.2%	34,480	97.6%	34,294	97.1%
会津	267,201	57,802	21.6%	55,596	96.2%	55,585	96.2%
南会津	30,788	6,388	20.7%	6,078	95.1%	6,077	95.1%
相双	195,585	90,123	46.1%	87,395	97.0%	87,340	96.9%
いわき	348,237	88,292	25.4%	86,209	97.6%	86,205	97.6%
計	2,055,258	566,773	27.6%	552,298	97.4%	551,911	97.4%

※先行地区(川俣町山木屋地区、浪江町及び飯館村)を含む全県ベース

※市町村別の状況は、別添資料1のとおり<sup>(注3)</sup>

(注2) 線量推計に至っていない回答の中で、今後、推計に進むことが困難と思われる回答は約13,600件ある。これには、連絡先不明のため補記(回答者へお問い合わせをして行動記録を補うこと)ができない問診票のほか、無記入の状態で提出された問診票や調査拒否の意思表示がなされているもの(コールセンターへの電話での申出も含む)等が含まれている。

(注3) 表3、4および別添資料1に示した回答数、線量推計済数、結果通知済数には、3月11日以降の行動記録が4ヶ月未満の回答に関する数も含まれている。なお、個人に対する結果通知においては、推計の対象となった期間(行動記録が得られた期間)を明示している。

また、震災当時県内に滞在されていた方や住民票を置かずに居住されていた方(一時滞在者等)に対する推計作業等も継続して行っている(表4)。<sup>(注3)</sup>

表4 一時滞在者等からの問診票回答・線量推計・結果通知  
H29.6.30 現在

発送数 a	回答数 b	回答率 c=b/a	線量 推計済数 d	推計率 e=d/b	結果通知 済数 f	通知率 g=f/b
4,000	2,031	50.8%	2,018	99.4%	2,016	99.3%

※今回の回答数については、重複の精査を行い、既出の回答数から206件を減じている。

## 2 実効線量推計結果の状況

表3に示した線量推計済の対象者から、推計期間が4ヶ月未満の方を除いて線量別の人数分布を集計した結果を表5に示す。

累計473,605人の推計のうち放射線業務従事経験者を除く464,420人の推計結果は、県北地区では約87%の方が、県中地区では約92%の方が2mSv未満となっている。また、県南地区では約88%の方が、会津・南会津地区では99%以上の方が1mSv未満となり、さらに、相双地区は約77%の方が、いわき地区でも99%以上の方が1mSv未満となっている。

表5

### 全県調査（先行調査＋全県民調査）外部被ばく実効線量推計状況

実効線量 (mSv)	全データ	「放射線業務従事経験者を除く」の地域別内訳(%は地域ごとの線量割合)										相双 (注5)	いわき				
		放射線業務従事経験者を除く		県北 (注4)		県中		県南		会津				南会津			
		放射線業務従事経験者を除く	93.8%	24,933	58,176	51.5%	26,127	88.2%	45,705	99.3%	4,947			99.3%	55,788	77.3%	73,060
～1未満	294,455	288,736	62.2%	83,763	67.0%	46,144	40.9%	3,483	11.8%	308	0.7%	12,688	17.6%	632	0.9%		
～2未満	149,397	147,054	31.7%	15,696	12.6%	8,207	7.3%	18	0.1%	25	0.1%	1,688	2.3%	30	0.0%		
～3未満	26,037	25,664	5.5%	472	0.4%	423	0.4%	0	—	1	0.0%	595	0.8%	4	0.0%		
～4未満	1,575	1,495	0.3%	40	0.0%	5	0.0%	0	—	0	—	459	0.6%	1	0.0%		
～5未満	551	505	0.1%	19	0.0%	3	0.0%	0	—	0	—	366	0.5%	1	0.0%		
～6未満	441	389	0.1%	10	0.0%	1	0.0%	0	—	1	0.0%	218	0.3%	0	—		
～7未満	268	230	0.0%	1	0.0%	0	—	0	—	0	—	115	0.2%	0	—		
～8未満	155	116	0.0%	1	0.0%	0	—	0	—	0	—	77	0.1%	0	—		
～9未満	118	78	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	41	0.1%	0	—		
～10未満	72	41	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	36	0.0%	0	—		
～11未満	69	36	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	29	0.0%	0	—		
～12未満	52	30	0.0%	1	0.0%	0	—	0	—	0	—	13	0.0%	0	—		
～13未満	37	13	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	12	0.0%	0	—		
～14未満	36	12	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	6	0.0%	0	—		
～15未満	27	6	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	15	0.0%	0	—		
15以上～	315	15	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	0.1mSv	0.5mSv	0.3mSv	—		
計	473,605	464,420	100.0%	124,936	100%	112,959	100%	29,628	100%	46,040	100%	4,983	100%	72,146	100%	73,728	100%
最高値	66mSv	25mSv		11mSv		6.3mSv		2.6mSv		6.0mSv		1.9mSv		25mSv		5.9mSv	
平均値	0.9mSv	0.8mSv		1.4mSv		1.0mSv		0.6mSv		0.2mSv		0.1mSv		0.8mSv		0.3mSv	
中央値	0.6mSv	0.6mSv		1.4mSv		0.9mSv		0.5mSv		0.2mSv		0.1mSv		0.5mSv		0.3mSv	

(注4) 先行地区（川俣町山木屋地区）を含む。

※割合(%)は線量別に端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある。

(注5) 先行地区（浪江町、飯館村）を含む。

※推計期間が4ヶ月未満の方を除いて集計している。

※線量別分布状況、年齢別・男女別内訳は、別添資料2、3のとおり。市町村別内訳は、別添資料4のとおり。

### 3 実効線量推計結果の評価

実効線量の推計結果に関しては、これまでと同様の傾向にあると言える。

これまでの疫学調査により100mSv以下での明らかな健康への影響は確認されていない<sup>1)</sup>ことから、4ヶ月間の外部被ばく線量推計値ではあるが、「放射線による健康影響があるとは考えにくい」と評価される。

参考文献

- 1) 放射線の線源と影響 原子放射線の影響に関する国連科学委員会 UNSCEAR2008年報告書〔日本語版〕第2巻 独立行政法人放射線医学総合研究所

### 4 問診票書き方支援活動

平成29年度上期は、夏休み期間（7月下旬から8月下旬）に甲状腺検査会場（一般会場）における書き方支援を、会津、県中、県南方部を中心に計33回実施した。

また、放射線医学県民健康管理センターのホームページ及びコールセンターで問診票再交付を引き続き受け付けるとともに、市町村役場の窓口で簡易版の問診票を引き続き備え置くなどして、自らの被ばく線量を知りたいという方に対する窓口を確保している。

## 基本調査 問診票 市町村別 回答・線量推計・結果通知 状況

(先行十全県民)

平成29年6月30日 現在

地域区分		調査対象者数 a	回答数 b	回答率 c=b/a	線量推計済数 d	推計率 e=d/b	結果通知済数 f	通知率 g=f/b	備考
北	福 島 市	295,641	93,869	31.8%	92,343	98.4%	92,312	98.3%	
	二 本 松 市	60,857	16,912	27.8%	16,547	97.8%	16,545	97.8%	
	伊 達 市	67,576	18,283	27.1%	17,817	97.5%	17,806	97.4%	
	本 宮 市	31,760	9,107	28.7%	8,939	98.2%	8,935	98.1%	
	桑 折 町	13,207	3,883	29.4%	3,774	97.2%	3,774	97.2%	
	国 見 町	10,316	3,028	29.4%	2,940	97.1%	2,940	97.1%	
	川 俣 町	15,885	5,179	32.6%	5,009	96.7%	5,004	96.6%	
	大 玉 村	8,792	1,926	21.9%	1,882	97.7%	1,878	97.5%	
計	504,034	152,187	30.2%	149,251	98.1%	149,194	98.0%		
中	郡 山 市	339,682	87,161	25.7%	85,129	97.7%	85,064	97.6%	
	須 賀 川 市	80,156	17,154	21.4%	16,717	97.5%	16,716	97.4%	
	田 村 市	41,723	10,555	25.3%	10,191	96.6%	10,190	96.5%	
	鏡 石 町	13,109	2,887	22.0%	2,824	97.8%	2,824	97.8%	
	天 栄 村	6,469	1,255	19.4%	1,224	97.5%	1,220	97.2%	
	石 川 町	17,488	4,203	24.0%	4,101	97.6%	4,101	97.6%	
	玉 川 村	7,335	1,500	20.4%	1,452	96.8%	1,452	96.8%	
	平 田 村	7,053	1,655	23.5%	1,599	96.6%	1,599	96.6%	
	浅 川 町	7,163	1,508	21.1%	1,473	97.7%	1,472	97.6%	
	古 殿 町	6,319	1,309	20.7%	1,274	97.3%	1,274	97.3%	
	三 春 町	18,989	4,870	25.6%	4,764	97.8%	4,764	97.8%	
小 野 町	11,701	2,607	22.3%	2,541	97.5%	2,540	97.4%		
計	557,187	136,664	24.5%	133,289	97.5%	133,216	97.5%		
南	白 河 市	65,428	16,105	24.6%	15,769	97.9%	15,703	97.5%	
	西 郷 村	20,088	5,052	25.1%	4,925	97.5%	4,859	96.2%	
	泉 崎 村	6,931	1,439	20.8%	1,392	96.7%	1,342	93.3%	
	中 島 村	5,306	1,004	18.9%	979	97.5%	976	97.2%	
	矢 吹 町	18,341	4,094	22.3%	3,986	97.4%	3,986	97.4%	
	棚 倉 町	15,384	3,027	19.7%	2,961	97.8%	2,961	97.8%	
	矢 祭 町	6,491	1,464	22.6%	1,415	96.7%	1,415	96.7%	
	塙 町	10,061	2,313	23.0%	2,262	97.8%	2,261	97.8%	
鮫 川 村	4,196	819	19.5%	791	96.6%	791	96.6%		
計	152,226	35,317	23.2%	34,480	97.6%	34,294	97.1%		
津	会 津 若 松 市	127,816	29,605	23.2%	28,627	96.7%	28,624	96.7%	
	喜 多 方 市	53,199	11,057	20.8%	10,629	96.1%	10,623	96.1%	
	北 塩 原 村	3,276	607	18.5%	584	96.2%	584	96.2%	
	西 会 津 町	7,725	1,453	18.8%	1,351	93.0%	1,351	93.0%	
	磐 梯 町	3,888	793	20.4%	775	97.7%	774	97.6%	
	猪 苗 代 町	16,271	3,648	22.4%	3,515	96.4%	3,514	96.3%	
	会 津 坂 下 町	17,881	3,261	18.2%	3,117	95.6%	3,117	95.6%	
	湯 川 村	3,513	713	20.3%	680	95.4%	680	95.4%	
	柳 津 町	4,077	719	17.6%	687	95.5%	687	95.5%	
	三 島 町	2,031	373	18.4%	339	90.9%	339	90.9%	
	金 山 町	2,544	629	24.7%	573	91.1%	573	91.1%	
	昭 和 村	1,569	354	22.6%	327	92.4%	327	92.4%	
会 津 美 里 町	23,411	4,590	19.6%	4,392	95.7%	4,392	95.7%		
計	267,201	57,802	21.6%	55,596	96.2%	55,585	96.2%		
南会津	下 郷 町	6,649	1,251	18.8%	1,191	95.2%	1,191	95.2%	
	檜 枝 岐 村	614	142	23.1%	133	93.7%	133	93.7%	
	只 見 町	5,030	1,143	22.7%	1,081	94.6%	1,081	94.6%	
	南 会 津 町	18,495	3,852	20.8%	3,673	95.4%	3,672	95.3%	
計	30,788	6,388	20.7%	6,078	95.1%	6,077	95.1%		
相	相 馬 市	37,360	13,294	35.6%	12,775	96.1%	12,769	96.1%	
	南 相 馬 市	70,010	30,257	43.2%	29,472	97.4%	29,460	97.4%	
	広 野 町	5,164	2,229	43.2%	2,140	96.0%	2,138	95.9%	
	檜 葉 町	7,963	4,184	52.5%	4,022	96.1%	4,020	96.1%	
	富 岡 町	15,749	8,628	54.8%	8,412	97.5%	8,405	97.4%	
	川 内 村	2,996	1,540	51.4%	1,487	96.6%	1,487	96.6%	
	大 熊 町	11,473	6,086	53.0%	5,861	96.3%	5,860	96.3%	
	双 葉 町	7,051	3,950	56.0%	3,845	97.3%	3,843	97.3%	
	浪 江 町	21,334	12,979	60.8%	12,674	97.7%	12,660	97.5%	
	葛 尾 村	1,541	824	53.5%	768	93.2%	768	93.2%	
双	新 地 町	8,356	2,706	32.4%	2,606	96.3%	2,604	96.2%	
	飯 館 村	6,588	3,446	52.3%	3,333	96.7%	3,326	96.5%	
	計	195,585	90,123	46.1%	87,395	97.0%	87,340	96.9%	
	一	い わ き 市	348,237	88,292	25.4%	86,209	97.6%	86,205	97.6%
計	2,055,258	566,773	27.6%	552,298	97.4%	551,911	97.4%		

県民健康調査 基本調査

外部被ばく線量推計結果 推計期間 4か月間(3/11～7/11)

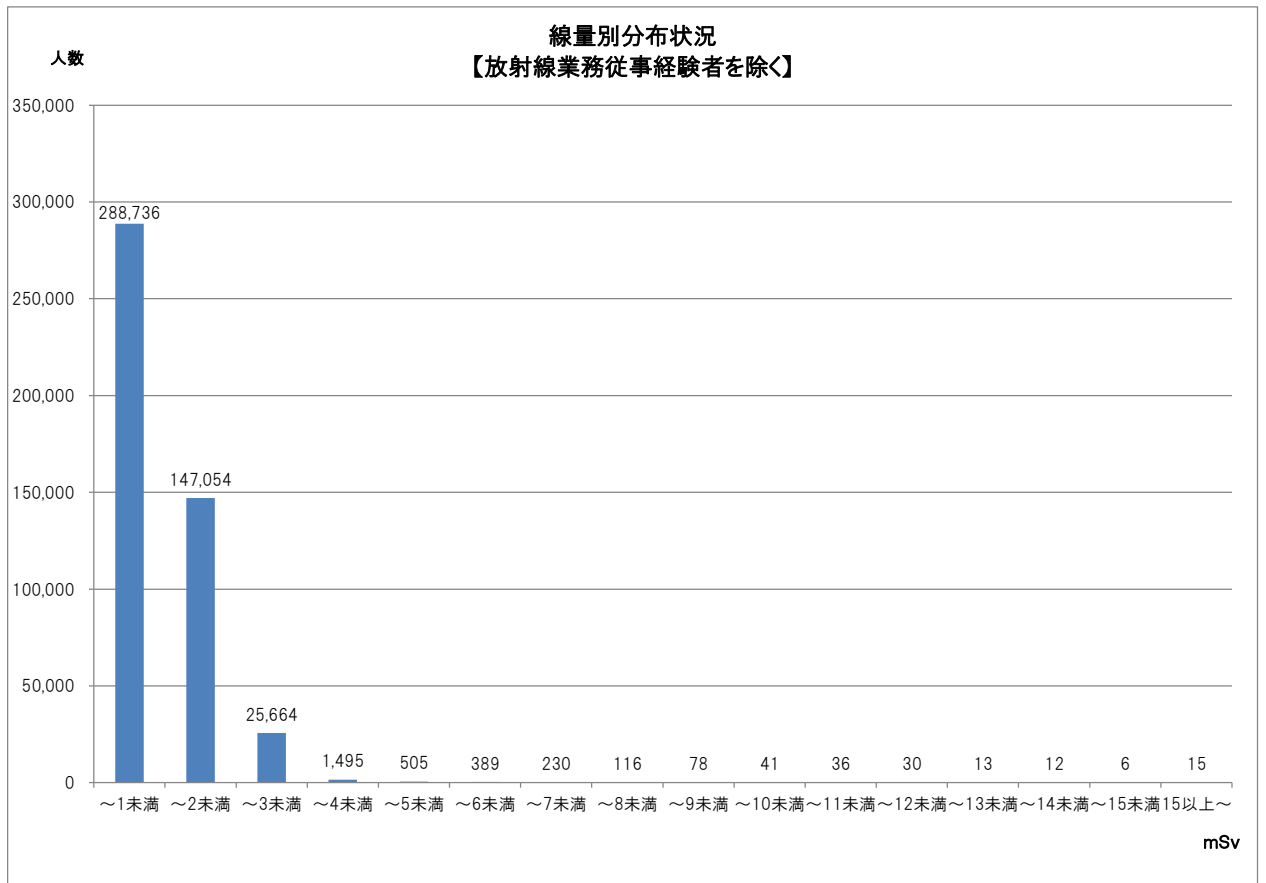
平成29年6月30日 現在

【全県調査(先行調査+全県民調査)】

地域別・線量別推計

実効線量 (mSv)	全データ	放射線業務従 事経験者除く	左の内訳							放射線業務従事経験者除く 線量別割合(%)		
			県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき			
～1未満	294,455	288,736	24,933	58,176	26,127	45,705	4,947	55,788	73,060	62.2	93.8	99.8
～2未満	149,397	147,054	83,763	46,144	3,483	308	36	12,688	632	31.7		
～3未満	26,037	25,664	15,696	8,207	18	25	0	1,688	30	5.5	5.8	
～4未満	1,575	1,495	472	423	0	1	0	595	4	0.3		
～5未満	551	505	40	5	0	0	0	459	1	0.1	0.2	
～6未満	441	389	19	3	0	0	0	366	1	0.1		
～7未満	268	230	10	1	0	1	0	218	0	0.0	0.1	0.2
～8未満	155	116	1	0	0	0	0	115	0	0.0		
～9未満	118	78	1	0	0	0	0	77	0	0.0		
～10未満	72	41	0	0	0	0	0	41	0	0.0		
～11未満	69	36	0	0	0	0	0	36	0	0.0	0.0	
～12未満	52	30	1	0	0	0	0	29	0	0.0		
～13未満	37	13	0	0	0	0	0	13	0	0.0	0.0	
～14未満	36	12	0	0	0	0	0	12	0	0.0		
～15未満	27	6	0	0	0	0	0	6	0	0.0	0.0	
15以上～	315	15	0	0	0	0	0	15	0	0.0	0.0	0.0
計	473,605	464,420	124,936	112,959	29,628	46,040	4,983	72,146	73,728	100.0	100.0	100.0
最高値	66	25	11	6.3	2.6	6.0	1.9	25	5.9			
平均値	0.9	0.8	1.4	1.0	0.6	0.2	0.1	0.8	0.3			
中央値	0.6	0.6	1.4	0.9	0.5	0.2	0.1	0.5	0.3			

※割合(%)は線量別に端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある





推計期間 4か月間(3/11~7/11)

平成29年6月30日 現在

## 年齢別・線量別 内訳【放射線業務従事経験者を除く】

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)									計
	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	
～1未満	48,084	44,522	21,309	34,219	28,600	32,847	36,309	25,719	17,127	288,736
～2未満	23,000	21,716	10,126	18,299	16,654	18,546	19,491	12,287	6,935	147,054
～3未満	6,441	4,275	1,135	2,337	2,247	2,971	3,423	1,995	840	25,664
～4未満	250	157	81	158	153	230	233	164	69	1,495
～5未満	19	47	35	39	75	95	81	76	38	505
～6未満	14	13	29	34	46	86	73	66	28	389
～7未満	3	6	10	22	24	45	52	47	21	230
～8未満	4	4	8	9	13	35	22	14	7	116
～9未満	2	6	2	7	8	16	16	12	9	78
～10未満	0	1	2	3	3	12	11	5	4	41
～11未満	1	1	1	2	6	11	5	6	3	36
～12未満	0	0	1	3	0	5	8	11	2	30
～13未満	0	0	0	0	1	6	4	1	1	13
～14未満	0	0	1	1	1	4	3	2	0	12
～15未満	0	0	0	0	0	3	3	0	0	6
15以上～	0	0	0	0	3	3	6	1	2	15
計	77,818	70,748	32,740	55,133	47,834	54,915	59,740	40,406	25,086	464,420

## 男女別・線量別 内訳【放射線業務従事経験者を除く】

実効線量 (mSv)	男女別				計	左の線量別 割合(%)
	男性	左の線量別 割合(%)	女性	左の線量別 割合(%)		
～1未満	128,866	60.6	159,870	63.5	288,736	62.2
～2未満	68,147	32.0	78,907	31.3	147,054	31.7
～3未満	13,934	6.6	11,730	4.7	25,664	5.5
～4未満	951	0.4	544	0.2	1,495	0.3
～5未満	282	0.1	223	0.1	505	0.1
～6未満	199	0.1	190	0.1	389	0.1
～7未満	130	0.1	100	0.0	230	0.0
～8未満	64	0.0	52	0.0	116	0.0
～9未満	49	0.0	29	0.0	78	0.0
～10未満	24	0.0	17	0.0	41	0.0
～11未満	22	0.0	14	0.0	36	0.0
～12未満	16	0.0	14	0.0	30	0.0
～13未満	6	0.0	7	0.0	13	0.0
～14未満	8	0.0	4	0.0	12	0.0
～15未満	3	0.0	3	0.0	6	0.0
15以上～	12	0.0	3	0.0	15	0.0
計	212,713	100.0	251,707	100.0	464,420	100.0

※割合(%)は線量別に端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある

市町村別・評価線量別集計 (放射線業務従事経験者を除く)

市町村名	積算線量(mSv)																計	
	~1 未満	~2 未満	~3 未満	~4 未満	~5 未満	~6 未満	~7 未満	~8 未満	~9 未満	~10 未満	~11 未満	~12 未満	~13 未満	~14 未満	~15 未満	15以上		
東北	福島市	16,172	52,561	9,378	151	13	10	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78,289
	二本松市	1,318	8,663	3,530	90	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,602
	伊達市	4,385	9,075	1,135	147	8	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	14,757
	本宮市	746	5,460	1,257	24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,488
	桑折町	315	2,751	66	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,135
	国見町	967	1,436	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,415
	川俣町	639	2,750	185	56	17	6	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3,657
大玉村	391	1,067	133	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,593	
<b>東北計</b>	<b>24,933</b>	<b>83,763</b>	<b>15,696</b>	<b>472</b>	<b>40</b>	<b>19</b>	<b>10</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>124,936</b>	
県中	郡山市	23,969	40,603	7,758	413	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,752
	須賀川市	10,749	3,188	334	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,275
	田村市	7,673	681	24	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,381
	鏡石町	2,337	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,411
	天栄村	405	587	59	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,052
	石川町	3,166	38	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,205
	玉川村	1,175	18	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,196
	平田村	1,292	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,326
	浅川町	1,212	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,227
	古殿町	1,059	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,075
	三春町	3,118	809	24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,953
小野町	2,021	83	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,106	
<b>県中計</b>	<b>58,176</b>	<b>46,144</b>	<b>8,207</b>	<b>423</b>	<b>5</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>112,959</b>	
県南	白河市	12,399	1,278	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,686
	西郷村	2,238	2,019	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,260
	泉崎村	1,152	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,174
	中島村	826	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	839
	矢吹町	3,347	83	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,431
	棚倉町	2,524	28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,555
	矢祭町	1,139	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,148
	塙町	1,852	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,875
	鮎川村	650	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	660
	<b>県南計</b>	<b>26,127</b>	<b>3,483</b>	<b>18</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>29,628</b>
会津	会津若松市	23,634	160	13	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,808
	喜多方市	8,889	56	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,949
	北塩原村	475	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	479
	西会津町	1,012	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,014
	磐梯町	654	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	664
	猪苗代町	2,840	30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,873
	会津坂下町	2,613	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,628
	湯川村	579	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	583
	柳津町	544	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	548
	三島町	246	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	246
	金山町	405	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	408
	昭和村	245	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	246
	会津美里町	3,569	22	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,594
<b>会津計</b>	<b>45,705</b>	<b>308</b>	<b>25</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>46,040</b>	
南会津	下郷町	961	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	966
	檜枝岐村	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103
	只見町	874	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	879
	南会津町	3,009	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,035
<b>南会津計</b>	<b>4,947</b>	<b>36</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4,983</b>	
相双	相馬市	10,009	458	87	20	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	10,581
	南相馬市	19,115	6,221	513	99	35	3	7	4	1	0	1	0	0	0	0	0	25,999
	広野町	1,836	58	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1,898
	楢葉町	3,393	131	13	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,541
	富岡町	5,827	1,102	98	18	3	2	0	3	2	0	1	0	0	0	0	0	7,056
	川内村	962	350	16	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1,332
	大熊町	3,370	1,284	112	17	6	4	4	3	0	2	2	1	0	4	0	1	4,810
	双葉町	2,671	468	77	18	6	4	3	6	2	1	0	2	0	0	0	2	3,260
	浪江町	5,743	2,117	383	68	40	17	12	13	9	6	11	7	5	4	3	8	8,446
	葛尾村	502	162	24	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	693
新地町	2,174	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,194	
飯館村	186	317	363	348	364	333	189	85	62	30	23	17	8	4	3	4	2,336	
<b>相双計</b>	<b>55,788</b>	<b>12,688</b>	<b>1,688</b>	<b>595</b>	<b>459</b>	<b>366</b>	<b>218</b>	<b>115</b>	<b>77</b>	<b>41</b>	<b>36</b>	<b>29</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>6</b>	<b>15</b>	<b>72,146</b>	
いわき	いわき市	73,060	632	30	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73,728
<b>計(A)</b>	<b>288,736</b>	<b>147,054</b>	<b>25,664</b>	<b>1,495</b>	<b>505</b>	<b>389</b>	<b>230</b>	<b>116</b>	<b>78</b>	<b>41</b>	<b>36</b>	<b>30</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>6</b>	<b>15</b>	<b>464,420</b>	
割合		62.2	31.7	5.5	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		93.8		5.8		0.2		0.1		0.0		0.0		0.0		0.0		100.0
一時滞在者等(B)	1,459	271	18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,751
<b>計(A)+(B)</b>	<b>290,195</b>	<b>147,325</b>	<b>25,682</b>	<b>1,497</b>	<b>505</b>	<b>389</b>	<b>230</b>	<b>116</b>	<b>78</b>	<b>41</b>	<b>36</b>	<b>30</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>6</b>	<b>16</b>	<b>466,171</b>	

※割合(%)は線量別に端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある

## 県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査2回目）】」結果概要

## I 調査概要

## 1. 目的

子どもたちの健康を長期に見守るために、現時点での甲状腺の状態を把握するための先行検査に引き続き、甲状腺の状態を継続して確認するための本格検査（検査2回目）を実施した。

## 2. 対象者

先行検査における対象者（平成4年4月2日から平成23年4月1日までに生まれた福島県民）に加え、本格検査では平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民にまで拡大した。

## 3. 実施期間

平成26年4月2日から検査を開始し、平成26年度及び平成27年度の2か年で全ての対象者に検査を実施した。

その後は、対象者が20歳を超えるまでは2年ごと、それ以降は25歳、30歳等の5年ごとの節目健診により、長期にわたり検査を実施する。ただし、25歳時の検査までは5年以上空けないこととする。

## 4. 実施機関

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、対象者の利便性も考慮し、福島県内外の医療機関等と連携して検査を実施している。（平成29年6月30日現在の協定締結数）

## (1) 一次検査

- (i) 県内検査実施機関 62 か所
- (ii) 県外検査実施機関 108 か所

## (2) 二次検査

- (i) 県内検査実施機関 5 か所（福島県立医科大学を含む）
- (ii) 県外検査実施機関 36 か所

## 5. 検査方法

## (1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

- (i) A判定：A1、A2判定の場合は次回（平成28年度以降）の一次検査を行う。
  - (A1) 結節やのう胞を認めなかった場合。
  - (A2) 5.0 mm以下の結節や20.0 mm以下ののう胞を認めた場合。
- (ii) B判定：B判定の場合は二次検査を実施している。
  - 5.1 mm以上の結節や20.1 mm以上ののう胞を認めた場合。
  - なお、A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した方については、B判定としている。
- (iii) C判定：C判定の場合は二次検査を実施している。
  - 甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合。

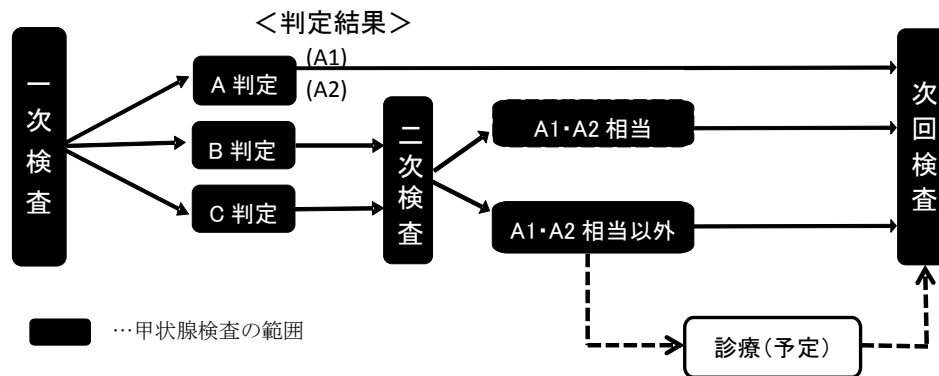
## (2) 二次検査

一次検査の結果、B判定またはC判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。

なお、二次検査の結果、診療（予定）となる方がいる。

## (3) 検査の流れ

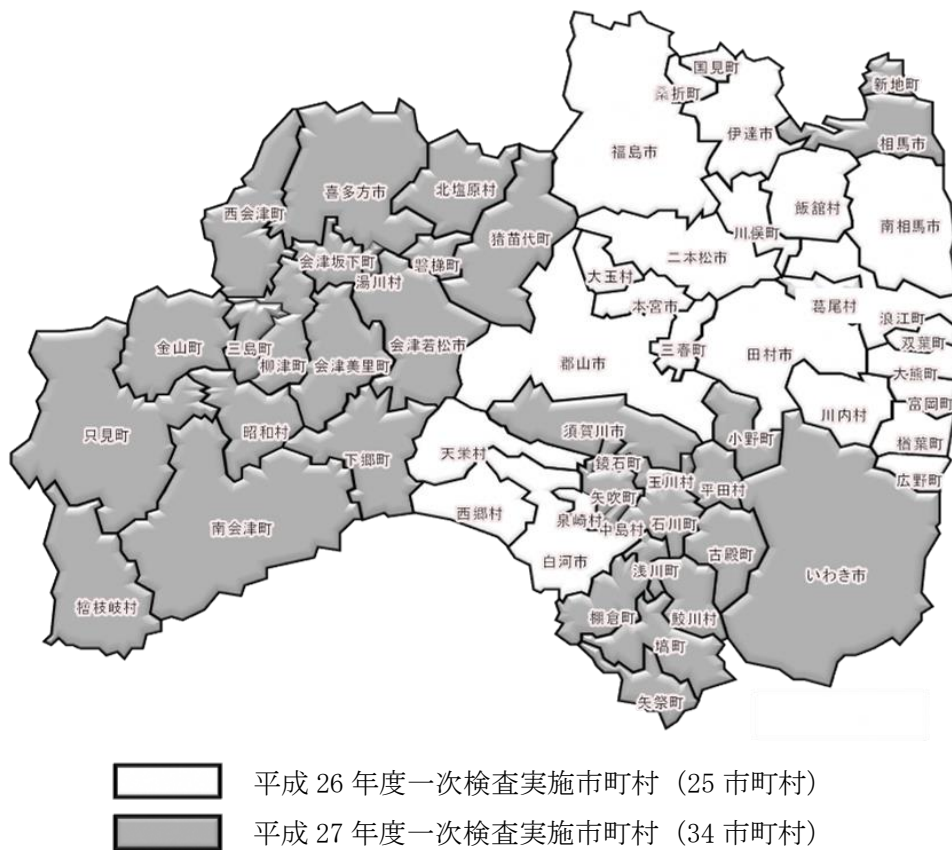
図 1.検査の流れ



## 6. 実施対象年度別市町村

平成 26 年度及び平成 27 年度の各実施対象市町村は次のとおり。

図 2. 実施対象年度別市町村



## II 調査結果概要（平成 29 年 6 月 30 日現在）

### 1. 一次検査結果

#### （1）一次検査実施状況

平成 26 年 4 月 2 日から検査を開始し、平成 26 年度の 25 市町村に加え、平成 27 年度は 34 市町村の計 59 市町村 381,256 人を対象として、270,516 人 (71.0%) の検査を実施した。

※<sup>1,2</sup>

そのうち、270,515 人 (100.0%) の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送している。※<sup>3</sup>

検査結果は A 判定（表 1 の A1 及び A2 判定）の方が 268,288 人 (99.2%)、B 判定の方が 2,227 人 (0.8%)、C 判定の方は 0 人であった。

表 1. 一次検査進捗状況

平成 29 年 6 月 30 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人)		判定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果判定数 (人)			
		受診率 (%) イ (イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))			
					A		二次検査対象者	
					A1 エ(エ/ウ)	A2 オ(オ/ウ)	B カ(カ/ウ)	C キ(キ/ウ)
平成26年度 実施対象市町村計	216,869	159,167 (73.4)	11,419	159,166 (100.0)	66,447 (41.7)	91,412 (57.4)	1,307 (0.8)	0 (0.0)
平成27年度 実施対象市町村計	164,387	111,349 (67.7)	4,228	111,349 (100.0)	42,263 (38.0)	68,166 (61.2)	920 (0.8)	0 (0.0)
合計	381,256	270,516 (71.0)	15,647	270,515 (100.0)	108,710 (40.2)	159,578 (59.0)	2,227 (0.8)	0 (0.0)

表 2. 結節・のう胞の人数・割合

平成 29 年 6 月 30 日現在

	結果確定数 (人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ (イ/ア)	5.0mm以下 ウ (ウ/ア)	20.1mm以上 エ (エ/ア)	20.0mm以下 オ (オ/ア)
平成26年度 実施対象市町村計	159,166	1,303 (0.8)	1,007 (0.6)	2 (0.0)	91,828 (57.7)
平成27年度 実施対象市町村計	111,349	916 (0.8)	563 (0.5)	4 (0.0)	68,529 (61.5)
合計	270,515	2,219 (0.8)	1,570 (0.6)	6 (0.0)	160,357 (59.3)

※<sup>1</sup> 市町村別受診状況は、別表 1 のとおり。

※<sup>2</sup> 本県以外の都道府県別受診状況は、別表 2 のとおり。

※<sup>3</sup> 市町村別結果状況は、別表 3 のとおり。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 本格検査（検査 2 回目）未受診の 25 歳節目健診対象者が受診した場合、本格検査（検査 2 回目）に計上されるため、今後も受診者数は増加する見込み。

(2) 年齢階級別受診率

平成 26 年度実施対象市町村の平成 26 年 4 月 1 日時点の年齢階級別の受診率は、18 歳以上の年齢階級で 27.9%と、他の年齢階級に比べ低くなっている。

平成 27 年度実施対象市町村の平成 27 年 4 月 1 日時点の年齢階級別の受診率は、18 歳以上の年齢階級で 23.4%と、他の年齢階級に比べ低くなっている。

平成 26 年度及び 27 年度実施対象市町村の合計でも、18 歳以上の年齢階級別の受診率は 25.7%で、他の年齢階級に比べ低くなっている。

表 3. 実施対象市町村における年齢階級受診率

平成 29 年 6 月 30 日現在

	年齢階級	計	年齢階級別内訳			
			2～7歳	8～12歳	13～17歳	18～21歳
平成26年度実施対象市町村計	対象者数(人) ア	216,869	56,479	53,374	57,781	49,235
	受診者数(人) イ	159,167	45,328	49,783	50,338	13,718
	受診率(%) イ/ア	73.4	80.3	93.3	87.1	27.9
	年齢階級		3～7歳	8～12歳	13～17歳	18～22歳
平成27年度実施対象市町村計	対象者数(人) ア	164,387	33,761	38,755	44,014	47,857
	受診者数(人) イ	111,349	25,838	36,187	38,106	11,218
	受診率(%) イ/ア	67.7	76.5	93.4	86.6	23.4
	年齢階級		3～7歳	8～12歳	13～17歳	18～22歳
合 計	対象者数(人) ア	381,256	90,240	92,129	101,795	97,092
	受診者数(人) イ	270,516	71,166	85,970	88,444	24,936
	受診率(%) イ/ア	71.0	78.9	93.3	86.9	25.7

- 平成 26 年度実施対象市町村の年齢階級は、平成 26 年 4 月 1 日時点の年齢。
- 平成 27 年度実施対象市町村の年齢階級は、平成 27 年 4 月 1 日時点の年齢。

(3) 先行検査結果との比較

先行検査で A 判定 (A1 及び A2 判定) と判断された 245,318 人のうち、本格検査で A 判定 (A1 及び A2 判定) は 243,985 人 (99.5%)、B 判定は 1,333 人 (0.5%) であった。

また、先行検査で B 判定と判断された 1,369 人のうち、本格検査で A 判定 (A1 及び A2 判定) は 638 人 (46.6%)、B 判定は 731 人 (53.4%) であった。

表 4. 先行検査結果との比較

平成 29 年 6 月 30 日現在

	先行検査結果 計 注1	本格検査結果内訳 注2				
		A		B エ (エ/ア)	C オ (オ/ア)	
		A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)			
先行検査結果	A1	125,920 (100.0)	83,487 (66.3)	42,040 (33.4)	393 (0.3)	0 (0.0)
	A2	119,398 (100.0)	11,495 (9.6)	106,963 (89.6)	940 (0.8)	0 (0.0)
	B	1,369 (100.0)	108 (7.9)	530 (38.7)	731 (53.4)	0 (0.0)
	C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	受診なし	23,828 (100.0)	13,620 (57.2)	10,045 (42.2)	163 (0.7)	0 (0.0)
計	270,515 (100.0)	108,710 (40.2)	159,578 (59.0)	2,227 (0.8)	0 (0.0)	

注 1 上段は本格検査結果確定者の先行検査結果 (人)  
先行検査結果総数 (300,473 人) の内訳ではない。

注 2 上段は先行検査結果に対する本格検査結果内訳 (人)、下段は割合 (%)

## 2. 二次検査結果

### (1) 二次検査実施状況

平成 26 年 6 月からは二次検査を実施しており、対象者 2,227 人のうち 1,844 人 (82.8%) が受診し、そのうち 1,788 人 (97.0%) が二次検査を終了している。※<sup>4</sup>

その 1,788 人のうち、423 人 (表 5 の次回検査 A1 相当と A2 相当) (23.7%) は詳細な検査の結果、一次検査基準で A1、A2 の範囲内であることが確認された方 (甲状腺に疾病のある方を含む) として次回検査となり、1,365 人 (表 5 の次回検査 A1・A2 相当以外) (76.3%) は、概ね 6 か月後または 1 年後に診療 (予定) となる方および A2 の基準値を超えるが次回検査となる方であった。

表 5. 二次検査進捗状況

平成 29 年 6 月 30 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人) 受診率 (%) イ (イ/ア)	結果確定数(人) 確定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果確定数(人)			
				A1相当 エ (エ/ウ)	A2相当 オ (オ/ウ)	A1・A2相当以外	
						カ (カ/ウ)	うち細胞診受診者 キ (キ/カ)
平成26年度 実施対象市町村計	1,307	1,092 (83.6)	1,064 (97.4)	39 (3.7)	241 (22.7)	784 (73.7)	151 (19.3)
平成27年度 実施対象市町村計	920	752 (81.7)	724 (96.3)	24 (3.3)	119 (16.4)	581 (80.2)	54 (9.3)
合計	2,227	1,844 (82.8)	1,788 (97.0)	63 (3.5)	360 (20.1)	1,365 (76.3)	205 (15.0)

※<sup>4</sup> 市町村別実施状況は別表 5 のとおり。

### (2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を行った方のうち、71 人が「悪性ないし悪性疑い」の判定となった。

71 人の性別は男性 32 人、女性 39 人であった。また、二次検査時点での年齢は 9 歳から 23 歳 (平均年齢は 16.9±3.2 歳)、腫瘍の大きさは 5.3mm から 35.6mm (平均腫瘍径は 11.1±5.6mm) であった。

なお、71 人の先行検査の結果は、A 判定が 65 人 (A1 が 33 人、A2 が 32 人)、B 判定が 5 人であり、先行検査未受診の方が 1 人であった。

表 6.細胞診結果(平均年齢と平均腫瘍径の( )内は範囲を示す)

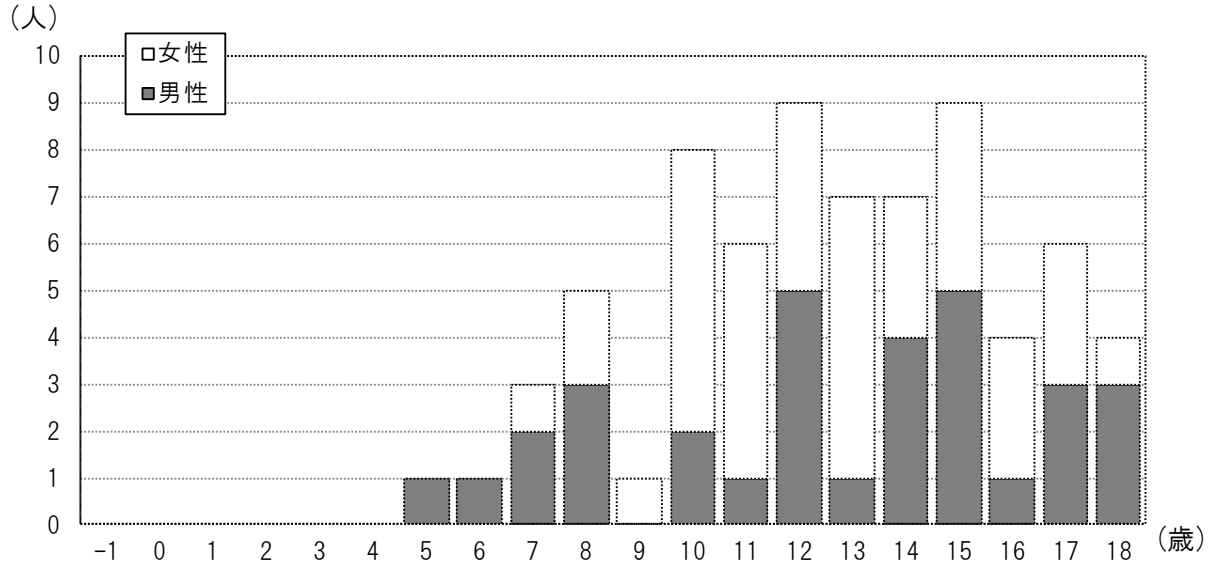
ア	平成 26 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 52 人※ <sup>5</sup>
	・男性：女性 21 人：31 人
	・平均年齢 17.3±3.2 歳 (10-23 歳)、震災当時 13.2±3.1 歳 (6-18 歳)
	・平均腫瘍径 9.4±3.1 mm (5.3-17.4 mm)
イ	平成 27 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 19 人※ <sup>5</sup>
	・男性：女性 11 人：8 人
	・平均年齢 16.1±3.4 歳 (9-21 歳)、震災当時 11.2±3.1 歳 (5-16 歳)
	・平均腫瘍径 15.8±8.0mm (5.7-35.6mm)
ウ	合計
	・悪性ないし悪性疑い 71 人※ <sup>5</sup>
	・男性：女性 32 人：39 人

- ・平均年齢 16.9±3.2歳 (9-23歳)、震災当時 12.6±3.2歳 (5-18歳)
- ・平均腫瘍径 11.1±5.6mm (5.3-35.6mm)

※<sup>5</sup>手術症例については別表6のとおり。

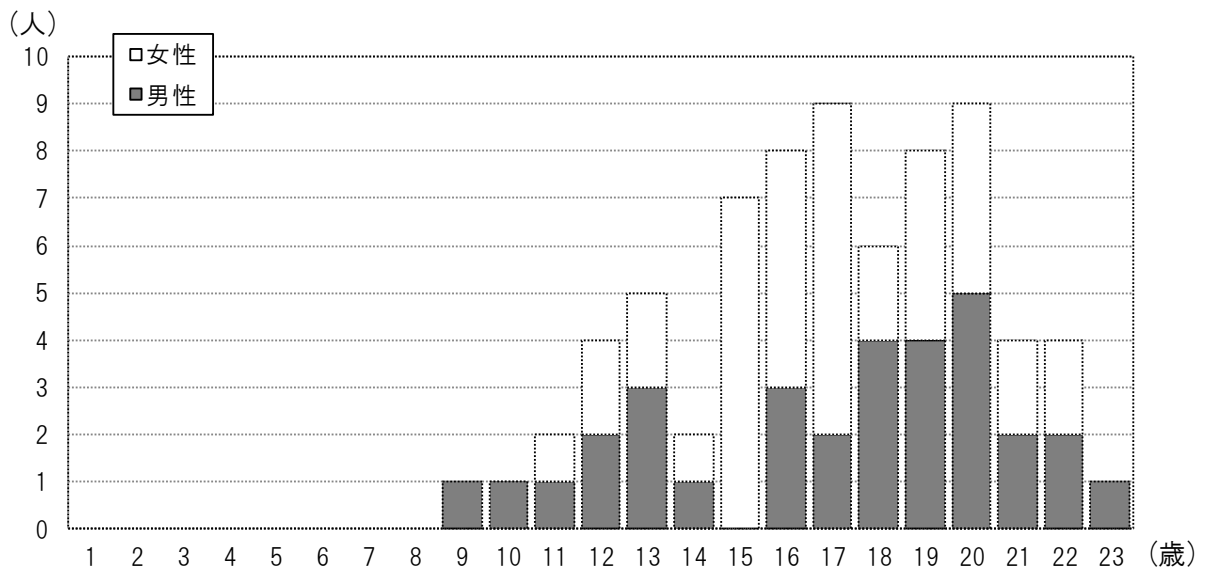
(3) 細胞診等で悪性ないし悪性疑いであった71人の年齢、性分布

図3.平成23年3月11日時点の年齢による分布



-1は、平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民

図4.二次検査時点の年齢による分布





(4) 細胞診等による悪性ないし悪性疑い71人の基本調査結果

71人のうち基本調査問診票を提出した方は36人(50.7%)で、結果が通知された方は36人であった。このうち最大実効線量は2.1mSvであった。

今後も、引き続き問診票の意義や重要性を説明し提出していただくよう働きかけていく。

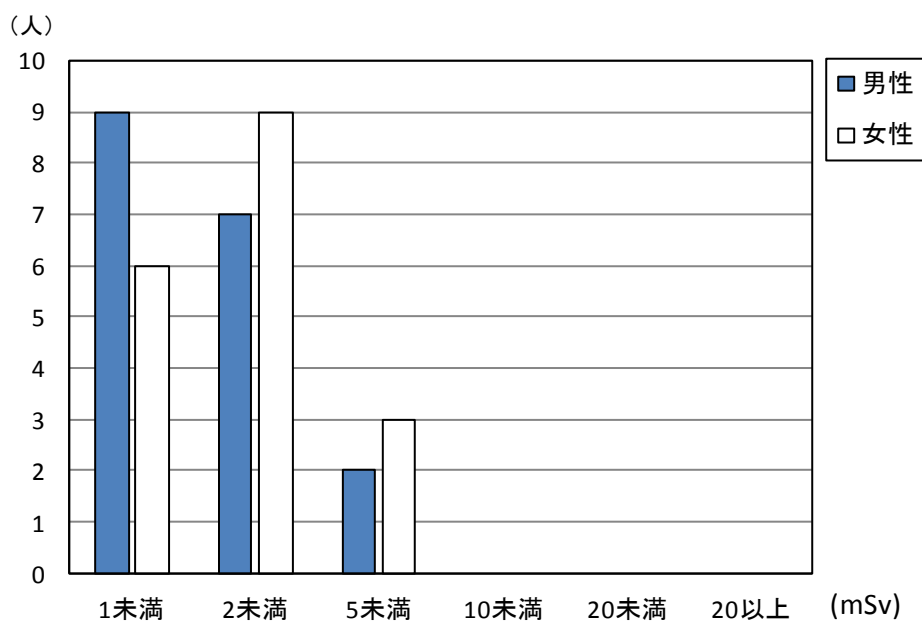
表7. 基本調査提出者の実効線量推計内訳(人)

平成29年6月30日現在

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)								合計	
	0~5		6~10		11~15		16~18		男性	女性
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
1未満	0	0	4	1	3	5	2	0	9	6
2未満	0	0	0	1	4	4	3	4	7	9
5未満	0	0	1	0	0	2	1	1	2	3
10未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	5	2	7	11	6	5	18	18

- 推計値は外部被ばく実効線量を推計したものの。

図5. 基本調査提出者の実効線量推計内訳



(5) 血液検査及び尿中ヨウ素 (平成29年6月30日現在)

表8. 血液データ 平均±SD(異常値の割合)

	FT4 注3 (ng/dL)	FT3 注4 (pg/mL)	TSH 注5 ( $\mu$ IU/mL)	Tg 注6 (ng/mL)	TgAb 注7 (IU/mL)	TPOAb 注8 (IU/mL)
基準値	0.95~1.74 注9	2.13~4.07 注9	0.340~3.880 注9	32.7 以下	28.0 未満	16.0 未満
悪性ないし悪性疑い71人	1.2 ± 0.1 (4.2%)	3.5 ± 0.4 (2.8%)	1.7 ± 1.0 (12.7%)	43.8 ± 109.1 (21.1%)	— (22.5%)	— (15.5%)
その他1,715人	1.2 ± 0.2 (7.2%)	3.5 ± 0.7 (6.2%)	1.3 ± 0.9 (8.2%)	28.7 ± 134.5 (13.9%)	— (9.4%)	— (8.6%)

表9. 尿中ヨウ素データ

( $\mu$ g/day)

	最小値	25%値	中央値	75%値	最大値
悪性ないし悪性疑い71人	43	126	190	441	2520
その他1,709人	17	116	183	357	36600

- 注3 FT4（遊離サイロキシン）・・・ヨードの数が4つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値（代表的疾患：バセドウ病）、甲状腺機能低下症では低値（代表的疾患：橋本病）になることが多い。
- 注4 FT3（遊離トリヨードサイロニン）・・・ヨードの数が3つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値（代表的疾患：バセドウ病）、甲状腺機能低下症では低値（代表的疾患：橋本病）になることが多い。
- 注5 TSH（甲状腺刺激ホルモン）・・・脳の下垂体から出ているホルモンで甲状腺へ甲状腺ホルモンを出すよう命令する。  
橋本病では高値、バセドウ病では低値になることが多い。
- 注6 Tg(サイログロブリン)・・・甲状腺ホルモンになる直前の物質。甲状腺内に多量に存在する。  
甲状腺が破壊されたり、腫瘍がTgを産生していたりする場合に高値になることが多い。  
平成27年3月30日採血分から基準値が33.7ng/mLに変更になっている。
- 注7 TgAb（抗サイログロブリン抗体）・・・サイログロブリンに対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値になることが多い。
- 注8 TPOAb（抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体）・・・ペルオキシダーゼという酵素に対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値。
- 注9 基準値は年齢ごとに異なる。

(6) 市町村別二次検査結果（平成 29 年 6 月 30 日現在）

二次検査における悪性ないし悪性疑いの割合は、平成 26 年度実施対象市町村（国が指定した避難区域等の 13 市町村及び県北地方など 12 市町村）が 0.03%、平成 27 年度実施対象市町村（いわき市、県南地方、会津地方などの 34 市町村）で 0.02%となっている。

表 10. 実施対象年度別市町村結果

平成26年度実施対象市町村

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査対象者 の割合(%) イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
川俣町	1,763	23	1.3	20	0	0.00
浪江町	2,511	28	1.1	23	2	0.08
飯舘村	765	14	1.8	11	0	0.00
南相馬市	8,910	81	0.9	71	4	0.04
伊達市	9,112	86	0.9	78	7	0.08
田村市	5,008	51	1.0	43	2	0.04
広野町	680	9	1.3	9	0	0.00
楢葉町	1,002	5	0.5	5	0	0.00
富岡町	2,001	25	1.2	21	0	0.00
川内村	213	2	0.9	2	0	0.00
大熊町	1,758	16	0.9	15	2	0.11
双葉町	685	2	0.3	1	0	0.00
葛尾村	150	2	1.3	2	0	0.00
福島市	42,704	349	0.8	297	10	0.02
二本松市	7,885	59	0.7	51	1	0.01
本宮市	4,810	31	0.6	26	3	0.06
大玉村	1,264	6	0.5	6	0	0.00
郡山市	48,046	365	0.8	297	18	0.04
桑折町	1,635	14	0.9	10	1	0.06
国見町	1,241	9	0.7	8	0	0.00
天栄村	793	11	1.4	6	0	0.00
白河市	9,667	63	0.7	50	1	0.01
西郷村	3,179	28	0.9	22	1	0.03
泉崎村	998	4	0.4	3	0	0.00
三春町	2,387	24	1.0	15	0	0.00
小計	159,167	1,307	0.8	1,092	52	0.03

平成27年度実施対象市町村

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査対象者 の割合(%) イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
いわき市	45,265	378	0.8	313	9	0.02
須賀川市	11,450	105	0.9	89	1	0.01
相馬市	4,750	32	0.7	27	1	0.02
鏡石町	1,978	16	0.8	15	1	0.05
新地町	1,038	13	1.3	11	0	0.00
中島村	754	5	0.7	5	1	0.13
矢吹町	2,412	16	0.7	15	0	0.00
石川町	2,027	14	0.7	12	0	0.00
矢祭町	740	6	0.8	4	0	0.00
浅川町	1,030	9	0.9	9	0	0.00
平田村	855	7	0.8	7	0	0.00
棚倉町	2,160	17	0.8	12	1	0.05
埴町	1,166	11	0.9	11	0	0.00
鮫川村	495	6	1.2	5	0	0.00
小野町	1,263	12	1.0	10	0	0.00
玉川村	964	9	0.9	5	0	0.00
古殿町	794	5	0.6	5	0	0.00
檜枝岐村	66	0	0.0	0	0	0.00
南会津町	1,762	16	0.9	12	0	0.00
金山町	121	0	0.0	0	0	0.00
昭和村	93	0	0.0	0	0	0.00
三島町	121	1	0.8	1	0	0.00
下郷町	614	4	0.7	2	0	0.00
喜多方市	5,729	44	0.8	37	3	0.05
西会津町	654	5	0.8	4	0	0.00
只見町	458	7	1.5	4	1	0.22
猪苗代町	1,730	12	0.7	10	0	0.00
磐梯町	401	4	1.0	4	0	0.00
北塩原村	377	2	0.5	2	0	0.00
会津美里町	2,538	21	0.8	19	0	0.00
会津坂下町	2,063	18	0.9	15	0	0.00
柳津町	386	0	0.0	0	0	0.00
会津若松市	14,579	121	0.8	84	1	0.01
湯川村	516	4	0.8	3	0	0.00
小計	111,349	920	0.8	752	19	0.02

合計	270,516	2,227	0.8	1,844	71	0.03
----	---------	-------	-----	-------	----	------

- 早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施。

### 3. こころのケア・サポート

(1) 一次検査におけるサポートについて

※本格検査（検査3回目）資料に集約して記載。

(2) 二次検査におけるサポートについて

※本格検査（検査3回目）資料に集約して記載。

別表 1

市町村別一次検査実施状況

平成 29 年 6 月 30 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 ※1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) ※2				イのうち県 外居住者 数(人) ウ※3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					2~7歳	8~12歳	13~17歳	18歳以上		
平成26年度実施対象市町村										
川俣町	2,460	1,763	57	71.7	428 24.3	574 32.6	596 33.8	165 9.4	75	4.3
浪江町	3,772	2,511	725	66.6	655 26.1	723 28.8	761 30.3	372 14.8	794	31.6
飯館村	1,123	765	38	68.1	186 24.3	275 35.9	239 31.2	65 8.5	49	6.4
南相馬市	12,982	8,910	1,833	68.6	2,314 26.0	2,924 32.8	2,668 29.9	1,004 11.3	1,868	21.0
伊達市	11,741	9,112	349	77.6	2,263 24.8	2,748 30.2	2,972 32.6	1,129 12.4	397	4.4
田村市	7,320	5,008	150	68.4	1,160 23.2	1,638 32.7	1,693 33.8	517 10.3	160	3.2
広野町	1,108	680	111	61.4	167 24.6	194 28.5	220 32.4	99 14.6	100	14.7
楢葉町	1,490	1,002	140	67.2	238 23.8	296 29.5	327 32.6	141 14.1	150	15.0
富岡町	3,100	2,001	461	64.5	473 23.6	548 27.4	665 33.2	315 15.7	498	24.9
川内村	360	213	23	59.2	49 23.0	75 35.2	69 32.4	20 9.4	22	10.3
大熊町	2,499	1,758	396	70.3	536 30.5	541 30.8	481 27.4	200 11.4	439	25.0
双葉町	1,258	685	260	54.5	182 26.6	229 33.4	190 27.7	84 12.3	265	38.7
葛尾村	241	150	15	62.2	34 22.7	56 37.3	47 31.3	13 8.7	12	8.0
福島市	55,736	42,704	2,467	76.6	11,034 25.8	12,769 29.9	13,355 31.3	5,546 13.0	3,111	7.3
二本松市	10,596	7,885	321	74.4	1,925 24.4	2,499 31.7	2,665 33.8	796 10.1	347	4.4
本宮市	6,345	4,810	172	75.8	1,229 25.6	1,510 31.4	1,550 32.2	521 10.8	192	4.0
大玉村	1,684	1,264	31	75.1	355 28.1	398 31.5	387 30.6	124 9.8	43	3.4
郡山市	66,759	48,046	3,181	72.0	11,416 23.8	15,487 32.2	15,464 32.2	5,679 11.8	4,028	8.4
桑折町	2,137	1,635	67	76.5	380 23.2	503 30.8	551 33.7	201 12.3	63	3.9
国見町	1,624	1,241	46	76.4	238 19.2	382 30.8	443 35.7	178 14.3	46	3.7
天栄村	1,101	793	27	72.0	214 27.0	264 33.3	251 31.7	64 8.1	29	3.7
白河市	12,740	9,667	336	75.9	2,546 26.3	2,942 30.4	3,124 32.3	1,055 10.9	445	4.6
西郷村	4,173	3,179	122	76.2	890 28.0	1,006 31.6	944 29.7	339 10.7	155	4.9
泉崎村	1,337	998	24	74.6	265 26.6	315 31.6	304 30.5	114 11.4	28	2.8
三春町	3,183	2,387	67	75.0	534 22.4	682 28.6	808 33.9	363 15.2	77	3.2
小計	216,869	159,167	11,419	73.4	39,711 24.9	49,578 31.1	50,774 31.9	19,104 12.0	13,393	8.4

※1 受診者のうち県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から県外へ出向いて実施した検査を受診した人数(平成 29 年 5 月 31 日現在)。

※2 上段には受診者数を、下段には受診者数イの階級別割合を記載。

※3 受診者のうち県外住所の方の人数。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 年齢階級は本格検査の検査受診時点の年齢。

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 ※1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) ※2				イのうち県 外居住者 数(人) ウ※3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					2~7歳	8~12歳	13~17歳	18歳以上		
平成27年度実施対象市町村										
いわき市	64,309	45,265	2,252	70.4	8,299 18.3	14,274 31.5	15,528 34.3	7,164 15.8	2,571	5.7
須賀川市	15,877	11,450	309	72.1	2,651 23.2	3,675 32.1	3,738 32.6	1,386 12.1	383	3.3
相馬市	7,086	4,750	291	67.0	1,122 23.6	1,540 32.4	1,597 33.6	491 10.3	389	8.2
鏡石町	2,704	1,978	35	73.2	526 26.6	625 31.6	623 31.5	204 10.3	65	3.3
新地町	1,476	1,038	45	70.3	205 19.7	347 33.4	373 35.9	113 10.9	56	5.4
中島村	1,115	754	8	67.6	135 17.9	251 33.3	290 38.5	78 10.3	15	2.0
矢吹町	3,422	2,412	68	70.5	629 26.1	757 31.4	800 33.2	226 9.4	70	2.9
石川町	2,951	2,027	43	68.7	482 23.8	591 29.2	718 35.4	236 11.6	69	3.4
矢祭町	1,056	740	26	70.1	195 26.4	225 30.4	232 31.4	88 11.9	17	2.3
浅川町	1,388	1,030	43	74.2	209 20.3	317 30.8	362 35.1	142 13.8	50	4.9
平田村	1,271	855	17	67.3	202 23.6	274 32.0	297 34.7	82 9.6	21	2.5
棚倉町	3,087	2,160	63	70.0	519 24.0	681 31.5	723 33.5	237 11.0	80	3.7
塙町	1,715	1,166	30	68.0	246 21.1	362 31.0	409 35.1	149 12.8	41	3.5
鮫川村	723	495	19	68.5	128 25.9	157 31.7	153 30.9	57 11.5	21	4.2
小野町	1,986	1,263	30	63.6	238 18.8	420 33.3	440 34.8	165 13.1	32	2.5
玉川村	1,371	964	15	70.3	208 21.6	339 35.2	319 33.1	98 10.2	16	1.7
古殿町	1,084	794	32	73.2	194 24.4	224 28.2	255 32.1	121 15.2	30	3.8
檜枝岐村	110	66	4	60.0	8 12.1	20 30.3	35 53.0	3 4.5	3	4.5
南会津町	2,913	1,762	48	60.5	365 20.7	578 32.8	640 36.3	179 10.2	49	2.8
金山町	203	121	5	59.6	16 13.2	43 35.5	49 40.5	13 10.7	7	5.8
昭和村	134	93	3	69.4	24 25.8	28 30.1	32 34.4	9 9.7	4	4.3
三島町	197	121	0	61.4	15 12.4	45 37.2	50 41.3	11 9.1	2	1.7
下郷町	1,011	614	15	60.7	101 16.4	204 33.2	240 39.1	69 11.2	15	2.4
喜多方市	9,236	5,729	131	62.0	1,016 17.7	1,939 33.8	2,176 38.0	598 10.4	148	2.6
西会津町	1,055	654	10	62.0	136 20.8	175 26.8	271 41.4	72 11.0	19	2.9
只見町	735	458	6	62.3	98 21.4	157 34.3	158 34.5	45 9.8	10	2.2
猪苗代町	2,757	1,730	51	62.7	349 20.2	570 32.9	602 34.8	209 12.1	66	3.8
磐梯町	628	401	10	63.9	77 19.2	151 37.7	128 31.9	45 11.2	10	2.5
北塩原村	581	377	11	64.9	99 26.3	126 33.4	119 31.6	33 8.8	14	3.7
会津美里町	3,790	2,538	57	67.0	522 20.6	801 31.6	903 35.6	312 12.3	72	2.8
会津坂下町	3,183	2,063	39	64.8	388 18.8	669 32.4	760 36.8	246 11.9	46	2.2
柳津町	612	386	4	63.1	81 21.0	132 34.2	136 35.2	37 9.6	5	1.3
会津若松市	23,925	14,579	492	60.9	2,533 17.4	4,951 34.0	5,430 37.2	1,665 11.4	632	4.3
湯川村	696	516	16	74.1	109 21.1	156 30.2	183 35.5	68 13.2	20	3.9
小計	164,387	111,349	4,228	67.7	22,125 19.9	35,804 32.2	38,769 34.8	14,651 13.2	5,048	4.5
合計	381,256	270,516	15,647	71.0	61,836 22.9	85,382 31.6	89,543 33.1	33,755 12.5	18,441	6.8

## 別表 2

## 都道府県別県外検査実施状況

平成 29 年 5 月 31 日現在

都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)
北海道	6	416	福井県	1	20	広島県	1	42
青森県	1	179	山梨県	2	147	山口県	1	20
岩手県	3	362	長野県	2	157	徳島県	1	11
宮城県	2	2,937	岐阜県	1	37	香川県	1	22
秋田県	1	281	静岡県	2	136	愛媛県	1	17
山形県	3	808	愛知県	4	245	高知県	1	14
茨城県	4	896	三重県	1	37	福岡県	3	90
栃木県	7	908	滋賀県	1	27	佐賀県	1	15
群馬県	2	266	京都府	3	124	長崎県	2	36
埼玉県	2	785	大阪府	7	272	熊本県	1	29
千葉県	4	837	兵庫県	2	142	大分県	1	35
東京都	12	2,666	奈良県	2	31	宮崎県	1	36
神奈川県	5	1,375	和歌山県	1	8	鹿児島県	1	26
新潟県	2	907	鳥取県	1	10	沖縄県	1	81
富山県	2	25	島根県	1	6			
石川県	1	61	岡山県	3	65			
						合計	108	15,647

- 受診者数は県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から県外へ出向いて実施した検査を受診した人数。
- 福島県立医科大学から県外へ出向いて検査を行ったのは、新潟県（1回）・神奈川県（2回）、山形県（1回）、埼玉県（1回）、千葉県（1回）。

別表 3

市町村別一次検査結果

平成 29 年 6 月 30 日現在

	受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア(%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
			A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
			A1	A2						
平成26年度実施対象市町村										
川俣町	1,763	1,763	779	961	23	0	22	13	1	972
		100.0	44.2	54.5	1.3	0.0	1.2	0.7	0.1	55.1
浪江町	2,511	2,511	1,026	1,457	28	0	28	18	0	1,467
		100.0	40.9	58.0	1.1	0.0	1.1	0.7	0.0	58.4
飯館村	765	765	360	391	14	0	14	3	0	396
		100.0	47.1	51.1	1.8	0.0	1.8	0.4	0.0	51.8
南相馬市	8,910	8,910	3,816	5,013	81	0	81	62	0	5,038
		100.0	42.8	56.3	0.9	0.0	0.9	0.7	0.0	56.5
伊達市	9,112	9,112	3,959	5,067	86	0	86	69	0	5,092
		100.0	43.4	55.6	0.9	0.0	0.9	0.8	0.0	55.9
田村市	5,008	5,008	2,052	2,905	51	0	51	30	0	2,924
		100.0	41.0	58.0	1.0	0.0	1.0	0.6	0.0	58.4
広野町	680	680	286	385	9	0	9	6	0	385
		100.0	42.1	56.6	1.3	0.0	1.3	0.9	0.0	56.6
榑葉町	1,002	1,002	418	579	5	0	5	8	0	579
		100.0	41.7	57.8	0.5	0.0	0.5	0.8	0.0	57.8
富岡町	2,001	2,001	820	1,156	25	0	25	19	0	1,165
		100.0	41.0	57.8	1.2	0.0	1.2	0.9	0.0	58.2
川内村	213	213	69	142	2	0	2	1	0	143
		100.0	32.4	66.7	0.9	0.0	0.9	0.5	0.0	67.1
大熊町	1,758	1,758	760	982	16	0	16	12	0	985
		100.0	43.2	55.9	0.9	0.0	0.9	0.7	0.0	56.0
双葉町	685	685	283	400	2	0	2	7	0	399
		100.0	41.3	58.4	0.3	0.0	0.3	1.0	0.0	58.2
葛尾村	150	150	74	74	2	0	2	1	0	74
		100.0	49.3	49.3	1.3	0.0	1.3	0.7	0.0	49.3
福島市	42,704	42,704	18,068	24,287	349	0	347	265	0	24,413
		100.0	42.3	56.9	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	57.2
二本松市	7,885	7,885	3,436	4,390	59	0	59	55	0	4,400
		100.0	43.6	55.7	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	55.8
本宮市	4,810	4,810	2,091	2,688	31	0	31	20	0	2,698
		100.0	43.5	55.9	0.6	0.0	0.6	0.4	0.0	56.1
大玉村	1,264	1,264	568	690	6	0	6	8	0	690
		100.0	44.9	54.6	0.5	0.0	0.5	0.6	0.0	54.6
郡山市	48,046	48,046	19,249	28,432	365	0	365	280	0	28,548
		100.0	40.1	59.2	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	59.4
桑折町	1,635	1,635	703	918	14	0	14	11	0	921
		100.0	43.0	56.1	0.9	0.0	0.9	0.7	0.0	56.3
国見町	1,241	1,241	492	740	9	0	8	10	1	741
		100.0	39.6	59.6	0.7	0.0	0.6	0.8	0.1	59.7
天栄村	793	793	328	454	11	0	11	11	0	462
		100.0	41.4	57.3	1.4	0.0	1.4	1.4	0.0	58.3
白河市	9,667	9,666	4,162	5,441	63	0	63	50	0	5,460
		100.0	43.1	56.3	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	56.5
西郷村	3,179	3,179	1,356	1,795	28	0	28	25	0	1,803
		100.0	42.7	56.5	0.9	0.0	0.9	0.8	0.0	56.7
泉崎村	998	998	370	624	4	0	4	10	0	624
		100.0	37.1	62.5	0.4	0.0	0.4	1.0	0.0	62.5
三春町	2,387	2,387	922	1,441	24	0	24	13	0	1,449
		100.0	38.6	60.4	1.0	0.0	1.0	0.5	0.0	60.7
小計	159,167	159,166	66,447	91,412	1,307	0	1,303	1,007	2	91,828
		100.0	41.7	57.4	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	57.7

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。



受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 1/7(%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)		
		判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)		
		A	B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下		
いわき市	45,265	45,265	16,910	27,977	378	0	374	233	4	28,104
		100.0	37.4	61.8	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	62.1
須賀川市	11,450	11,450	4,441	6,904	105	0	105	56	0	6,957
		100.0	38.8	60.3	0.9	0.0	0.9	0.5	0.0	60.8
相馬市	4,750	4,750	2,009	2,709	32	0	32	26	0	2,717
		100.0	42.3	57.0	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	57.2
鏡石町	1,978	1,978	786	1,176	16	0	16	10	0	1,180
		100.0	39.7	59.5	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	59.7
新地町	1,038	1,038	413	612	13	0	13	2	0	619
		100.0	39.8	59.0	1.3	0.0	1.3	0.2	0.0	59.6
中島村	754	754	305	444	5	0	5	4	0	444
		100.0	40.5	58.9	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	58.9
矢吹町	2,412	2,412	955	1,441	16	0	16	8	0	1,449
		100.0	39.6	59.7	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	60.1
石川町	2,027	2,027	827	1,186	14	0	14	13	0	1,190
		100.0	40.8	58.5	0.7	0.0	0.7	0.6	0.0	58.7
矢祭町	740	740	269	465	6	0	6	1	0	467
		100.0	36.4	62.8	0.8	0.0	0.8	0.1	0.0	63.1
浅川町	1,030	1,030	444	577	9	0	9	4	0	580
		100.0	43.1	56.0	0.9	0.0	0.9	0.4	0.0	56.3
平田村	855	855	362	486	7	0	7	3	0	491
		100.0	42.3	56.8	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	57.4
棚倉町	2,160	2,160	862	1,281	17	0	17	10	0	1,289
		100.0	39.9	59.3	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	59.7
塙町	1,166	1,166	459	696	11	0	11	8	0	699
		100.0	39.4	59.7	0.9	0.0	0.9	0.7	0.0	59.9
鮫川村	495	495	185	304	6	0	6	4	0	307
		100.0	37.4	61.4	1.2	0.0	1.2	0.8	0.0	62.0
小野町	1,263	1,263	410	841	12	0	12	5	0	844
		100.0	32.5	66.6	1.0	0.0	1.0	0.4	0.0	66.8
玉川村	964	964	369	586	9	0	9	8	0	591
		100.0	38.3	60.8	0.9	0.0	0.9	0.8	0.0	61.3
古殿町	794	794	312	477	5	0	5	4	0	479
		100.0	39.3	60.1	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	60.3
檜枝岐村	66	66	28	38	0	0	0	1	0	37
		100.0	42.4	57.6	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	56.1
南会津町	1,762	1,762	688	1,058	16	0	16	5	0	1,069
		100.0	39.0	60.0	0.9	0.0	0.9	0.3	0.0	60.7
金山町	121	121	39	82	0	0	0	0	0	82
		100.0	32.2	67.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.8
昭和村	93	93	36	57	0	0	0	1	0	57
		100.0	38.7	61.3	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	61.3
三島町	121	121	27	93	1	0	1	0	0	94
		100.0	22.3	76.9	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	77.7
下郷町	614	614	250	360	4	0	4	3	0	362
		100.0	40.7	58.6	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	59.0
喜多方市	5,729	5,729	2,128	3,557	44	0	44	23	0	3,581
		100.0	37.1	62.1	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	62.5
西会津町	654	654	288	361	5	0	5	5	0	361
		100.0	44.0	55.2	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0	55.2
只見町	458	458	176	275	7	0	7	2	0	278
		100.0	38.4	60.0	1.5	0.0	1.5	0.4	0.0	60.7
猪苗代町	1,730	1,730	689	1,029	12	0	12	9	0	1,036
		100.0	39.8	59.5	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	59.9
磐梯町	401	401	157	240	4	0	4	1	0	243
		100.0	39.2	59.9	1.0	0.0	1.0	0.2	0.0	60.6
北塩原村	377	377	143	232	2	0	2	2	0	232
		100.0	37.9	61.5	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	61.5
会津美里町	2,538	2,538	1,009	1,508	21	0	21	10	0	1,516
		100.0	39.8	59.4	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	59.7
会津坂下町	2,063	2,063	705	1,340	18	0	18	18	0	1,347
		100.0	34.2	65.0	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	65.3
柳津町	386	386	154	232	0	0	0	1	0	232
		100.0	39.9	60.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	60.1
会津若松市	14,579	14,579	5,247	9,211	121	0	121	80	0	9,261
		100.0	36.0	63.2	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	63.5
湯川村	516	516	181	331	4	0	4	3	0	334
		100.0	35.1	64.1	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	64.7
小計	111,349	111,349	42,263	68,166	920	0	916	563	4	68,529
		100.0	38.0	61.2	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	61.5
合計	270,516	270,516	108,710	159,578	2,227	0	2,219	1,570	6	160,357
		100.0	40.2	59.0	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	59.3

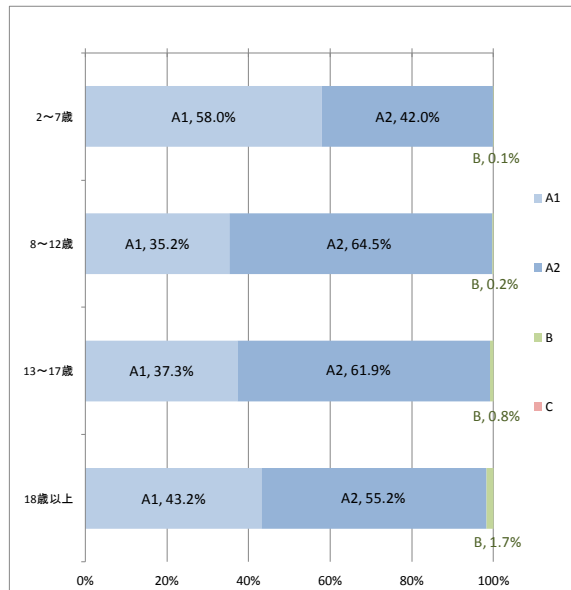
別表 4

1 検査結果確定者の年齢及び性別

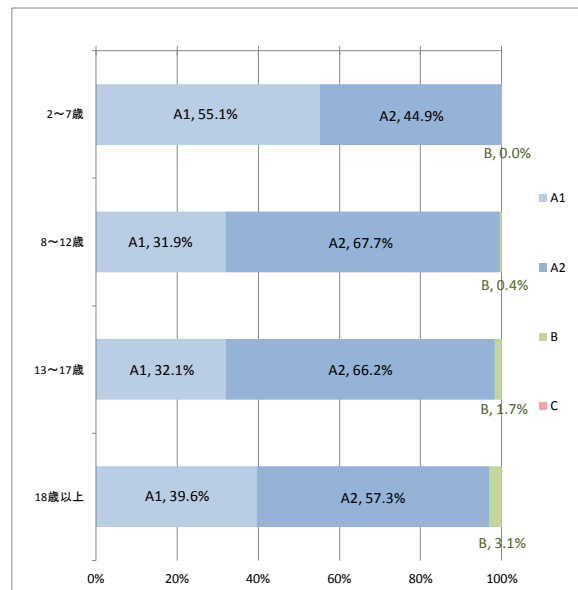
(単位 人)  
平成 29 年 6 月 30 日現在

判定・性別 年齢階級	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
2～7歳	18,413	16,562	34,975	13,332	13,496	26,828	19	14	33	0	0	0	31,764	30,072	61,836
8～12歳	15,392	13,307	28,699	28,184	28,218	56,402	107	174	281	0	0	0	43,683	41,699	85,382
13～17歳	16,985	14,130	31,115	28,183	29,152	57,335	358	735	1,093	0	0	0	45,526	44,017	89,543
18歳以上	6,659	7,262	13,921	8,508	10,505	19,013	256	564	820	0	0	0	15,423	18,331	33,754
合計	57,449	51,261	108,710	78,207	81,371	159,578	740	1,487	2,227	0	0	0	136,396	134,119	270,515

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】



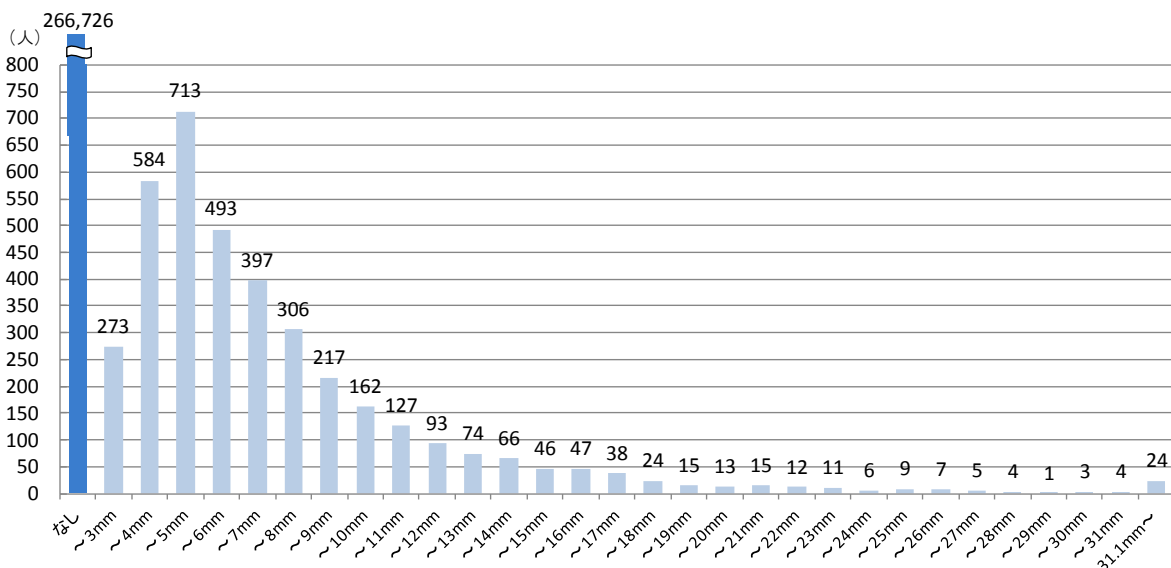
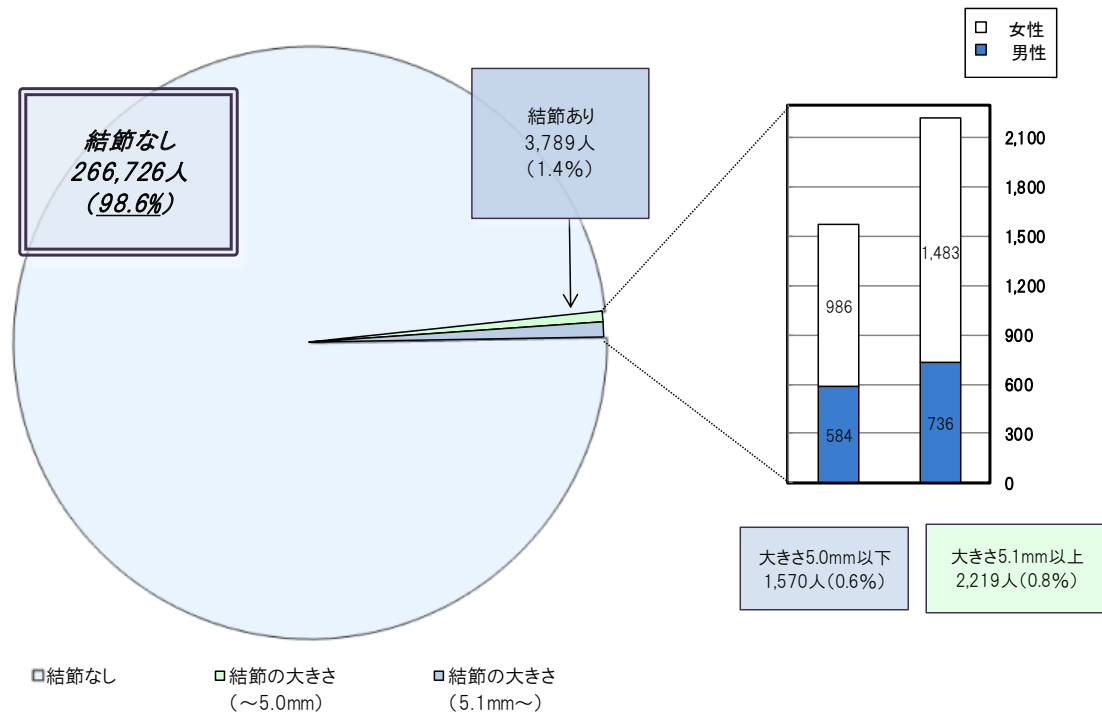
- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 年齢階級は本格検査の検査受診時点の年齢。

## 2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

平成 29 年 6 月 30 日現在

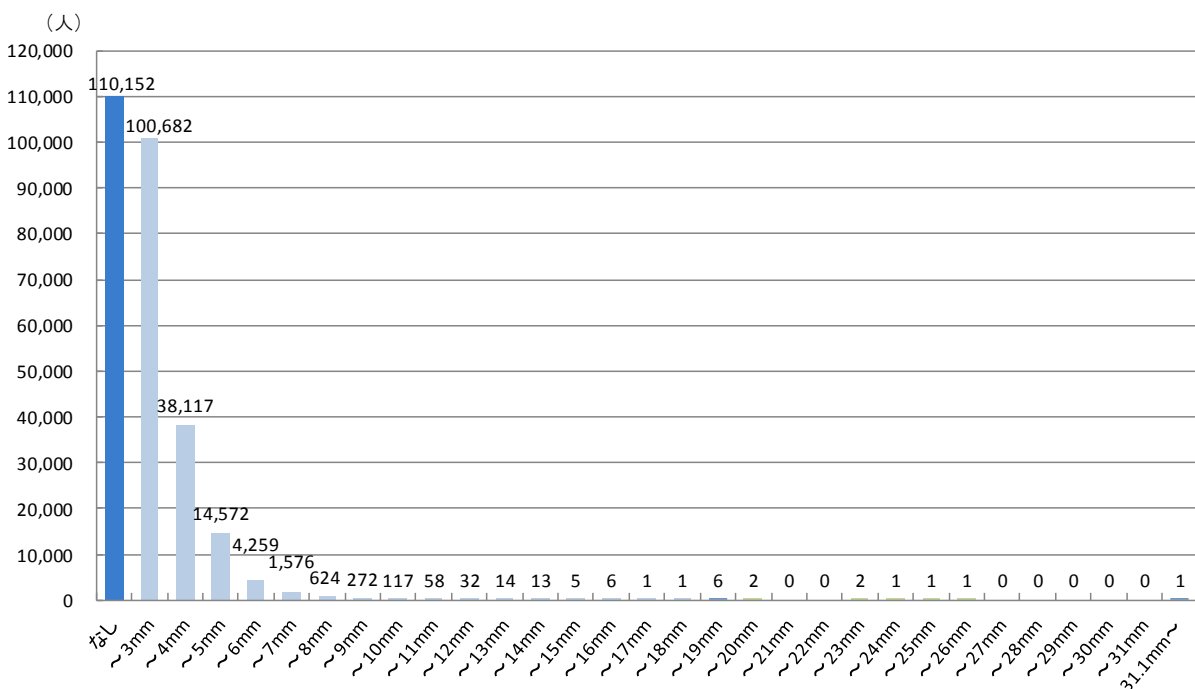
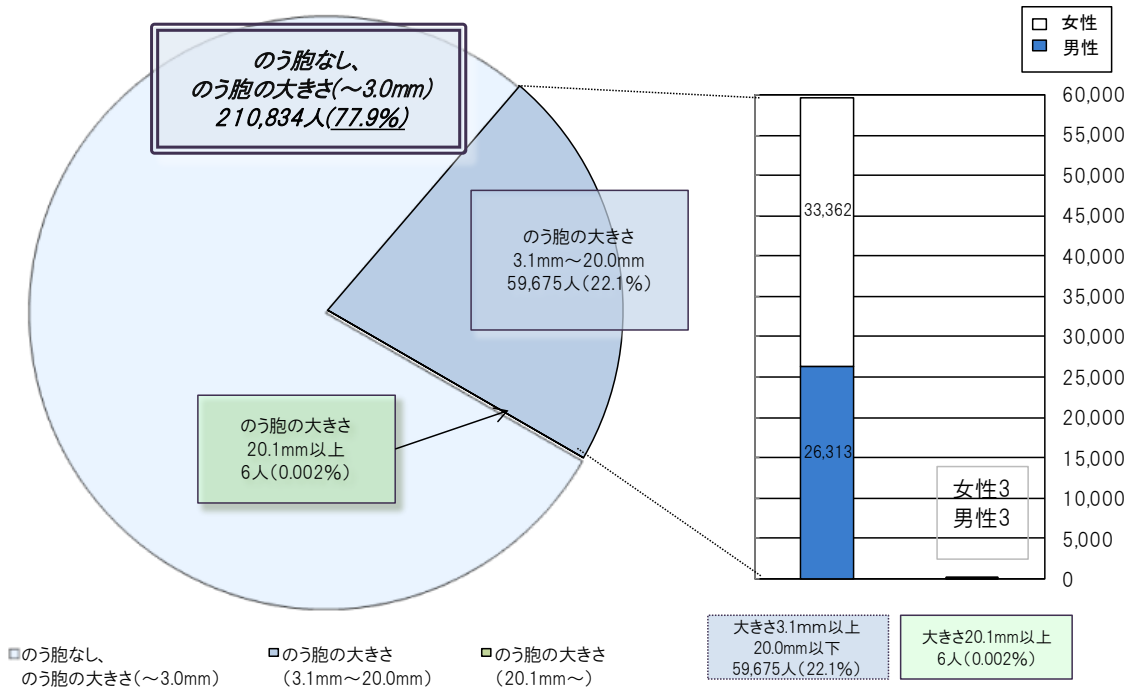
結節の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	266,726	135,076	A1	98.6%
～3.0mm	273	117	A2	0.6%
3.1～5.0mm	1,297	467		
5.1～10.0mm	1,575	515	B	0.8%
10.1～15.0mm	406	144		
15.1～20.0mm	137	55		
20.1～25.0mm	53	8		
25.1mm～	48	14		
計	270,515	136,396		



3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)  
平成 29 年 6 月 30 日現在

のう胞の有無・大きさ	全体			判定区分	割合
	男性	女性			
なし	110,152	57,970	52,182	A1	77.9%
～3.0mm	100,682	52,110	48,572		
3.1～5.0mm	52,689	23,933	28,756		
5.1～10.0mm	6,848	2,337	4,511		
10.1～15.0mm	122	39	83		
15.1～20.0mm	16	4	12	A2	22.1%
20.1～25.0mm	4	2	2		
25.1mm～	2	1	1		
計	270,515	136,396	134,119		



別表 5

市町村別二次検査実施状況

平成 29 年 6 月 30 日現在

市町村名	一次検査実施者(人) ア	二次検査対象者(人) イ イ/ア(%)	計 ウ ウ/イ(%)	二次検査実施者(人)				結果確定数(人)				
				ウのうち 2~7歳 エ エ/ウ(%)	ウのうち 8~12歳 オ オ/ウ(%)	ウのうち 13~17歳 カ カ/ウ(%)	ウのうち 18歳以上 キ キ/ウ(%)	計 ク※1 ク/ウ(%)	A1相当 ケ※2 ケ/ク(%)	A2相当 コ※2 コ/ク(%)	A1・A2相当以外 サ※3 サ/ク(%)	サのうち 細胞診 実施者 シ シ/サ(%)
平成26年度実施対象市町村												
川俣町	1,763	23	20	0	3	12	5	20	3	7	10	1
		1.3	87.0	0.0	15.0	60.0	25.0	100.0	15.0	35.0	50.0	10.0
浪江町	2,511	28	23	0	2	9	12	22	0	2	20	3
		1.1	82.1	0.0	8.7	39.1	52.2	95.7	0.0	9.1	90.9	15.0
飯館村	765	14	11	0	2	6	3	11	2	3	6	1
		1.8	78.6	0.0	18.2	54.5	27.3	100.0	18.2	27.3	54.5	16.7
南相馬市	8,910	81	71	2	10	27	32	69	4	16	49	14
		0.9	87.7	2.8	14.1	38.0	45.1	97.2	5.8	23.2	71.0	28.6
伊達市	9,112	86	78	1	17	38	22	76	0	27	49	9
		0.9	90.7	1.3	21.8	48.7	28.2	97.4	0.0	35.5	64.5	18.4
田村市	5,008	51	43	1	3	29	10	41	1	10	30	6
		1.0	84.3	2.3	7.0	67.4	23.3	95.3	2.4	24.4	73.2	20.0
広野町	680	9	9	0	1	4	4	9	0	4	5	0
		1.3	100.0	0.0	11.1	44.4	44.4	100.0	0.0	44.4	55.6	0.0
楢葉町	1,002	5	5	0	0	1	4	5	0	0	5	0
		0.5	100.0	0.0	0.0	20.0	80.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
富岡町	2,001	25	21	0	3	4	14	20	1	5	14	1
		1.2	84.0	0.0	14.3	19.0	66.7	95.2	5.0	25.0	70.0	7.1
川内村	213	2	2	0	0	1	1	2	0	0	2	0
		0.9	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
大熊町	1,758	16	15	0	1	6	8	15	0	2	13	3
		0.9	93.8	0.0	6.7	40.0	53.3	100.0	0.0	13.3	86.7	23.1
双葉町	685	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0
		0.3	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
葛尾村	150	2	2	0	2	0	0	2	0	2	0	0
		1.3	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
福島市	42,704	349	297	5	39	140	113	290	13	53	224	50
		0.8	85.1	1.7	13.1	47.1	38.0	97.6	4.5	18.3	77.2	22.3
二本松市	7,885	59	51	1	6	23	21	51	1	9	41	4
		0.7	86.4	2.0	11.8	45.1	41.2	100.0	2.0	17.6	80.4	9.8
本宮市	4,810	31	26	0	1	15	10	25	0	4	21	6
		0.6	83.9	0.0	3.8	57.7	38.5	96.2	0.0	16.0	84.0	28.6
大玉村	1,264	6	6	0	0	4	2	6	0	3	3	0
		0.5	100.0	0.0	0.0	66.7	33.3	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0
郡山市	48,046	365	297	7	31	133	126	287	10	57	220	42
		0.8	81.4	2.4	10.4	44.8	42.4	96.6	3.5	19.9	76.7	19.1
桑折町	1,635	14	10	0	1	5	4	10	0	3	7	2
		0.9	71.4	0.0	10.0	50.0	40.0	100.0	0.0	30.0	70.0	28.6
国見町	1,241	9	8	1	1	0	6	8	0	1	7	0
		0.7	88.9	12.5	12.5	0.0	75.0	100.0	0.0	12.5	87.5	0.0
天栄村	793	11	6	0	0	3	3	6	1	1	4	1
		1.4	54.5	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	16.7	16.7	66.7	25.0
白河市	9,667	63	50	1	4	24	21	48	1	18	29	4
		0.7	79.4	2.0	8.0	48.0	42.0	96.0	2.1	37.5	60.4	13.8
西郷村	3,179	28	22	0	2	13	7	22	0	8	14	4
		0.9	78.6	0.0	9.1	59.1	31.8	100.0	0.0	36.4	63.6	28.6
泉崎村	998	4	3	0	0	1	2	3	0	0	3	0
		0.4	75.0	0.0	0.0	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
三春町	2,387	24	15	0	0	10	5	15	1	6	8	0
		1.0	62.5	0.0	0.0	66.7	33.3	100.0	6.7	40.0	53.3	0.0
小計	159,167	1,307	1,092	19	129	508	436	1,064	39	241	784	151
		0.8	83.6	1.7	11.8	46.5	39.9	97.4	3.7	22.7	73.7	19.3

- ※1 クには血液検査、尿検査及び細胞診実施者のうち、検査結果を通知していない対象者は含まない。
- ※2 ケ及びコは平成 28 年 4 月以降の本格検査において検査を実施する受診対象者。
- ※3 サは概ね 6 か月後または 1 年後に診療（予定）となる方及び A2 の基準値を超えるが次回検査となる方。
- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 年齢階級は本格検査の検査受診時点の年齢。

市町村名	一次検査実施者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ 率 イ/ア(%)	計 ウ 受診率 ウ/イ(%)	二次検査実施者(人)				結果確定数(人)				
				ウのうち 2~7歳 エ 率 エ/ウ(%)	ウのうち 8~12歳 オ 率 オ/ウ(%)	ウのうち 13~17歳 カ 率 カ/ウ(%)	ウのうち 18歳以上 キ 率 キ/ウ(%)	計 ク※1 率 ク/ウ(%)	A1相当 ケ※2 率 ケ/ウ(%)	A2相当 コ※2 率 コ/ウ(%)	A1・A2相当以外 サ※3 率 サ/ウ(%)	サのうち 細胞診 実施者 シ 率 シ/サ(%)
平成27年度実施対象市町村												
いわき市	45,265	378	313	2	26	121	164	302	12	49	241	25
		0.8	82.8	0.6	8.3	38.7	52.4	96.5	4.0	16.2	79.8	10.4
須賀川市	11,450	105	89	2	10	39	38	86	2	19	65	5
		0.9	84.8	2.2	11.2	43.8	42.7	96.6	2.3	22.1	75.6	7.7
相馬市	4,750	32	27	3	2	14	8	27	0	6	21	3
		0.7	84.4	11.1	7.4	51.9	29.6	100.0	0.0	22.2	77.8	14.3
鏡石町	1,978	16	15	0	0	8	7	14	0	2	12	1
		0.8	93.8	0.0	0.0	53.3	46.7	93.3	0.0	14.3	85.7	8.3
新地町	1,038	13	11	0	2	5	4	11	1	2	8	2
		1.3	84.6	0.0	18.2	45.5	36.4	100.0	9.1	18.2	72.7	25.0
中島村	754	5	5	0	0	3	2	5	0	0	5	1
		0.7	100.0	0.0	0.0	60.0	40.0	100.0	0.0	0.0	100.0	20.0
矢吹町	2,412	16	15	0	3	5	7	15	0	4	11	0
		0.7	93.8	0.0	20.0	33.3	46.7	100.0	0.0	26.7	73.3	0.0
石川町	2,027	14	12	0	1	8	3	12	1	3	8	1
		0.7	85.7	0.0	8.3	66.7	25.0	100.0	8.3	25.0	66.7	12.5
矢祭町	740	6	4	0	1	1	2	3	0	2	1	1
		0.8	66.7	0.0	25.0	25.0	50.0	75.0	0.0	66.7	33.3	100.0
浅川町	1,030	9	9	1	0	4	4	9	2	0	7	1
		0.9	100.0	11.1	0.0	44.4	44.4	100.0	22.2	0.0	77.8	14.3
平田村	855	7	7	0	2	5	0	5	0	2	3	0
		0.8	100.0	0.0	28.6	71.4	0.0	71.4	0.0	40.0	60.0	0.0
棚倉町	2,160	17	12	0	2	6	4	12	0	1	11	3
		0.8	70.6	0.0	16.7	50.0	33.3	100.0	0.0	8.3	91.7	27.3
塙町	1,166	11	11	0	0	5	6	10	1	1	8	1
		0.9	100.0	0.0	0.0	45.5	54.5	90.9	10.0	10.0	80.0	12.5
鮫川村	495	6	5	0	0	3	2	5	0	0	5	0
		1.2	83.3	0.0	0.0	60.0	40.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
小野町	1,263	12	10	0	2	5	3	10	1	0	9	0
		1.0	83.3	0.0	20.0	50.0	30.0	100.0	10.0	0.0	90.0	0.0
玉川村	964	9	5	0	0	4	1	5	0	1	4	0
		0.9	55.6	0.0	0.0	80.0	20.0	100.0	0.0	20.0	80.0	0.0
古殿町	794	5	5	0	1	1	3	5	0	2	3	0
		0.6	100.0	0.0	20.0	20.0	60.0	100.0	0.0	40.0	60.0	0.0
檜枝岐村	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南会津町	1,762	16	12	0	3	6	3	11	0	2	9	0
		0.9	75.0	0.0	25.0	50.0	25.0	91.7	0.0	18.2	81.8	0.0
金山町	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
昭和村	93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
三島町	121	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0
		0.8	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
下郷町	614	4	2	0	0	0	2	2	0	0	2	1
		0.7	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0
喜多方市	5,729	44	37	0	2	17	18	36	0	5	31	3
		0.8	84.1	0.0	5.4	45.9	48.6	97.3	0.0	13.9	86.1	9.7
西会津町	654	5	4	0	0	3	1	4	0	1	3	1
		0.8	80.0	0.0	0.0	75.0	25.0	100.0	0.0	25.0	75.0	33.3
只見町	458	7	4	0	0	2	2	4	0	1	3	1
		1.5	57.1	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	25.0	75.0	33.3
猪苗代町	1,730	12	10	0	0	5	5	9	0	1	8	0
		0.7	83.3	0.0	0.0	50.0	50.0	90.0	0.0	11.1	88.9	0.0
磐梯町	401	4	4	0	0	0	4	4	0	0	4	0
		1.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
北塩原村	377	2	2	0	1	0	1	2	0	0	2	0
		0.5	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
会津美里町	2,538	21	19	1	2	4	12	19	1	4	14	1
		0.8	90.5	5.3	10.5	21.1	63.2	100.0	5.3	21.1	73.7	7.1
会津坂下町	2,063	18	15	0	0	5	10	15	0	1	14	0
		0.9	83.3	0.0	0.0	33.3	66.7	100.0	0.0	6.7	93.3	0.0
柳津町	386	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会津若松市	14,579	121	84	0	5	42	37	79	3	10	66	3
		0.8	69.4	0.0	6.0	50.0	44.0	94.0	3.8	12.7	83.5	4.5
湯川村	516	4	3	0	0	2	1	2	0	0	2	0
		0.8	75.0	0.0	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	100.0	0.0
小計	111,349	920	752	9	65	324	354	724	24	119	581	54
		0.8	81.7	1.2	8.6	43.1	47.1	96.3	3.3	16.4	80.2	9.3
合計	270,516	2,227	1,844	28	194	832	790	1,788	63	360	1,365	205
		0.8	82.8	1.5	10.5	45.1	42.8	97.0	3.5	20.1	76.3	15.0

別表 6

悪性ないし悪性疑い者の手術症例

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 平成 26 年度実施対象市町村                                  |
|   | ・悪性ないし悪性疑い 52 人（手術実施 38 人：乳頭癌 37 人、その他の甲状腺癌 1 人） |
| 2 | 平成 27 年度実施対象市町村                                  |
|   | ・悪性ないし悪性疑い 19 人（手術実施 12 人：乳頭癌 12 人）              |
| 3 | 1～2 の合計  |
|   | ・悪性ないし悪性疑い 71 人（手術実施 50 人：乳頭癌 49 人、その他の甲状腺癌 1 人） |

## I 調査概要

### 1. 目的

子どもたちの健康を長期に見守るために、現時点での甲状腺の状態を把握するための先行検査及び甲状腺の状態を継続して確認するための本格検査（検査2回目）に引き続き、本格検査（検査3回目）を実施している。

### 2. 対象者

先行検査における対象者（平成4年4月2日から平成23年4月1日までに生まれた福島県民）に加え、本格検査（検査2回目）から平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民にまで拡大して検査を実施している。

### 3. 実施期間

平成28年5月1日から検査を開始し、20歳を超えるまでの対象者に、平成28年度及び平成29年度の2か年で市町村順に検査を実施し、それ以降は市町村順の枠組みをなくし、受診者に対し受診時期を分かり易くするため、25歳、30歳等の5年ごとの節目健診を実施する。ただし、25歳時の検査までは5年以上空けないこととする。

### 4. 実施機関

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、対象者の利便性も考慮し、福島県内外の医療機関等と連携して検査を実施している。（平成29年6月30日現在の協定締結数）

#### （1）一次検査

- （i） 県内検査実施機関 62 か所
- （ii） 県外検査実施機関 108 か所

#### （2）二次検査

- （i） 県内検査実施機関 5 か所（福島県立医科大学を含む）
- （ii） 県外検査実施機関 36 か所

### 5. 検査方法

#### （1）一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

- （i） A判定：A1、A2判定の場合は次回（平成30年度以降）の一次検査を行う。

（A1）結節やのう胞を認めなかった場合。

（A2）5.0 mm以下の結節や20.0 mm以下ののう胞を認めた場合。

- （ii） B判定：B判定の場合は二次検査を実施している。

5.1 mm以上の結節や20.1 mm以上ののう胞を認めた場合。

なお、A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した方については、B判定としている。

- （iii） C判定：C判定の場合は二次検査を実施している。

甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合。



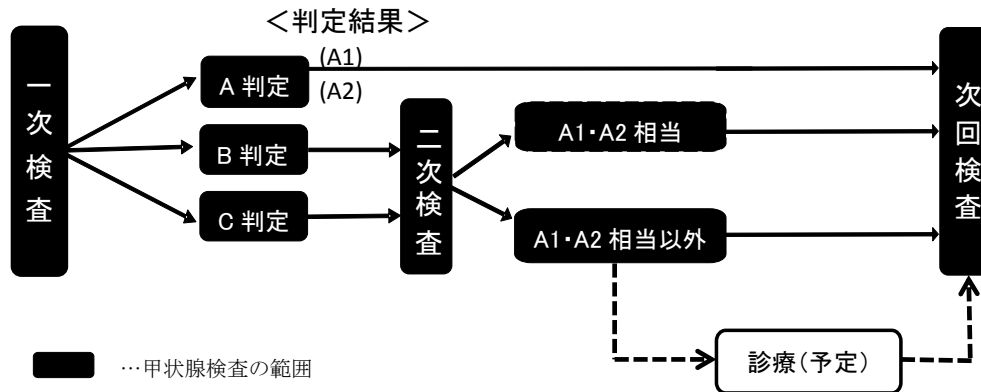
(2) 二次検査

一次検査の結果、B判定またはC判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。

なお、二次検査の結果、診療（予定）となる方がいる。

(3) 検査の流れ

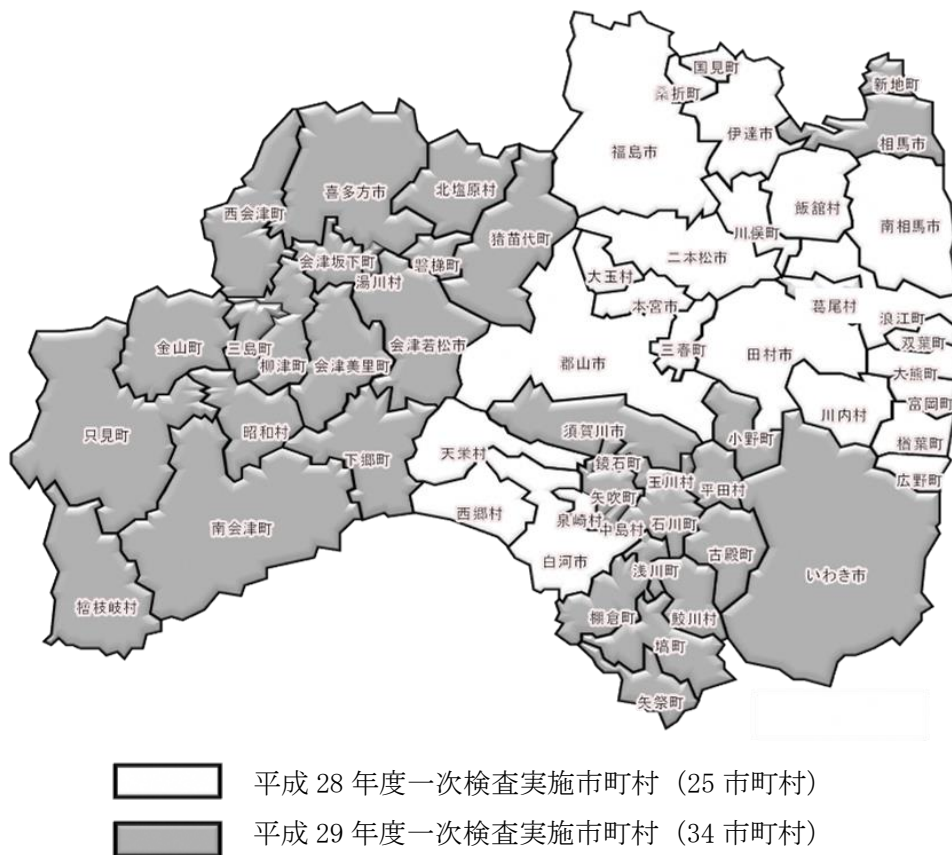
図 1.検査の流れ



6. 実施対象年度別市町村

平成 28 年度及び平成 29 年度の各実施対象市町村は次のとおり。

図 2. 実施対象年度別市町村



## II 調査結果概要（平成 29 年 6 月 30 日現在）

### 1. 一次検査結果

#### （1）一次検査実施状況

平成 28 年 5 月 1 日から検査を開始し、平成 28 年度の 25 市町村及び平成 29 年度の 34 市町村の計 59 市町村 336,631 人を対象として、138,422 人（41.1%）の検査を実施した。

※<sup>1,2</sup>

そのうち、123,857 人（89.5%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送している。※<sup>3</sup>

検査結果は A 判定（表 1 の A1 及び A2 判定）の方が 123,103 人（99.4%）、B 判定の方が 754 人（0.6%）、C 判定の方は 0 人であった。

表 1.一次検査進捗状況

平成 29 年 6 月 30 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ(ウ/イ)	結果判定数(人)				
		受診率 (%) イ(イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))				
					A		二次検査対象者		
					A1	エ(エ/ウ)	A2	オ(オ/ウ)	B
平成28年度 実施対象市町村計	191,866	118,877 (62.0)	8,160	118,042 (99.3)	40,995 (34.7)	76,329 (64.7)	718 (0.6)	0 (0.0)	
平成29年度 実施対象市町村計	144,765	19,545 (13.5)	250	5,815 (29.8)	2,393 (41.2)	3,386 (58.2)	36 (0.6)	0 (0.0)	
合計	336,631	138,422 (41.1)	8,410	123,857 (89.5)	43,388 (35.0)	79,715 (64.4)	754 (0.6)	0 (0.0)	

表 2.結節・のう胞の人数・割合

平成 29 年 6 月 30 日現在

	結果確定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ(イ/ア)	5.0mm以下 ウ(ウ/ア)	20.1mm以上 エ(エ/ア)	20.0mm以下 オ(オ/ア)
平成28年度 実施対象市町村計	118,042	718 (0.6)	396 (0.3)	0 (0.0)	76,670 (65.0)
平成29年度 実施対象市町村計	5,815	36 (0.6)	34 (0.6)	0 (0.0)	3,396 (58.4)
合計	123,857	754 (0.6)	430 (0.3)	0 (0.0)	80,066 (64.6)

※<sup>1</sup> 市町村別受診状況は、別表 1 のとおり。

※<sup>2</sup> 本県以外の都道府県別受診状況は、別表 2 のとおり。

※<sup>3</sup> 市町村別結果状況は、別表 3 のとおり。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 平成 28 年度実施対象市町村及び平成 29 年度実施対象市町村の対象者は、2 年間で、前半・後半に分けて、市町村ごとに行う本格検査対象者を計上しており、5 年ごとの節目に検査を行う節目健診対象者（平成 4 年度、平成 5 年度生まれ）を除いている。今後、この節目健診対象者については、別途、計上する。

(2) 年齢階級別受診率

平成 28 年度実施対象市町村の平成 28 年 4 月 1 日時点の年齢階級別の受診率は、18 歳以上の年齢階級で 15.1%となっている。

平成 29 年度実施対象市町村の平成 29 年 4 月 1 日時点の年齢階級別の受診率は、18 歳以上の年齢階級 3.1%となっている。

表 3.実施対象市町村における年齢階級受診率

平成 29 年 6 月 30 日現在

		計	年齢階級別内訳			
			4～7歳	8～12歳	13～17歳	18～23歳
平成28年度実施対象市町村計	年齢階級					
	対象者数(人) ア	191,866	36,613	51,001	56,839	47,413
	受診者数(人) イ	118,877	24,641	43,540	43,534	7,162
	受診率(%) イ/ア	62.0	67.3	85.4	76.6	15.1
平成29年度実施対象市町村計	年齢階級					
	対象者数(人) ア	144,765	19,285	37,164	41,995	46,321
	受診者数(人) イ	19,545	4,359	7,531	6,209	1,446
	受診率(%) イ/ア	13.5	22.6	20.3	14.8	3.1
合 計	対象者数(人) ア	336,631	55,898	88,165	98,834	93,734
	受診者数(人) イ	138,422	29,000	51,071	49,743	8,608
	受診率(%) イ/ア	41.1	51.9	57.9	50.3	9.2

- 平成 28 年度実施対象市町村の年齢階級は、平成 28 年 4 月 1 日時点の年齢。
- 平成 29 年度実施対象市町村の年齢階級は、平成 29 年 4 月 1 日時点の年齢。

(3) 本格検査（検査 2 回目）結果との比較

本格検査（検査 2 回目）で A 判定（A1 及び A2 判定）と判断された 115,613 人のうち、本格検査（検査 3 回目）で A 判定（A1 及び A2 判定）は 115,260 人（99.7%）、B 判定は 353 人（0.3%）であった。

また、本格検査（検査 2 回目）で B 判定と判断された 646 人のうち、本格検査（検査 3 回目）で A 判定（A1 及び A2 判定）は 287 人（44.4%）、B 判定は 359 人（55.6%）であった。

表 4.本格検査(検査 2 回目)結果との比較

平成 29 年 6 月 30 日現在

		本格検査 (検査2回目)結果 計 注1	本格検査(検査3回目)結果内訳 注2				
			A		B エ (エ/ア)	C オ (オ/ア)	
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)			
本格検査 (検査2回目) 検査結果	A	A1	47,959 (100.0)	33,810 (70.5)	14,076 (29.4)	73 (0.2)	0 (0.0)
		A2	67,654 (100.0)	6,244 (9.2)	61,130 (90.4)	280 (0.4)	0 (0.0)
	B	646 (100.0)	49 (7.6)	238 (36.8)	359 (55.6)	0 (0.0)	
	C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	受診なし	7,598 (100.0)	3,285 (43.2)	4,271 (56.2)	42 (0.6)	0 (0.0)	
計		123,857 (100.0)	43,388 (35.0)	79,715 (64.4)	754 (0.6)	0 (0.0)	

注 1 上段は本格検査（検査 3 回目）結果確定者の本格検査（検査 2 回目）検査結果（人）  
本格検査（検査 2 回目）結果総数（270,515 人）の内訳ではない。

注 2 上段は本格検査（検査 2 回目）結果に対する本格検査（検査 3 回目）結果内訳（人）  
下段は割合（%）

## 2. 二次検査結果

### (1) 二次検査実施状況

平成 28 年 10 月からは二次検査を実施しており、対象者 754 人のうち 438 人 (58.1%) が受診し、そのうち 367 人 (83.8%) が二次検査を終了している。※<sup>4</sup>

その 367 人のうち、36 人 (表 5 の A1 相当と A2 相当) (9.8%) は、詳細な検査の結果、一次検査基準で A1、A2 の範囲内であることが確認された方 (甲状腺に疾病のある方を含む) として次回検査となり、331 人 (表 5 の A1・A2 相当以外) (90.2%) は、概ね 6 か月後または 1 年後に診療 (予定) となる方および A2 の基準値を超えるが次回検査となる方であった。

表 5. 二次検査進捗状況

平成 29 年 6 月 30 日現在

	対象者数 (人)	受診者数(人) 受診率 (%)	結果確定数(人)				
			確定率 (%)	A1相当	A2相当	A1・A2相当以外	
						ウ(ウ/イ)	エ(エ/ウ)
ア	イ(イ/ア)	ウ(ウ/イ)	エ(エ/ウ)	オ(オ/ウ)	カ(カ/ウ)	キ(キ/カ)	
平成28年度 実施対象市町村計	718	426 (59.3)	356 (83.6)	3 (0.8)	33 (9.3)	320 (89.9)	17 (5.3)
平成29年度 実施対象市町村計	36	12 (33.3)	11 (91.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (100.0)	1 (9.1)
合計	754	438 (58.1)	367 (83.8)	3 (0.8)	33 (9.0)	331 (90.2)	18 (5.4)

※<sup>4</sup> 地域別実施状況については別表 5 のとおり。

### (2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を行った方のうち、7 人が「悪性ないし悪性疑い」の判定となった。

7 人の性別は男性 4 人、女性 3 人であった。また、二次検査時点での年齢は 13 歳から 18 歳 (平均年齢は 16.1±1.8 歳)、腫瘍の大きさは 8.7mm から 17.5mm (平均腫瘍径は 12.1±3.1mm) であった。

なお、7 人の本格検査 (検査 2 回目) の結果は、A 判定が 6 人 (A1 が 1 人、A2 が 5 人)、B 判定が 1 人であった。

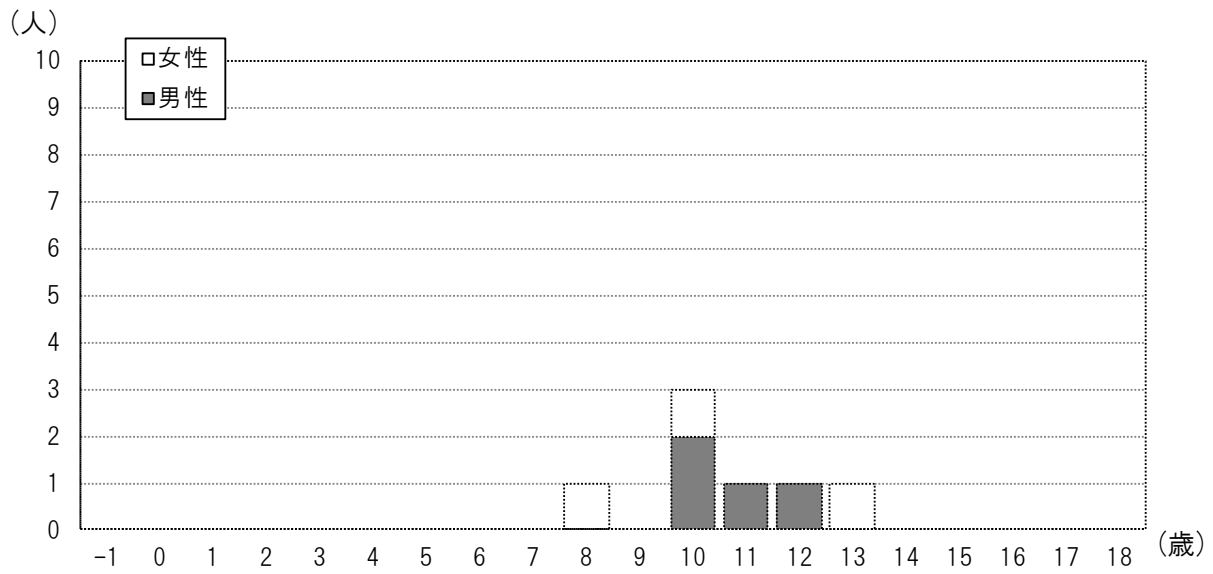
表 6. 細胞診結果 (平均年齢と平均腫瘍径の ( ) 内は範囲を示す)

ア	平成 28 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 7 人※ <sup>5</sup>
	・男性：女性 4 人：3 人
	・平均年齢 16.1±1.8 歳 (13-18 歳)、震災当時 10.6±1.6 歳 (8-13 歳)
	・平均腫瘍径 12.1±3.1 mm (8.7-17.5 mm)
イ	平成 29 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 0 人

※<sup>5</sup> 手術症例については別表 6 のとおり。

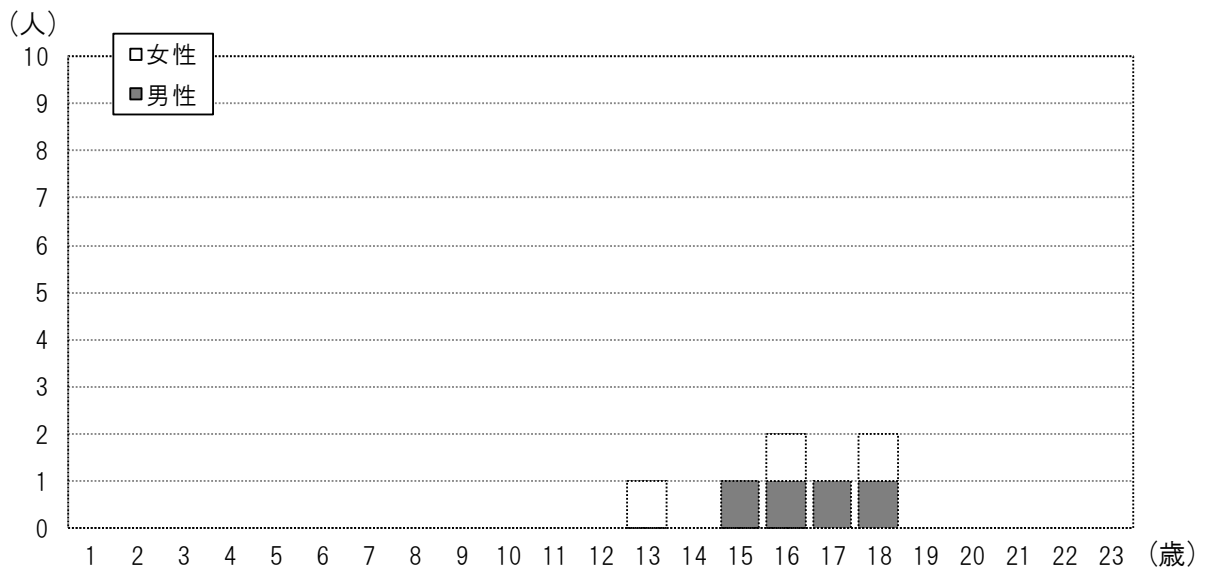
(3) 細胞診等で悪性ないし悪性疑いであった7人の年齢、性分布

図 3.平成 23 年 3 月 11 日時点の年齢による分布



-1 は、平成 23 年 4 月 2 日から平成 24 年 4 月 1 日までに生まれた福島県民

図 4.二次検査時点の年齢による分布



(4) 細胞診等による悪性ないし悪性疑い7人の基本調査結果

7人のうち基本調査問診票を提出した方は3人(42.9%)で、結果が通知された方は3人であった。このうち最大実効線量は1.5mSvであった。

今後も、引き続き問診票の意義や重要性を説明し提出していただくよう働きかけていく。

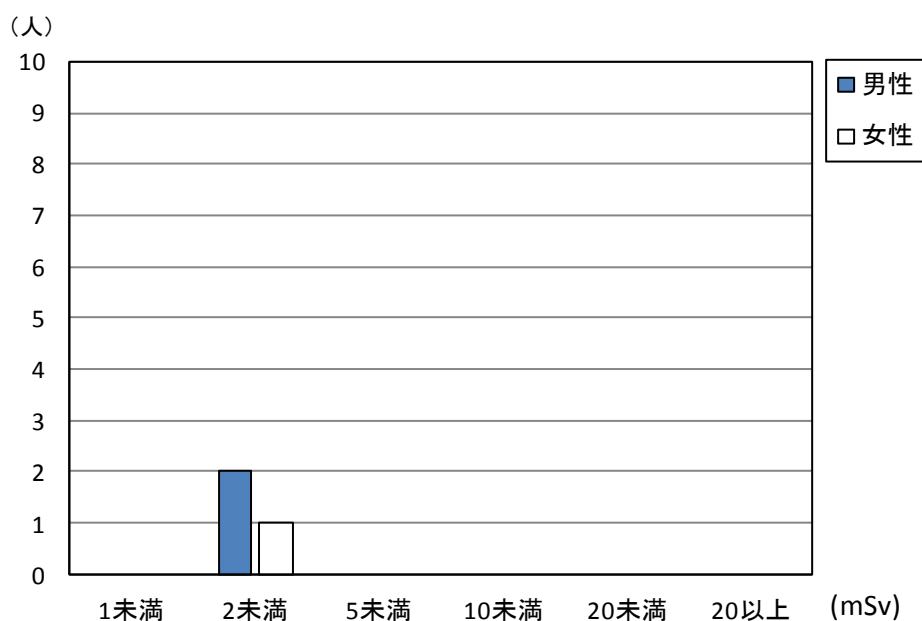
表7. 基本調査提出者の実効線量推計内訳(人)

平成29年6月30日現在

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)									
	0~5		6~10		11~15		16~18		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2未満	0	0	1	1	1	0	0	0	2	1
5未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	1	1	0	0	0	2	1

- 推計値は外部被ばく実効線量を推計したもの。

図5. 基本調査提出者の実効線量推計内訳



(5) 血液検査及び尿中ヨウ素(平成29年6月30日現在)

表8. 血液データ 平均±SD(異常値の割合)

	FT4 注3 (ng/dL)	FT3 注4 (pg/mL)	TSH 注5 (μIU/mL)	Tg 注6 (ng/mL)	TgAb 注7 (IU/mL)	TPOAb 注8 (IU/mL)
基準値	0.95~1.74 注9	2.13~4.07 注9	0.340~3.880 注9	33.7 以下	28.0 未満	16.0 未満
悪性ないし悪性疑い7人	1.2 ± 0.1 (0.0%)	3.6 ± 0.7 (14.3%)	1.4 ± 0.7 (14.3%)	20.2 ± 14.0 (14.3%)	— (14.3%)	— (14.3%)
その他352人	1.2 ± 0.1 (4.5%)	3.6 ± 0.5 (5.4%)	1.3 ± 0.8 (7.1%)	29.8 ± 85.0 (12.5%)	— (9.7%)	— (13.6%)

表9. 尿中ヨウ素データ

μg/day

	最小値	25%値	中央値	75%値	最大値
悪性ないし悪性疑い7人	69	118	228	340	424
その他352人	26	114.5	176.5	313.8	8910

- 注 3 FT4（遊離サイロキシン）・・・ヨードの数が 4 つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値（代表的疾患：バセドウ病）、甲状腺機能低下症では低値（代表的疾患：橋本病）になることが多い。
- 注 4 FT3（遊離トリヨードサイロニン）・・・ヨードの数が 3 つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値（代表的疾患：バセドウ病）、甲状腺機能低下症では低値（代表的疾患：橋本病）になることが多い。
- 注 5 TSH（甲状腺刺激ホルモン）・・・脳の下垂体から出ているホルモンで甲状腺へ甲状腺ホルモンを出すよう命令する。  
橋本病では高値、バセドウ病では低値になることが多い。
- 注 6 Tg(サイログロブリン)・・・甲状腺ホルモンになる直前の物質。甲状腺内に多量に存在する。  
甲状腺が破壊されたり、腫瘍が Tg を産生していたりする場合に高値になることが多い。
- 注 7 TgAb（抗サイログロブリン抗体）・・・サイログロブリンに対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値になることが多い。
- 注 8 TPOAb（抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体）・・・ペルオキシダーゼという酵素に対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値。
- 注 9 基準値は年齢ごとに異なる。

(6) 地域別二次検査結果 (平成 29 年 6 月 30 日現在)

二次検査における悪性ないし悪性疑いの割合は、国が指定した避難区域等の 13 市町村が 0.01%、中通り、浜通り及び会津地方でともに 0%である。

表10. 地域別結果

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査対象者 の割合(%) イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
避難区域等 13市町村 注1	23,140	183	0.8	118	3	0.01
中通り 注2	105,212	554	0.5	313	4	0.00
浜通り 注3	2,363	12	0.5	4	0	0.00
会津地方 注4	7,707	5	0.1	3	0	0.00
合計	138,422	754	0.5	438	7	0.01

- 早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施。

注 1 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

注 2 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

注 3 いわき市、相馬市、新地町

注 4 会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町



### 3. こころのケア・サポート

#### (1) 一次検査におけるサポートについて

平成27年7月から公共施設等の一般会場での一次検査では検査結果説明ブースを設置し、検査終了後、医師が超音波画像を提示しながら、結果を説明している。平成29年6月30日現在で、説明ブースを利用した方は受診者27,883人のうち22,931人(82.2%)であった。また、説明ブースを設置できない学校での検査については、学校説明会での対応や必要に応じて電話相談などの代替手段を行っている。

※説明ブースを利用した方には、検査2回目の方も含む。

#### (2) 二次検査におけるサポートについて

二次検査対象者については、サポートチームを立ち上げ、心配や不安に対する、こころのケア・サポートに努め、「WEB相談」による質問・相談を受け付けるなどの対応を行っている。

なお、本格検査開始以降、平成29年6月30日現在で、937人のサポートをしており、性別は男性327人、女性610人であった。この方々にのべ1,988回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時1130回(56.8%)、2回目以降受診時808回(40.6%)（うち穿刺吸引細胞診時124回(6.2%)）、インフォームドコンセント時50回(2.5%)であった。

また、保険診療移行後についても病院のチームと連携し、継続して支援を行っている。

※二次検査におけるサポートをした方には、検査2回目の方も含む。

別表 1

市町村別一次検査実施状況

平成 29 年 6 月 30 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 ※1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) ※2				イのうち県 外居住者 数(人) ウ※3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					4~9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上		
平成28年度実施対象市町村										
川俣町	2,142	1,391	33	64.9	404 29.0	544 39.1	403 29.0	40 2.9	37	2.7
浪江町	3,314	1,465	483	44.2	444 30.3	475 32.4	443 30.2	103 7.0	528	36.0
飯館村	987	580	22	58.8	163 28.1	255 44.0	147 25.3	15 2.6	30	5.2
南相馬市	11,540	6,186	1,164	53.6	1,957 31.6	2,450 39.6	1,540 24.9	239 3.9	1,202	19.4
伊達市	10,208	7,002	230	68.6	2,009 28.7	2,659 38.0	2,077 29.7	257 3.7	218	3.1
田村市	6,344	3,894	92	61.4	1,238 31.8	1,577 40.5	1,001 25.7	78 2.0	88	2.3
広野町	975	321	58	32.9	122 38.0	119 37.1	60 18.7	20 6.2	50	15.6
檜葉町	1,281	312	89	24.4	112 35.9	119 38.1	62 19.9	19 6.1	92	29.5
富岡町	2,750	808	271	29.4	219 27.1	261 32.3	256 31.7	72 8.9	287	35.5
川内村	297	148	13	49.8	41 27.7	67 45.3	39 26.4	1 0.7	14	9.5
大熊町	2,259	656	253	29.0	242 36.9	224 34.1	150 22.9	40 6.1	272	41.5
双葉町	1,133	272	107	24.0	92 33.8	100 36.8	67 24.6	13 4.8	109	40.1
葛尾村	211	105	4	49.8	31 29.5	41 39.0	24 22.9	9 8.6	5	4.8
福島市	49,341	33,314	1,963	67.5	10,075 30.2	12,014 36.1	9,990 30.0	1,235 3.7	2,069	6.2
二本松市	9,308	6,264	211	67.3	1,937 30.9	2,438 38.9	1,719 27.4	170 2.7	203	3.2
本宮市	5,615	3,837	118	68.3	1,297 33.8	1,436 37.4	1,006 26.2	98 2.6	109	2.8
大玉村	1,468	1,041	34	70.9	356 34.2	405 38.9	250 24.0	30 2.9	35	3.4
郡山市	59,467	36,310	2,551	61.1	11,066 30.5	14,042 38.7	9,930 27.3	1,272 3.5	2,612	7.2
桑折町	1,853	1,338	36	72.2	423 31.6	499 37.3	365 27.3	51 3.8	32	2.4
国見町	1,405	1,000	26	71.2	271 27.1	381 38.1	301 30.1	47 4.7	21	2.1
天栄村	966	562	24	58.2	175 31.1	250 44.5	118 21.0	19 3.4	18	3.2
白河市	11,351	7,207	238	63.5	2,181 30.3	2,790 38.7	2,016 28.0	220 3.1	253	3.5
西郷村	3,722	2,417	89	64.9	751 31.1	927 38.4	647 26.8	92 3.8	91	3.8
泉崎村	1,163	733	11	63.0	230 31.4	301 41.1	180 24.6	22 3.0	15	2.0
三春町	2,766	1,714	40	62.0	448 26.1	623 36.3	562 32.8	81 4.7	39	2.3
小計	191,866	118,877	8,160	62.0	36,284 30.5	44,997 37.9	33,353 28.1	4,243 3.6	8,429	7.1

※1 受診者のうち県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から県外へ出向いて実施した検査を受診した人数（平成 29 年 5 月 31 日現在）。

※2 上段には受診者数を、下段には受診者数イの階級別割合を記載。

※3 受診者のうち県外住所の方の人数。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 年齢階級は本格検査（検査 3 回目）の検査受診時点の年齢。

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 ※1	受診率 (%) イ/ア	年齢級別受診者数(人) 年齢級別内訳(%) ※2				イのうち県 外居住者 数(人) ウ※3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					4~9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上		
平成29年度実施対象市町村										
いわき市	56,799	2,079	154	3.7	1,098 52.8	217 10.4	219 10.5	545 26.2	286	13.8
須賀川市	14,108	1,622	16	11.5	440 27.1	172 10.6	997 61.5	13 0.8	50	3.1
相馬市	6,253	248	5	4.0	66 26.6	33 13.3	143 57.7	6 2.4	22	8.9
鏡石町	2,416	256	2	10.6	28 10.9	26 10.2	199 77.7	3 1.2	4	1.6
新地町	1,320	36	3	2.7	8 22.2	4 11.1	23 63.9	1 2.8	8	22.2
中島村	972	375	2	38.6	154 41.1	111 29.6	109 29.1	1 0.3	3	0.8
矢吹町	3,042	1,017	6	33.4	220 21.6	492 48.4	303 29.8	2 0.2	11	1.1
石川町	2,532	1,194	1	47.2	403 33.8	569 47.7	221 18.5	1 0.1	8	0.7
矢祭町	931	465	0	49.9	158 34.0	214 46.0	93 20.0	0 0.0	1	0.2
浅川町	1,210	637	2	52.6	181 28.4	301 47.3	153 24.0	2 0.3	7	1.1
平田村	1,101	535	0	48.6	179 33.5	255 47.7	101 18.9	0 0.0	4	0.7
棚倉町	2,748	704	3	25.6	222 31.5	151 21.4	328 46.6	3 0.4	8	1.1
塙町	1,492	733	0	49.1	222 30.3	333 45.4	177 24.1	1 0.1	7	1.0
鮫川村	616	310	1	50.3	101 32.6	142 45.8	67 21.6	0 0.0	3	1.0
小野町	1,716	847	6	49.4	289 34.1	413 48.8	144 17.0	1 0.1	8	0.9
玉川村	1,210	335	0	27.7	149 44.5	103 30.7	83 24.8	0 0.0	1	0.3
古殿町	946	445	1	47.0	161 36.2	221 49.7	62 13.9	1 0.2	4	0.9
檜枝岐村	94	26	0	27.7	12 46.2	12 46.2	2 7.7	0 0.0	0	0.0
南会津町	2,512	965	0	38.4	374 38.8	534 55.3	54 5.6	3 0.3	4	0.4
金山町	177	70	0	39.5	17 24.3	40 57.1	13 18.6	0 0.0	0	0.0
昭和村	127	56	0	44.1	23 41.1	26 46.4	7 12.5	0 0.0	0	0.0
三島町	174	67	0	38.5	19 28.4	41 61.2	7 10.4	0 0.0	0	0.0
下郷町	873	359	0	41.1	152 42.3	200 55.7	7 1.9	0 0.0	1	0.3
喜多方市	8,078	265	9	3.3	164 61.9	46 17.4	46 17.4	9 3.4	17	6.4
西会津町	885	316	1	35.7	118 37.3	157 49.7	39 12.3	2 0.6	1	0.3
只見町	641	254	0	39.6	98 38.6	142 55.9	14 5.5	0 0.0	0	0.0
猪苗代町	2,383	990	0	41.5	389 39.3	520 52.5	81 8.2	0 0.0	9	0.9
磐梯町	555	219	0	39.5	83 37.9	128 58.4	8 3.7	0 0.0	1	0.5
北塩原村	502	194	0	38.6	73 37.6	111 57.2	10 5.2	0 0.0	1	0.5
会津美里町	3,311	1,355	1	40.9	448 33.1	771 56.9	134 9.9	2 0.1	4	0.3
会津坂下町	2,790	1,080	4	38.7	412 38.1	625 57.9	37 3.4	6 0.6	6	0.6
柳津町	537	220	0	41.0	83 37.7	124 56.4	13 5.9	0 0.0	0	0.0
会津若松市	21,108	1,012	33	4.8	537 53.1	140 13.8	309 30.5	26 2.6	87	8.6
湯川村	606	259	0	42.7	98 37.8	146 56.4	15 5.8	0 0.0	1	0.4
小計	144,765	19,545	250	13.5	7,179 36.7	7,520 38.5	4,218 21.6	628 3.2	567	2.9
合計	336,631	138,422	8,410	41.1	43,463 31.4	52,517 37.9	37,571 27.1	4,871 3.5	8,996	6.5

## 別表 2

## 都道府県別県外検査実施状況

平成 29 年 5 月 31 日現在

都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)
北海道	6	241	福井県	1	14	広島県	1	17
青森県	1	99	山梨県	2	66	山口県	1	17
岩手県	3	209	長野県	2	75	徳島県	1	3
宮城県	2	1,898	岐阜県	1	28	香川県	1	10
秋田県	1	133	静岡県	2	66	愛媛県	1	6
山形県	3	478	愛知県	4	148	高知県	1	12
茨城県	4	475	三重県	1	16	福岡県	3	58
栃木県	7	542	滋賀県	1	14	佐賀県	1	5
群馬県	2	162	京都府	3	75	長崎県	2	18
埼玉県	2	357	大阪府	7	155	熊本県	1	20
千葉県	4	329	兵庫県	2	99	大分県	1	5
東京都	12	1,283	奈良県	2	19	宮崎県	1	25
神奈川県	5	665	和歌山県	1	5	鹿児島県	1	13
新潟県	2	416	鳥取県	1	6	沖縄県	1	36
富山県	2	13	島根県	1	10			
石川県	1	35	岡山県	3	34			
						合計	108	8,410

- 受診者数は県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から県外へ出向いて実施した検査を受診した人数。
- 福島県立医科大学から県外へ出向いて検査を行ったのは、神奈川県（1回）。

別表 3

市町村別一次検査結果

平成 29 年 6 月 30 日現在

	受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア(%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
			A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
			A1	A2						
平成28年度実施対象市町村										
川俣町	1,391	1,391	483	899	9	0	9	6	0	904
		100.0	34.7	64.6	0.6	0.0	0.6	0.4	0.0	65.0
浪江町	1,465	1,451	496	942	13	0	13	8	0	944
		99.0	34.2	64.9	0.9	0.0	0.9	0.6	0.0	65.1
飯館村	580	579	193	382	4	0	4	2	0	382
		99.8	33.3	66.0	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	66.0
南相馬市	6,186	6,158	2,201	3,911	46	0	46	28	0	3,931
		99.5	35.7	63.5	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	63.8
伊達市	7,002	6,995	2,425	4,522	48	0	48	23	0	4,546
		99.9	34.7	64.6	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	65.0
田村市	3,894	3,871	1,420	2,410	41	0	41	22	0	2,430
		99.4	36.7	62.3	1.1	0.0	1.1	0.6	0.0	62.8
広野町	321	316	110	204	2	0	2	3	0	203
		98.4	34.8	64.6	0.6	0.0	0.6	0.9	0.0	64.2
榑葉町	312	294	114	179	1	0	1	0	0	179
		94.2	38.8	60.9	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	60.9
富岡町	808	787	289	490	8	0	8	0	0	493
		97.4	36.7	62.3	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	62.6
川内村	148	143	37	105	1	0	1	0	0	106
		96.6	25.9	73.4	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	74.1
大熊町	656	642	211	422	9	0	9	3	0	423
		97.9	32.9	65.7	1.4	0.0	1.4	0.5	0.0	65.9
双葉町	272	263	112	150	1	0	1	0	0	150
		96.7	42.6	57.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	57.0
葛尾村	105	103	36	67	0	0	0	1	0	67
		98.1	35.0	65.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	65.0
福島市	33,314	33,254	11,671	21,401	182	0	182	98	0	21,493
		99.8	35.1	64.4	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	64.6
二本松市	6,264	6,253	2,231	3,978	44	0	44	22	0	4,002
		99.8	35.7	63.6	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	64.0
本宮市	3,837	3,823	1,325	2,482	16	0	16	7	0	2,493
		99.6	34.7	64.9	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0	65.2
大玉村	1,041	1,039	368	665	6	0	6	3	0	669
		99.8	35.4	64.0	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	64.4
郡山市	36,310	35,977	12,270	23,495	212	0	212	125	0	23,595
		99.1	34.1	65.3	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	65.6
桑折町	1,338	1,336	485	841	10	0	10	3	0	848
		99.9	36.3	62.9	0.7	0.0	0.7	0.2	0.0	63.5
国見町	1,000	1,000	332	660	8	0	8	2	0	665
		100.0	33.2	66.0	0.8	0.0	0.8	0.2	0.0	66.5
天栄村	562	532	182	344	6	0	6	1	0	348
		94.7	34.2	64.7	1.1	0.0	1.1	0.2	0.0	65.4
白河市	7,207	7,045	2,447	4,566	32	0	32	20	0	4,583
		97.8	34.7	64.8	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	65.1
西郷村	2,417	2,372	770	1,594	8	0	8	6	0	1,596
		98.1	32.5	67.2	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	67.3
泉崎村	733	718	246	472	0	0	0	5	0	471
		98.0	34.3	65.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	65.6
三春町	1,714	1,700	541	1,148	11	0	11	8	0	1,149
		99.2	31.8	67.5	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	67.6
小計	118,877	118,042	40,995	76,329	718	0	718	396	0	76,670
		99.3	34.7	64.7	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	65.0

● 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。

受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
		判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
		A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
		A1	A2						

平成29年度実施対象市町村

いわき市	2,079	1,809	874	924	11	0	11	6	0	927
		87.0	48.3	51.1	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	51.2
須賀川市	1,622	1,217	442	769	6	0	6	9	0	769
		75.0	36.3	63.2	0.5	0.0	0.5	0.7	0.0	63.2
相馬市	248	243	107	135	1	0	1	2	0	136
		98.0	44.0	55.6	0.4	0.0	0.4	0.8	0.0	56.0
鏡石町	256	161	50	111	0	0	0	1	0	111
		62.9	31.1	68.9	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	68.9
新地町	36	33	16	17	0	0	0	0	0	17
		91.7	48.5	51.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.5
中島村	375	106	40	65	1	0	1	0	0	65
		28.3	37.7	61.3	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	61.3
矢吹町	1,017	270	106	163	1	0	1	1	0	163
		26.5	39.3	60.4	0.4	0.0	0.4	0.4	0.0	60.4
石川町	1,194	149	62	86	1	0	1	0	0	86
		12.5	41.6	57.7	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	57.7
矢祭町	465	38	14	24	0	0	0	0	0	24
		8.2	36.8	63.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.2
浅川町	637	90	31	55	4	0	4	1	0	59
		14.1	34.4	61.1	4.4	0.0	4.4	1.1	0.0	65.6
平田村	535	75	19	56	0	0	0	0	0	56
		14.0	25.3	74.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.7
棚倉町	704	162	49	111	2	0	2	2	0	112
		23.0	30.2	68.5	1.2	0.0	1.2	1.2	0.0	69.1
塙町	733	81	20	59	2	0	2	1	0	59
		11.1	24.7	72.8	2.5	0.0	2.5	1.2	0.0	72.8
鮫川村	310	33	13	20	0	0	0	1	0	20
		10.6	39.4	60.6	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	60.6
小野町	847	169	53	114	2	0	2	2	0	116
		20.0	31.4	67.5	1.2	0.0	1.2	1.2	0.0	68.6
玉川村	335	65	21	44	0	0	0	0	0	44
		19.4	32.3	67.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.7
古殿町	445	30	12	18	0	0	0	0	0	18
		6.7	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
檜枝岐村	26	2	0	2	0	0	0	0	0	2
		7.7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
南会津町	965	51	21	30	0	0	0	1	0	29
		5.3	41.2	58.8	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	56.9
金山町	70	5	1	4	0	0	0	0	0	4
		7.1	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
昭和村	56	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		1.8	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
三島町	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
下郷町	359	11	3	8	0	0	0	0	0	8
		3.1	27.3	72.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.7
喜多方市	265	193	101	92	0	0	0	1	0	91
		72.8	52.3	47.7	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	47.2
西会津町	316	9	3	6	0	0	0	0	0	6
		2.8	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
只見町	254	13	3	10	0	0	0	0	0	10
		5.1	23.1	76.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9
猪苗代町	990	100	36	62	2	0	2	2	0	63
		10.1	36.0	62.0	2.0	0.0	2.0	2.0	0.0	63.0
磐梯町	219	1	0	1	0	0	0	0	0	1
		0.5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
北塩原村	194	7	3	4	0	0	0	1	0	3
		3.6	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9
会津美里町	1,355	26	6	20	0	0	0	0	0	20
		1.9	23.1	76.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9
会津坂下町	1,080	41	16	25	0	0	0	0	0	25
		3.8	39.0	61.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.0
柳津町	220	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		0.5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会津若松市	1,012	616	266	347	3	0	3	3	0	348
		60.9	43.2	56.3	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	56.5
湯川村	259	7	3	4	0	0	0	0	0	4
		2.7	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1
小計	19,545	5,815	2,393	3,386	36	0	36	34	0	3,396
		29.8	41.2	58.2	0.6	0.0	0.6	0.6	0.0	58.4
合計	138,422	123,857	43,388	79,715	754	0	754	430	0	80,066
		89.5	35.0	64.4	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	64.6

別表 4

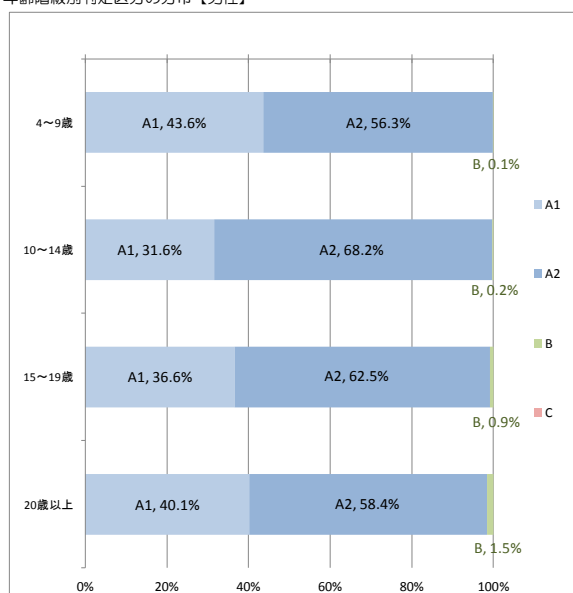
1 検査結果確定者の年齢及び性別

(単位 人)

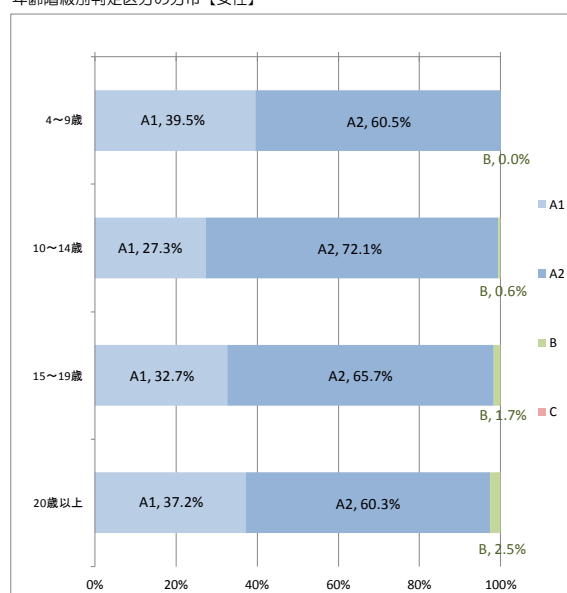
平成 29 年 6 月 30 日現在

判定・性別 年齢階級	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
4～9歳	8,584	7,355	15,939	11,084	11,260	22,344	11	6	17	0	0	0	19,679	18,621	38,300
10～14歳	7,347	6,059	13,406	15,875	16,034	31,909	54	136	190	0	0	0	23,276	22,229	45,505
15～19歳	6,475	5,775	12,250	11,075	11,618	22,693	158	292	450	0	0	0	17,708	17,685	35,393
20歳以上	827	966	1,793	1,203	1,566	2,769	31	66	97	0	0	0	2,061	2,598	4,659
合計	23,233	20,155	43,388	39,237	40,478	79,715	254	500	754	0	0	0	62,724	61,133	123,857

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】



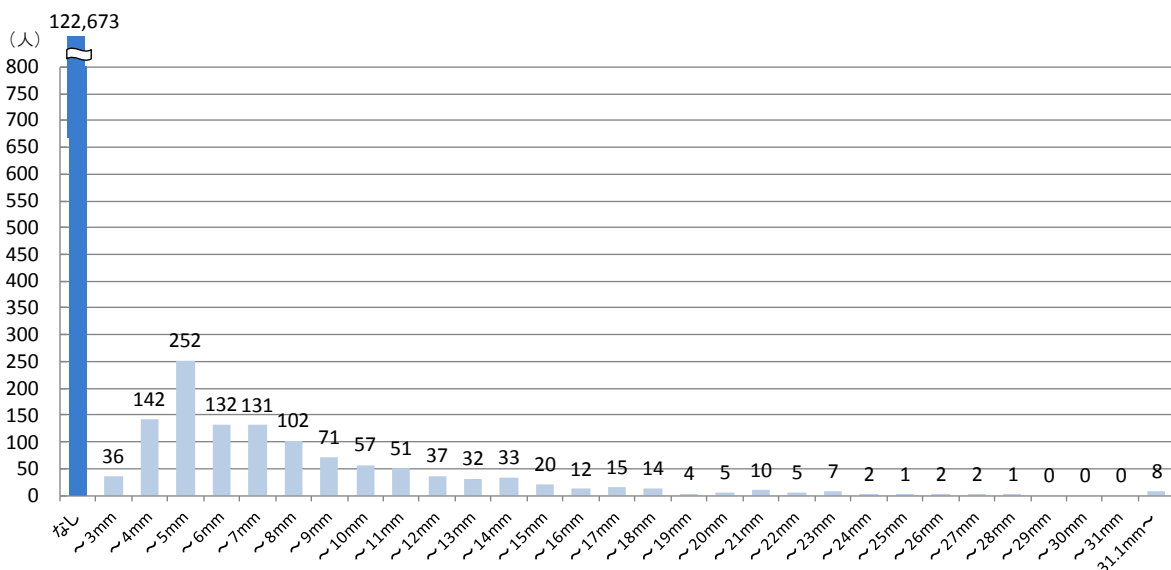
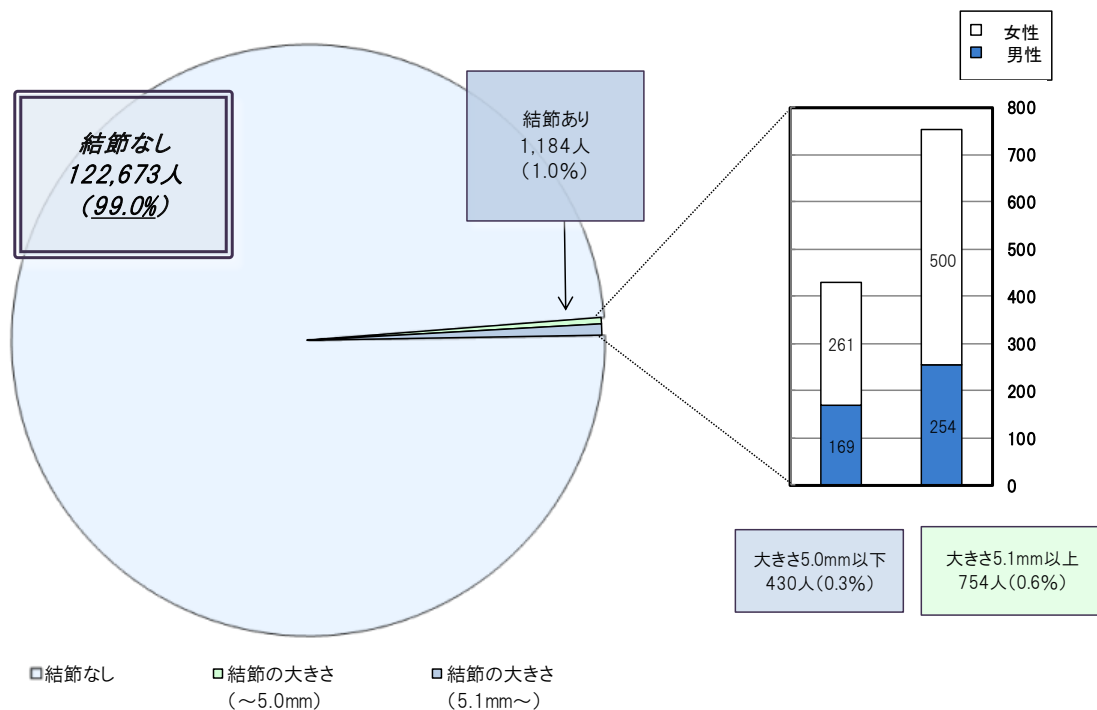
- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 年齢階級は本格検査（検査 3 回目）の検査受診時点の年齢。

## 2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

平成 29 年 6 月 30 日現在

結節の有無・大きさ	全体			判定区分	割合
	男性	女性			
なし	122,673	62,301	60,372	A1	99.0%
～3.0mm	36	16	20	A2	0.3%
3.1～5.0mm	394	153	241		
5.1～10.0mm	493	161	332	B	0.6%
10.1～15.0mm	173	57	116		
15.1～20.0mm	50	19	31		
20.1～25.0mm	25	11	14		
25.1mm～	13	6	7		
計	123,857	62,724	61,133		



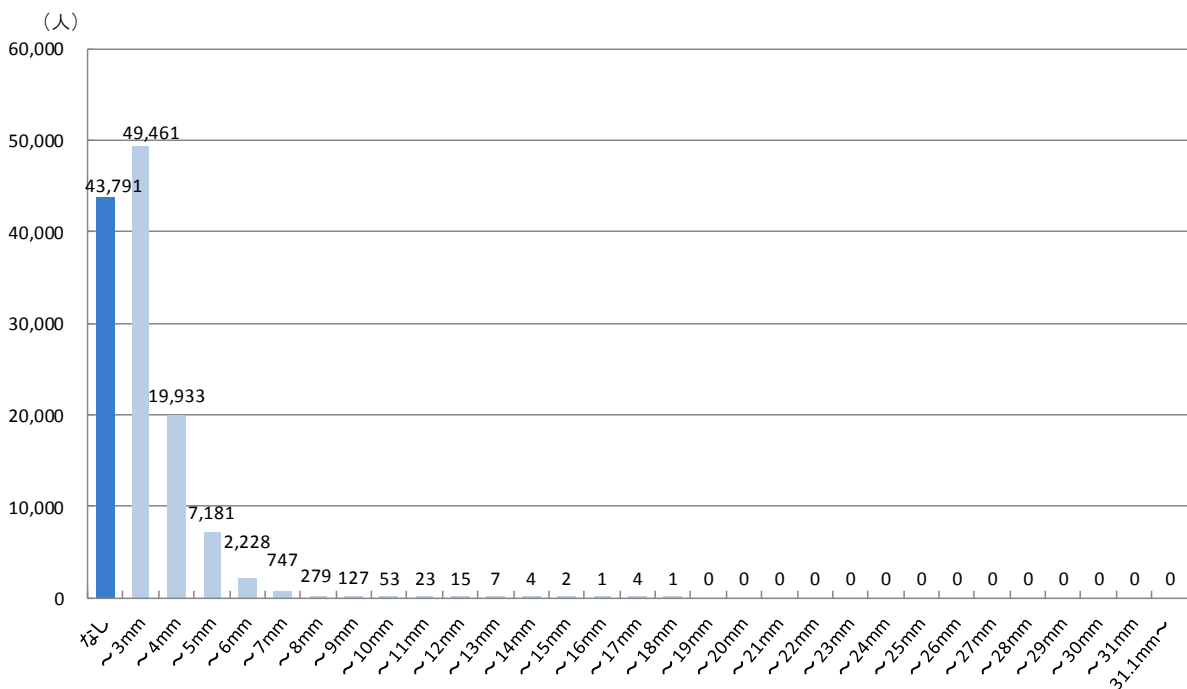
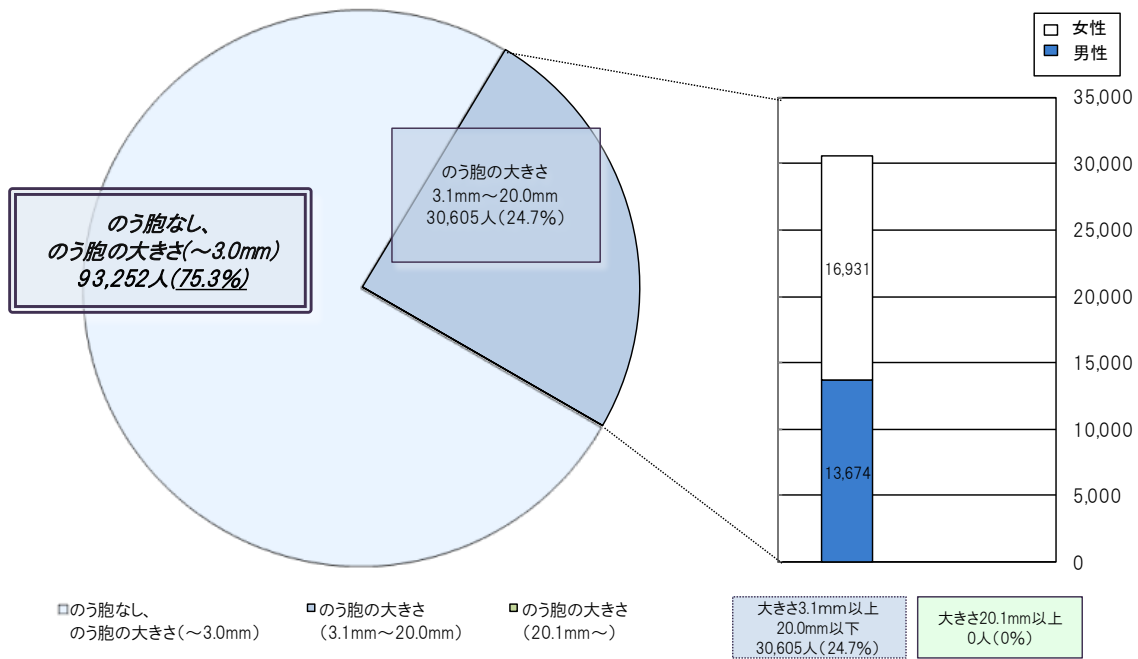


3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)

平成 29 年 6 月 30 日現在

のう胞の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	43,791	23,394	A1	75.3%
～3.0mm	49,461	25,656	A2	
3.1～5.0mm	27,114	12,422		
5.1～10.0mm	3,434	1,234		
10.1～15.0mm	51	16		
15.1～20.0mm	6	2	B	0.000%
20.1～25.0mm	0	0		
25.1mm～	0	0		
計	123,857	62,724		



別表 5

地域別二次検査実施状況

平成 29 年 6 月 30 日現在

市町村名	一次検査実施者 (人)	二次検査対象者 (人)	二次検査実施者(人)					結果確定数(人)				
			計	ウのうち 4～9歳	ウのうち 10～14歳	ウのうち 15～19歳	ウのうち 20歳以上	計	A1相当	A2相当	A1・A2相当以外	
				ウ 受診率 ウ/イ(%)	エ 率 エ/ウ(%)	オ 率 オ/ウ(%)	カ 率 カ/ウ(%)		キ 率 キ/ウ(%)	ケ※1	コ※2	サ※3
避難区域等 13市町村 注1	23,140	183	118	1	31	74	12	105	0	13	92	10
		0.8	64.5	0.8	26.3	62.7	10.2	89.0	0.0	12.4	87.6	10.9
中通り 注2	105,212	554	313	9	69	186	49	255	3	20	232	7
		0.5	56.5	2.9	22.0	59.4	15.7	81.5	1.2	7.8	91.0	3.0
浜通り 注3	2,363	12	4	0	1	2	1	4	0	0	4	1
		0.5	33.3	0.0	25.0	50.0	25.0	100.0	0.0	0.0	100.0	25.0
会津地方 注4	7,707	5	3	1	1	1	0	3	0	0	3	0
		0.1	60.0	33.3	33.3	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
合計	138,422	754	438	11	102	263	62	367	3	33	331	18
		0.5	58.1	2.5	23.3	60.0	14.2	83.8	0.8	9.0	90.2	5.4

- ※1 クには血液検査、尿検査及び細胞診実施者のうち、検査結果を通知していない対象者は含まない。
- ※2 ケ及びコは平成 30 年 4 月以降の本格検査において検査を実施する受診対象者。
- ※3 サは概ね 6 か月後または 1 年後に診療（予定）となる方及び A2 の基準値を超えるが次回検査となる方。
- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 年齢階級は本格検査（検査 3 回目）の検査受診時点の年齢。

- 注 1 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村
- 注 2 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
- 注 3 いわき市、相馬市、新地町
- 注 4 会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

別表 6

悪性ないし悪性疑い者の手術症例

1	平成 28 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 7 人（手術実施 3 人：乳頭癌 3 人）
2	平成 29 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 0 人
3	1～2 の合計
	・悪性ないし悪性疑い 7 人（手術実施 3 人：乳頭癌 3 人）

## 平成 29 年度 県民健康調査「健康診査」事業計画

## 1 目的

東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い、国が指定した警戒区域等の避難区域に居住していた住民を中心に、多くの方が突然、避難を余儀なくされ、生活スタイルが今までとは全く異なるものとなったり、食生活や運動習慣などの生活習慣にも大きな変化があったり、さらには、受診すべき健康診査も受けることができなくなるなど、自分の健康に不安を抱えている状況にあった。

県民の健康維持・増進を図るためには、住民一人一人が自分の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげていくことが必要であることから、避難区域等の住民を対象とした、健康診査を実施する。

## 2 対象者

平成 23 年時指定の避難区域等（以下「対象地域」という。）の住民及び基本調査の結果必要と認められた方

## 【対象地域】

田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の全域及び伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）

## 3 健康診査の項目

年齢区分	健診項目
0歳～6歳 (就学前乳幼児)	身長、体重、 [希望がある場合のみ] 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）
7歳～15歳 (小学校1年生～中学校3年生)	身長、体重、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） [希望による追加項目] 血液生化学（AST、ALT、 $\gamma$ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、血清クレアチニン、尿酸）
16歳以上	身長、体重、腹囲（又はBMI）、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） 尿検査（尿蛋白、尿糖、尿潜血） 血液生化学（AST、ALT、 $\gamma$ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、血清クレアチニン、eGFR、尿酸） ※下線部は、通常、特定健康診査では検査しない追加項目

## 4 受診率向上の取組み

## (1) 健康セミナーの実施

今後の健康管理に役立てていただくため、対象市町村が実施する行事等において「健康セミナー」のコーナーを設置し、健診結果に基づく医師による講話等を実施する。

実施時期	回数	実施内容・実施主体
7月	11会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師による講話</li> <li>・健康体操</li> <li>・専門職による個別相談</li> <li>・こころの健康に関すること</li> <li>・血圧測定</li> <li>・血糖測定（協力機関 一般社団法人福島県臨床検査技師会）</li> </ul>
9月	16会場	
10月	8会場	
11月	5会場	
12月	1会場	

## (2) 生活習慣病予防等のための取組み

今年度の健診案内時や集団・個別健診の結果通知時において「ふくしま健民アプリ」を活用し、県民自身が健康に関心を持ち、楽しく運動習慣を身につける等、生活習慣改善のきっかけとなるよう取組みを行う。

[16歳以上]  
集団健診・個別健診  
案内通知に同封



# ふくしま 健民アプリを活用して 上手に健康管理をしよう!



## 知ってる? 福島県民の健康状態

### 生活習慣病は福島県民の天敵!!

福島県の死亡率全国順位(人口10万対) 厚生労働省 平成29年度人口動態統計特殊報告  
平成27年度都道府県別年齢調整死亡率の概況を参照

急性心筋梗塞		糖尿病		脳梗塞	
男性	女性	男性	女性	男性	女性
1位	1位	11位	9位	7位	5位



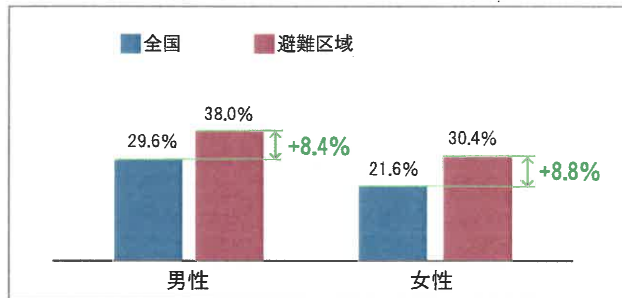
福島県が上位となっているこれらの病気は、生活習慣が病気の発症の原因となったり、進行に深く関わったりしています。

### 肥満が多い福島県



生活習慣病になりやすくなる大きな原因の一つが肥満です。  
震災以降、福島県では県民健康調査「健康診査」を避難区域※1にお住まいの方を対象に実施しています。その結果、震災から数年が経過した現在も、**肥満者※2の割合は全国の状態よりも多い状態だと分かりました。**

避難区域と全国の肥満者の割合の比較(40歳以上)



第26回福島県「県民健康調査」検討委員会 平成23~27年度 県民健康調査「健康診査」健診項目別受診実績基礎統計表、厚生労働省 国民健康・栄養調査(平成27年)を参照



肥満は、**高血圧** **糖尿病** **脂質異常症** といった

生活習慣病の原因となります。  
これらは、最初に紹介した福島県民に多い死因に関わってきます。  
また、もともと痩せていた方が多少太った場合でも注意が必要です。



肥満や生活習慣病は、**早い段階であれば日頃の生活の中で改善できます。**  
どのようなことができるのか一緒に見ていきましょう。

中面をご覧ください。

※1 避難区域: 田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の全域、及び伊達市の一部(特定非難勧奨地点の属する区域)。  
※2 肥満者: BMI(Body Mass Index[kg/m<sup>2</sup>]) ≥ 25kg/m<sup>2</sup>の方。

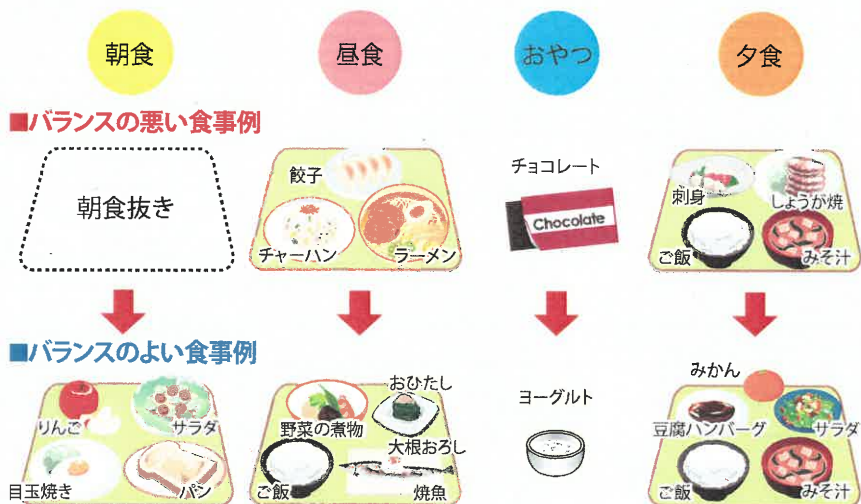
「ふくしま健民アプリ」のポイントは最後のページで獲得できます。

# 今日からできる！健康管理アドバイス

## ①食事は腹八分目を定期的に



食事のメニューは栄養バランスを考えながら摂取カロリーの総量を抑えれば、太りにくくなり、血糖値も上がりにくくなります。また、一度にたくさん食べるのではなく、食事を何度かに分けてゆっくり定期的に食べることも大切です。



## ②「おいしく減塩」してみましょう



福島県は以前から全国平均に比べ塩分摂取量が多く、高血圧の原因の1つとなっています。減塩すると味気がなくなると考えるかもしれませんが、工夫すればおいしく、満足感を高めて減塩できます。

### ○ ラーメンのスープは“締め一杯”

福島県はラーメン好きの方が多いですが、スープを全部飲んでしまうと3~4gの塩分を摂取してしまいます。スープはすべて飲み干さず、食べ終わりにレンゲ一杯分だけにすれば、摂取する塩分は10分の1以下になります。



### ○ 味噌汁は“だし”をきかせましょう

味噌汁は野菜やきのこで具たくさんにすると、汁の量を減らせます。だしは濃いめにとり、うまみをきかせると、調味料が少なくても満足感が高まります。



### ○ 3つの“味”を楽しみましょう

味噌・塩・醤油を減らすと味気なく感じるかもしれませんが、そんな時は辛味(こしょう・とうがらし・カレー粉)、酸味(酢・レモン)、薬味(ねぎ・しょうが・にんにく・しそ)の3つの“味”を上手に取り入れれば物足りなさを感じにくくなります。



※医師の指導を受けている場合は、その指導内容にしたがってください。





### ③生活の中に運動を取り入れましょう



適度な運動は肥満や生活習慣病予防に良いことはご存じだと思いますが、時間が取れなかったり、運動が苦手という人もいるのではないのでしょうか。

必ずしも「運動」にこだわらず、日常生活の中で、じっとしている時間を減らすだけでも十分な効果があります。

例えば・・・

- ・お風呂掃除や窓拭き、洗濯物を干すなど、家事動作を積極的に行う。
- ・駐車場は、建物の入口より遠いところに停めて余分に歩く。
- ・テレビを見ているときは、コマーシャルになったら一旦立ち上がる。
- ・デスクワークは、30分毎に席を立ったり、足腰のストレッチを行う。

このような小さいなことでも、1日の中で積み重ねていけば大きな効果につながっていきます。

生活の中で積極的にお身体を動かし、活動量が低下しないように心がけましょう。



「歩く」という日常の動きも、

- ・胸を張って遠くを見るように歩く
- ・いつもより大股で歩く
- ・いつもより速足で歩く
- ・家族や仲間と楽しく歩く などなど、

工夫すれば、さらに健康効果が期待できます！



### ④「ふくしま健民アプリ」を活用しましょう



普段どれだけ歩いているのかを把握するために、スマートフォンのアプリ「ふくしま健民アプリ」を活用してみたいはいかがでしょうか。

日々の歩行活動が自動で記録されるだけでなく、歩数に応じて福島県内のおすすめ観光スポットのバーチャル体験ができたり、協力店で特典が受けられたりと多くの機能があります。詳しくは裏面をご覧ください。

裏面で「ふくしま健民アプリ」のポイントが獲得できます。



ここまでお読みになった皆様へ



# ふくしま 健民アプリ

100ポイントを  
プレゼント!

健康診査を受診いただくと、  
お手元に届く結果通知書で、さらに200ポイントをプレゼント!

簡単! 二次元コードを  
読み込めば  
**今すぐ  
始められる!**

楽しい! **ご当地キャラ**  
と旅感覚で  
**ウォーキング!**

お得! 基準達成で  
**ふくしま健民  
カードGET!**

iPhone端末の場合

App Store  
からダウンロード

Android端末の場合

Google Play  
で手に入れよう



※画面は利用イメージです。

協力店1,200店舗以上!  
続々拡大中!  
画面をお店で見せて  
**お得な特典をGET!**

のぼりや  
ステッカーが  
目印!

ふくしま  
健民カード  
使えます!

※©2017 Apple Inc. All rights reserved. Apple, Appleロゴ, iPhoneは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。  
※Android, Google Play, Google Playロゴは、Google Inc.の商標です。

## ポイント獲得方法

①「ふくしま健民アプリ」をお持ちでない場合、上記の二次元コードからアプリをダウンロードし、初期設定を行ってください。

### 【初期設定方法】

- ・ふくしま健民アプリを起動するとアプリ起動画面が表示されます。
- ・起動画面の「利用を開始する」をタップし、「利用規約」に「同意する」をタップすると、「設定画面」が表示されます。
- ・「設定画面」で、市町村、性別、年齢を入力し、キャラクターを選択してニックネームを登録するとアプリのメイン画面が表示され、歩数カウントが始まります。

②ミッション一覧から【県民健康調査「健康診査」の案内を読もう!】を選択し、カメラマークをタップして下の二次元コードを読み込みます。



- ・「ふくしま健民アプリ」は18歳以上の方が対象となります。
- ・ポイント獲得期限は、平成30年3月15日までとなっております。

お問い合わせ 「ふくしま健民カード」事務局 (株式会社・プロジェ内 ふくらボ!編集部) (TEL)024-927-0021 (FAX)024-900-3666

詳しくはホームページで! ふくしま健民カード 検索 http://kenkou-fukushima.jp

チャレンジ ふくしま 県民運動

福島県 健康長寿ふくしま推進事業



## 健康診査 県民健康調査「健康診査」判定区分の誤りにについて

平成27・28年度県民健康調査「健康診査」において、健診業務委託先における健診結果のデータ誤入力により尿検査結果の判定区分に一部誤りがありました。

「生理中」であると問診票に記載したものが反映されずに判定となつたものです。

対象の方には、説明し謝罪するとともに、正しい判定結果の通知を行いました。

また、上記により第26回「県民健康調査」検討委員会資料について、以下のとおり訂正いたします。（訂正箇所：下線の部分）

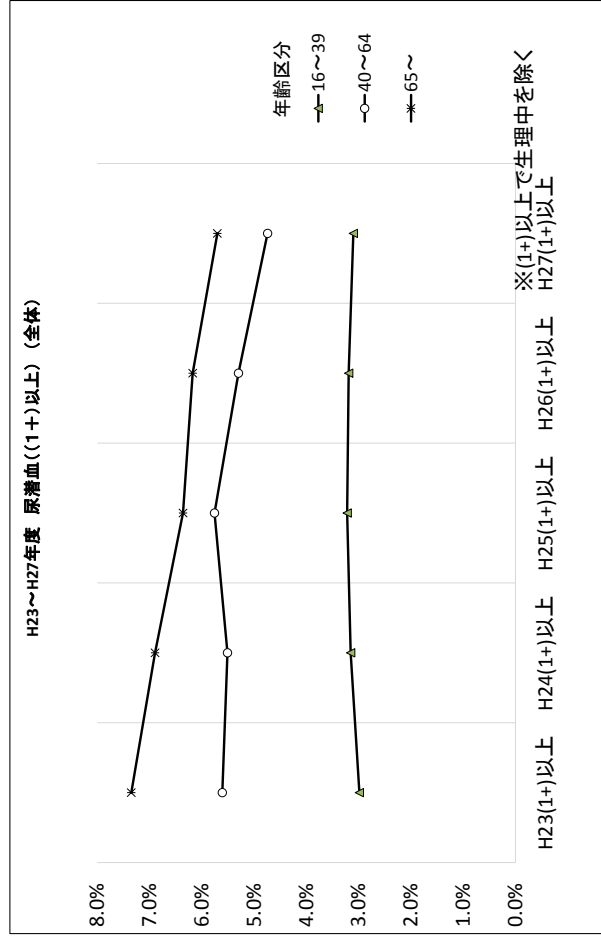
訂正資料：資料3-3「平成23年度～27年度 県民健康調査「健康診査」健診項目別受診実績基礎統計表」

### ●ページ③-12、15、28【各健診項目のまとめ】

#### 〔訂正後〕

(7) 生理中を除いた尿潜血(1+)以上の割合は、どの年齢層においても男女ともに平成23年度と比べ平成27年度に明らかな増加は認めなかった。

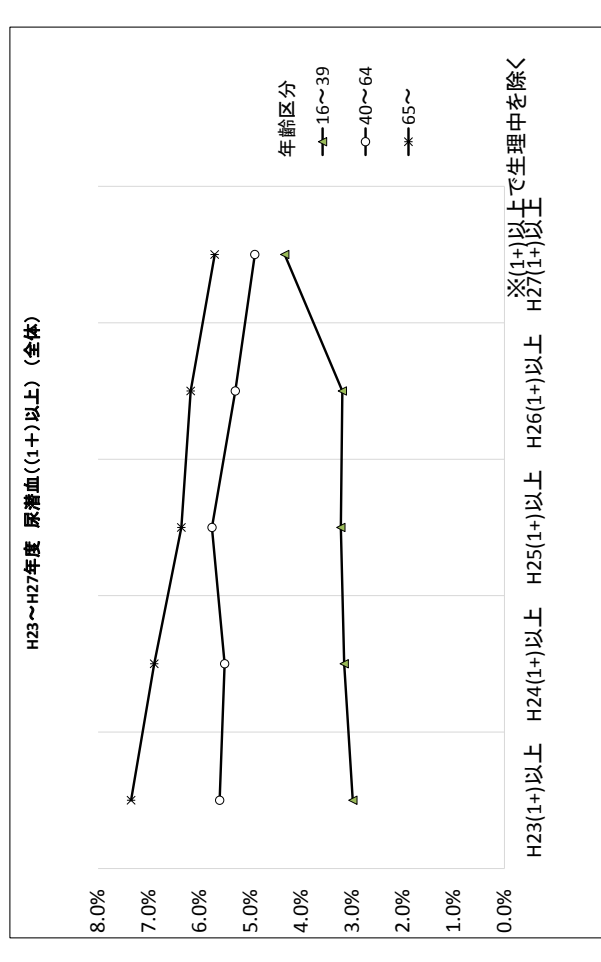
#### 尿潜血



#### 〔訂正前〕

(7) 生理中を除いた尿潜血(1+)以上の割合は、平成23年度と比べ平成27年度は16～39歳の女性においてのみ4.2%から6.2%へ上昇していたが、他の年齢層では男女とも低下していた。

#### 尿潜血



平成27年度

尿潜血（全体）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上 <small>(1+)以上で生理中を除く</small>
0～6	・	・	・
7～15	・	・	・
16～39	5,315	29.2	7.6%
40～64	14,711	55.1	6.0%
65～	19,495	73.2	5.7%

尿潜血（女性）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上 <small>(1+)以上で生理中を除く</small>
0～6	・	・	・
7～15	・	・	・
16～39	3,420	29.8	11.3%
40～64	9,235	54.8	8.1%
65～	10,648	73.2	7.2%

平成27年度

尿潜血（全体）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上 <small>(1+)以上で生理中を除く</small>
0～6	・	・	・
7～15	・	・	・
16～39	5,315	29.2	7.6%
40～64	14,711	55.1	6.0%
65～	19,495	73.2	5.7%

尿潜血（女性）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上 <small>(1+)以上で生理中を除く</small>
0～6	・	・	・
7～15	・	・	・
16～39	3,420	29.8	11.3%
40～64	9,235	54.8	8.1%
65～	10,648	73.2	7.2%

## 平成29年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」実施計画（案）

## 1 目的

平成23年度から平成28年度の調査結果を踏まえ、引き続きこころの健康状態及び生活習慣の推移を見守るため、平成29年度においても質問紙調査を実施する。

また、支援が必要と思われる回答者を対象に電話等による支援を行うとともに、市町村等と連携し、効果的な支援を実施する。

## 2 対象者

平成23年時指定の避難区域等の住民

215,296人（平成29年6月6日現在）

〔避難区域等〕

広野町、榑葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村  
南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点関係地区）

## 3 実施計画

## (1) 調査方法

ア 調査票：自記式又は保護者記載

調査区分

区分	対象者	備考
0歳～3歳	平成26年4月2日から 平成29年4月1日までに生まれた方	保護者回答
4歳～6歳	平成23年4月2日から 平成26年4月1日までに生まれた方	保護者回答
小学生	平成17年4月2日から 平成23年4月1日までに生まれた方	保護者回答
中学生	平成14年4月2日から 平成17年4月1日までに生まれた方	保護者回答 （一部自記式）
一般	平成14年4月1日以前に生まれた方	自記式

イ 調査票送付日：平成30年2月上旬より順次発送

ウ 調査回答方法：郵送又はオンライン（パソコン、スマートフォン等）  
（オンラインは平成28年度より実施）

## (2) 主な調査項目

ア 現在のこころとからだの健康状態について

イ 生活習慣（食生活、睡眠、喫煙、運動など）について

ウ 現在の生活状況について（「一般」）

## (3) 生活習慣病予防等のための取組み

今年度の調査案内時や調査結果通知時において「ふくしま健民アプリ」を活用し、県民自身が健康に関心を持ち、楽しく運動習慣を身につける等、生活習慣改善のきっかけとなるよう取組みを行う。

#### 4 調査後の対応

- (1) 回答内容を、医科大学の医師等が評価・分析する。こころの健康及び生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方には、臨床心理士や保健師・看護師等による「こころの健康支援チーム」が電話支援等を行う。
- (2) 電話支援等により医師の診察が必要と判断された場合は、県内医療機関の「登録医師（※登録医師について参照）」を紹介する。また、継続的な支援が必要な場合には、避難元の市町村等と連携し、必要な支援を検討・提供する。
- (3) 登録医師の判断により、さらに専門家によるこころのケアが必要と判断された場合には、医科大学等（通常の診療行為）で対応する。具体的には、小児においては「こどもの心診療センター」、それ以外は「心身医療科」で対応する。
- (4) こころの健康支援チームが放射線に関する相談を受け、当該専門医師等の対応が必要と判断された場合には、医科大学の教員による「放射線健康相談チーム」において対応する。また、放射線の影響による健康相談等のうち、直接診察が必要な場合には、専門医師等による対応を検討する。

#### ※ 登録医師について

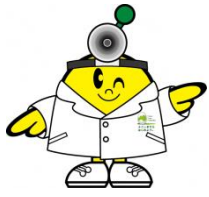
こころの健康度・生活習慣に関する調査等の結果、精神科・小児科等の医師による診察が必要だと判断された場合に、その診療にあたる医師。

#### ○ 登録に必要な条件

医科大学が主催、または認定する講習会等を受講していること

#### ○ 登録数（平成 29 年 7 月 31 日現在）

130名（81 医療機関）



最後まで読むと  
100ポイントもらえるよ!

# ふくしま 健民アプリ

を活用して  
楽しく運動習慣を身につけましょう!!

## Q 軽い運動が生活習慣病の予防に効果的と聞いたけど本当?

A はい。軽く汗をかく程度で持続的にできる運動は、肥満や糖尿病など生活習慣病の予防に効果的です。また、骨や関節が丈夫になったり、日常生活の動作がスムーズになります。さらに、軽い運動は脳の神経伝達物質を活性化させるため、認知症予防やうつ予防にもつながります。

## Q 具体的にはどんな運動をすればいいの?

A 少し早く歩くなど、軽く汗をかく運動を1日30分毎日行うことが理想です。一度に行えなくても、毎日3食の後に10分ずつ運動するなど出来るタイミングで毎日続けることをおすすめします。家事なども良い運動になります。とにかく座りっぱなしの時間を減らしましょう!

持病のある方は、  
運動の前に  
お医者さんに  
相談してね。



## 「ふくしま健民アプリ」を活用しましょう!

普段どれだけ歩いているのかを把握するために、スマートフォンのアプリ

「ふくしま健民アプリ」を活用してみたいかがでしょうか。

日々の歩行活動が自動で記録されるだけでなく、歩数に応じて福島県内のおすすめ観光スポットのバーチャル体験ができたり、協力店で特典が受けられたりと多くの機能があります。

詳しくは裏面をご覧ください。

裏面で「ふくしま健民アプリ」のポイントが獲得できます。



ここまでお読みになった皆様へ



# ふくしま 健民アプリ

100ポイントを  
プレゼント!

こころの健康度・生活習慣に関する調査にご回答いただくと、  
お手元に届く結果通知書で、さらに200ポイントをプレゼント!

簡単!

二次元コードを  
読み込めば  
**今すぐ  
始められる!**

楽しい!

**ご当地キャラ  
と旅感覚で  
ウォーキング!**

お得!

基準達成で  
**ふくしま健民  
カードGET!**

iPhone端末の場合



App Store  
からダウンロード

Android端末の場合



Google Play  
で手に入れよう

©2017 Apple Inc. All rights reserved. Apple, Apple ロゴ, iPhone は  
米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は  
Apple Inc. のサービスマークです。  
\*Android, Google Play, Google Play ロゴは, Google Inc. の商標です。



※画面は利用イメージです。

協力店1,200店舗以上!  
続々拡大中!  
画面をお店で見せて  
**お得な特典をGET!**



## ポイント獲得方法

①「ふくしま健民アプリ」をお持ちでない場合、上記の二次元コードからアプリをダウンロードし、初期設定を行ってください。

### 【初期設定方法】

- ・ふくしま健民アプリを起動するとアプリ起動画面が表示されます。
- ・起動画面の「利用を開始する」をタップし、「利用規約」に「同意する」をタップすると、「設定画面」が表示されます。
- ・「設定画面」で、市町村、性別、年齢を入力し、キャラクターを選択してニックネームを登録するとアプリのメイン画面が表示され、歩数カウントが始まります。

②ミッション一覧から【県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の案内を読む!】を選択し、カメラマークをタップして下の二次元コードを読み込みます。



見本

- ・「ふくしま健民アプリ」は18歳以上の方が対象となります。
- ・ポイント獲得期限は、平成30年8月31日までとなっております。

お問い合わせ

「ふくしま健民カード」事務局

(株式会社・プロジェ内 ふくらボ! 編集部)

TEL) 024-927-0021 (FAX) 024-900-3666

詳しくはホームページで!

ふくしま健民カード

検索

http://kushima.jp



健康長寿ふくしま推進事業

県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」  
結果報告書の集計誤りについて

平成26・27年度の県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果報告書及び結果概要の一部に集計誤りがありました。報告書作成のための調査結果集計作業での絞り込み及びデータクレンジング作業の誤りによるものです。お詫びするとともに、以下のとおり訂正いたします（訂正箇所：下線の部分）。

なお、これにより、個別対象者への支援や調査結果通知等には影響ありません。

訂正資料：平成26年度県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果報告書（第23回検討委員会資料4-3）

〔訂正後〕

●ページ④-26・④-43問8子どもの情緒と行動について

2) 子どもが情緒、集中心力、行動、他人との付き合いのいずれか1つ以上の領域において困難を抱えているかについて、「いいえ」が858人(66.4%)、「はい(ささいな困難)」が320人(24.7%)、「はい(明らかな困難)」が94人(7.3%)、「はい(深刻な困難)」が21人(1.6%)であった。

3) 2)で「はい」と回答した者のうち、子どもがその困難によって動揺したり、悩んだりしているかについて、「まったくない」が72人(17.2%)、「すこしだけ」が278人(66.3%)、「かなり」が53人(12.6%)、「大いに」が16人(3.8%)であった。

●ページ④-27・④-43問9学校について

学校(学校に行きたくないことがありますか)について、「ある」が193人(15.3%)、「ない」が1,065人(84.7%)であった。

〔訂正前〕

●ページ④-26・④-43問8子どもの情緒と行動について

2) 子どもが情緒、集中心力、行動、他人との付き合いのいずれか1つ以上の領域において困難を抱えているかについて、「いいえ」が866人(66.3%)、「はい(ささいな困難)」が323人(24.7%)、「はい(明らかな困難)」が96人(7.4%)、「はい(深刻な困難)」が21人(1.6%)であった。

3) 2)で「はい」と回答した者のうち、子どもがその困難によって動揺したり、悩んだりしているかについて、「まったくない」が72人(17.0%)、「すこしだけ」が282人(66.5%)、「かなり」が54人(12.7%)、「大いに」が16人(3.8%)であった。

●ページ④-27・④-43問9学校について

学校(学校に行きたくないことがありますか)について、「ある」が199人(15.7%)、「ない」が1,072人(84.3%)であった。

問8 SDQ	人数	割合
2) 困難の有無の程度 (有効回答 1,293人)	858	66.4%
・いい		
・はい(ささいな困難)	320	24.7%
・はい(明らかな困難)	94	7.3%
・はい(深刻な困難)	21	1.6%
3) 困難による動揺の程度 (有効回答 419人)	72	17.2%
・まったくくない		
・すこしだけ	278	66.3%
・かなり	53	12.6%
・大いに	16	3.8%
問9 学校に行きたがらない (有効回答 1,258人)	193	15.3%
・ある		
・ない	1,065	84.7%

●ページ④-34・④-45 問 11 (現在の) 生活状況について

3) 現在の住まい(複数回答)は、「借上住宅」が9,147人、「仮設住宅」が5,596人、「復興公営住宅」が428人、「借家・アパート」が5,170人、「親戚宅」が952人、「持家」が21,666人、「その他」が596人であった。

5) 現在のくらし向きを経済的にみてどう感じているかについては、「苦しい」が4,724人(11.0%)、「やや苦しい」が9,843人(22.9%)、「普通」が25,394人(59.2%)、「ややゆとりがある」が2,144人(5.0%)、「ゆとりがある」が785人(1.8%)であった。

問8 SDQ	人数	割合
2) 困難の有無の程度 (有効回答 1,306人)	866	66.3%
・いい		
・はい(ささいな困難)	323	24.7%
・はい(明らかな困難)	96	7.4%
・はい(深刻な困難)	21	1.6%
3) 困難による動揺の程度 (有効回答 424人)	72	17.0%
・まったくくない		
・すこしだけ	282	66.5%
・かなり	54	12.7%
・大いに	16	3.8%
問9 学校に行きたがらない (有効回答 1,271人)	199	15.7%
・ある		
・ない	1,072	84.3%

●ページ④-34・④-45 問 11 (現在の) 生活状況について

3) 現在の住まい(複数回答)は、「借上住宅」が9,147人、「仮設住宅」が134人、「復興公営住宅」が14人、「借家・アパート」が431人、「親戚宅」が322人、「持家」が300人、「その他」が478人であった。

5) 現在のくらし向きを経済的にみてどう感じているかについては、「苦しい」が4,533人(10.9%)、「やや苦しい」が9,557人(22.9%)、「普通」が24,703人(59.3%)、「ややゆとりがある」が2,112人(5.1%)、「ゆとりがある」が768人(1.8%)であった。



問11 現在の生活状況について

人数	割合
3)現在の住まい ※複数回答	
・借上住宅	9,147
・仮設住宅	5,596
・復興公営住宅	428
・借家・アパート	5,170
・親戚宅	952
・持家	21,666
・その他	596
5)現在のくらし向き (有効回答 42,890人)	
・苦しい	4,724
・やや苦しい	9,843
・普通	25,394
・ややゆとりがある	2,144
・ゆとりがある	785
	11.0%
	22.9%
	59.2%
	5.0%
	1.8%

問11 現在の生活状況について

人数	割合
3)現在の住まい ※複数回答	
・借上住宅	9,147
・仮設住宅	134
・復興公営住宅	14
・借家・アパート	431
・親戚宅	322
・持家	300
・その他	478
5)現在のくらし向き (有効回答 41,673人)	
・苦しい	4,533
・やや苦しい	9,557
・普通	24,703
・ややゆとりがある	2,112
・ゆとりがある	768
	10.9%
	22.9%
	59.3%
	5.1%
	1.8%

訂正資料：平成27年度県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果概要（第27回検討委員会資料4-2）

〔訂正後〕

- ページ④-5 4) 中学生
- ・ 睡眠時間は、平均で7時間7分であり、平成26年度調査（7時間9分）とほぼ同程度であった。

〔訂正前〕

- ページ④-5 4) 中学生
- ・ 睡眠時間は、平均で7時間12分であり、平成26年度調査（7時間9分）とほぼ同程度であった。

訂正資料：平成27年度県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果報告書（第27回検討委員会資料4-3）

〔訂正後〕

- ページ④-25・④-44 問3 睡眠について
- 1) 睡眠時間は、平均で7時間7分であった。

問3 睡眠

1) 睡眠時間 (有効回答 855人) ・平均睡眠時間 7時間7分

- ページ④-35・④-46 問11（現在の）生活状況について
- 3) 現在の住まい（複数回答）は、「借上住宅」が7,066人、「仮設住宅」が4,212人、「復興公営住宅」が920人、「借家・アパート」が4,954人、「親戚宅」が944人、「持家」が25,001人、「その他」が581人であった。

5) 現在のくらし向きを経済的にみてどう感じているかについては、「苦しい」が4,033人(9.4%)、「やや苦しい」が9,210人(21.4%)、「普通」が26,602人(61.8%)、「ややゆとりがある」が2,322人(5.4%)、「ゆとりがある」が893人(2.1%)であった。

〔訂正前〕

- ページ④-25・④-44 問3 睡眠について
- 1) 睡眠時間は、平均で7時間12分であった。

問3 睡眠

1) 睡眠時間 (有効回答 823人) ・平均睡眠時間 7時間12分

- ページ④-35・④-46 問11（現在の）生活状況について
- 3) 現在の住まい（複数回答）は、「借上住宅」が7,066人、「仮設住宅」が125人、「復興公営住宅」が10人、「借家・アパート」が416人、「親戚宅」が375人、「持家」が273人、「その他」が444人であった。

5) 現在のくらし向きを経済的にみてどう感じているかについては、「苦しい」が3,908人(9.3%)、「やや苦しい」が8,968人(21.4%)、「普通」が25,854人(61.7%)、「ややゆとりがある」が2,285人(5.5%)、「ゆとりがある」が873人(2.1%)であった。

問11 現在の生活状況について	人数	割合
3)現在の住まい ※複数回答		
・借上住宅	7,066	—
・仮設住宅	4,212	—
・復興公営住宅	920	—
・借家・アパート	4,954	—
・親戚宅	944	—
・持家	25,001	—
・その他	581	—
5)現在のくらし向き (有効回答 43,060人)	4,033	9.4%
・苦しい		
・やや苦しい	9,210	21.4%
・普通	26,602	61.8%
・ややゆとりがある	2,322	5.4%
・ゆとりがある	893	2.1%

問11 現在の生活状況について	人数	割合
3)現在の住まい ※複数回答		
・借上住宅	7,066	—
・仮設住宅	125	—
・復興公営住宅	10	—
・借家・アパート	416	—
・親戚宅	375	—
・持家	273	—
・その他	444	—
5)現在のくらし向き (有効回答 41,888人)	3,908	9.3%
・苦しい		
・やや苦しい	8,968	21.4%
・普通	25,854	61.7%
・ややゆとりがある	2,285	5.5%
・ゆとりがある	873	2.1%

## 平成24年度「妊産婦に関する調査」の回答者に対するフォローアップ調査結果報告

## 1 調査概要

## (1) 目的

平成23年度以降、毎年異なる集団を対象とする横断調査「妊産婦に関する調査」を行っている。震災時に「妊産婦に関する調査」に回答した者は、特にうつ傾向の割合が高く、自由記載内容も深刻な内容を含んでいたため、平成23年度「妊産婦に関する調査」の回答者に対し、育児に自信がないと感じる母親が増加する時期である出産4年後に、フォローアップ調査を行なった（以下、「平成23年度フォロー」という。）。その結果、うつ傾向が4人に1人、放射線の影響についての項目に不安があるとチェックした者が9割を占めた。そのため、平成24年度「妊産婦に関する調査」（以下、「平成24年度調査」という。）の回答者に対してもフォローアップ調査（以下、「平成24年度フォロー」という。）を実施し、健康状態を把握し、支援が必要な者には電話支援を継続することを目的とした。

## (2) 対象者

平成24年度調査の回答者（流産、中絶、死産を除く）のうち、市町村への照会により母子ともに生存が確認された5,602人

## (3) 方法

ア 調査票：自記式調査票（ハガキ）

イ 調査票送付日：平成28年11月21日

ウ 調査回答方法：郵送及びオンライン（オンライン回答は今年度より実施）

## (4) 調査項目

質問内容は以下のとおり

ア あなたはふだんど自分で健康だと思いますか？

イ ここ最近1ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか？

ウ ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか？

エ 育児に自信がもてないことがありますか？

オ 放射線の影響について不安なこと全ての□に✓を記入してください。

□水 □食品 □子どもの外遊び □子どもの健康 □偏見 □遺伝的な影響 □その他

カ お子様はこれまでに入院を要した病気にかかったことがありますか？

キ お子様のことで心配なこと全ての□に✓を記入してください。

□こころと身体の発達 □病気 □生活習慣 □その他

## (5) 集計対象期間

平成28年11月22日～平成29年6月30日

## 2 調査結果

## (1) 回答率について

平成24年度フォローの回答者数（回答率）は2,021人（36.1%）であり、集計対象とした有効回答数は2,021人であった（無効回答数0人）。そのうち、オンライン回答者数（回答率）は302人（14.9%）であった。平成23年度フォローでは、回答者数（回答率）は2,554人（35.2%）であり、集計対象とした有効回答数は2,554人であった（無効回答数0人）。

## (2) 回答者数について

平成24年度フォローの回答者数（回答率）を地域別にみると、県北地域675人（45.3%）、県

中地域 508 人 (32.2%)、県南地域 165 人 (36.4%)、相双地域 113 人 (30.5%)、いわき地域 330 人 (32.5%)、会津地域 212 人 (33.4%)、南会津地域 18 人 (29.0%) であった。

### (3) 母親のメンタルヘルスについて

うつ傾向ありと判定された母親の割合は 25.7%で、4 年前の平成 24 年度調査では 25.5%であった。なお、平成 23 年度フォローでは 25.6%であった。

主観的健康観の悪い（「あまり健康ではない」または「健康ではない」と答えた）母親の割合は 9.3%であった。4 年前の平成 24 年度調査では 3.8%、平成 23 年度フォローでは 9.6%であった。

### (4) 家庭と育児の状況について

育児の自信がもてないことがあると回答した割合は 18.2%で、4 年前の平成 24 年度調査では 15.4%であった。なお、平成 23 年度フォローでは 15.8%であった。参考までに平成 22 年乳幼児健康度調査によると、児が 4 歳の時に育児に自信がもてないことがあると回答した割合は 23.0%であった。

### (5) 放射線の影響への不安について

放射線の影響への不安について、ひとつでもチェックした割合は 90.9%であった（平成 23 年度フォロー94.2%）。そのうち、「子どもの健康」について不安があると回答した割合は 68.7%であった（平成 23 年度フォロー79.5%）。

### (6) 出産した児の健康状態・不安について

これまでに入院を要した病気にかかったことがある割合は 24.4%であった（平成 23 年度フォロー24.7%）。入院時の主な疾患は肺炎、RS ウイルス感染症、気管支炎などであった。

児の心配について、ひとつでもチェックした割合は 66.9%であった（平成 23 年度フォロー70.8%）。

### (7) 自由記載内容について

自由記載欄には 186 人 (9.2%) の記入があった（平成 23 年度フォロー15.0%）。

自由記載内容は、「この調査への賛同」17.7%、「調査への意見・苦情」12.9%、「胎児・子どもへの放射線の影響の心配について」12.4%であった。

### (8) まとめ

ア 回答率は 36.1%であり、平成 23 年度フォローより上回った。

イ 主観的健康度の悪い者（あまり健康ではない、健康ではない）の割合は 9.3%であり、平成 23 年度フォローとほぼ同じ割合だったが、平成 24 年度調査より上回った。

ウ うつ傾向は 25.7%であり、平成 23 年度フォロー、平成 24 年度調査とほぼ同じ割合であった。

エ 放射線の影響への不安について、ひとつでもチェックした割合は 90.9%であり、平成 23 年度フォローより下回った。

オ お子様のことで心配なことについて回答した割合は 66.9%であり、平成 23 年度フォローより下回った。心配の内容としては、平成 23 年度フォローでは「病気」の回答割合が最も高かったが、平成 24 年度フォローでは「こころと身体の発達」の割合が最も高かった。

カ 自由記載ありの割合は 9.2%であり、平成 23 年度フォローより下回った。自由記載内容は、「この調査への賛同」が 17.7%と最も高かった。

以上のことから、平成 24 年度フォローの回答者は平成 23 年度フォローの回答者と比べて、放射線の影響について不安を抱えている割合は減少しているが、平成 23 年度フォローと同様にうつ傾向が高く、主観的健康度の悪い状態であった。そのため、平成 25 年度「妊産婦に関する調査」の回答者に対しても引き続きフォローアップ調査を継続し、うつ傾向、主観的健康度の経過を把握し、また電話支援が必要な者には支援を継続していく必要があると考える。

### 3 支援結果

#### (1) 支援目的

平成 24 年度「妊産婦に関する調査」フォローアップ調査回答者のうち、相談・支援の必要があると判断された者に、不安を軽減し安心した生活を送っていただくことを目的に、助産師・保健師等による電話・メールによる相談・支援を実施した。

#### (2) 支援対象者

平成 24 年度「妊産婦に関する調査」フォローアップ調査の回答者

#### (3) 支援選定基準

下記のア、イのいずれかに該当する者

ア 調査票のうち 2 項目の設問に該当のある者

イ 調査票の自由記載欄の内容から抽出された者

例：落ち込みの激しい書き込みがあった者、育児支援を必要としている者、放射線の数値について気にしている者、直接的要望・具体的に回答を希望している者、支援要望のあった者など

#### (4) 支援方法

電話やメールによる相談・支援

#### (5) 支援概要

##### ア 支援者数について

平成 28 年 11 月 22 日から平成 29 年 6 月 30 日の期間内の回答者 2,021 人のうち、電話による相談・支援が必要だと判断された者（要支援者）は 256 人であり、要支援率 12.7%であった（平成 24 年度「妊産婦に関する調査」15.4%、平成 23 年度フォロー14.7%）。

支援の内訳として、うつ項目による支援は 81.6%、自由記載内容による支援は 18.4%であった（平成 23 年度フォローうつ項目による支援 79.7%、自由記載内容による支援 20.3%）。

##### イ 相談内容について

電話相談内容は、「母親の心身の状態に関すること」44.9%、「子育て関連生活のこと」23.0%、「子どもの心身の健康に関すること」22.7%であった。「放射線の影響や心配に関すること」は 13.3%であった（平成 23 年度 29.2%、平成 23 年度フォロー25.6%、平成 24 年度 23.7%）。

##### ウ 支援完了理由について

支援完了理由として、「傾聴（対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了）」159 人（62.1%）、「情報提供・行政窓口を紹介し終了」53 人（20.7%）であった。不在は 70 人（27.3%）であった（複数理由あり。割合の分母は支援数）。

#### (6) まとめ

ア 今回の調査の要支援率は 12.7%と平成 23 年度フォロー（14.7%）より下回った。うつ項目による支援の割合は約 8 割と変わらなかった。

イ 主な相談内容で最も多かったのは、「母親の心身の状態に関すること」（44.9%）であった。また、「放射線の影響や心配に関すること」の相談は 13.3%と平成 23 年度フォロー（25.6%）より下回った。

ウ 支援完了理由は「傾聴（対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了）」が 62.1%と高い割合を占めた（平成 23 年度フォロー52.5%）。また、不在の割合は 27.3%であった（平成 23 年度フォロー34.9%）。

#### 4 平成24年度「妊産婦に関する調査」の回答者に対するフォローアップ調査結果集計

調査対象者：平成24年度調査の回答者の中で、出産された者のうち、平成28年5月に母子の生存が確認された5,602人

集計対象者：平成28年11月21日にアンケート送付。平成28年11月22日～平成29年6月30日までに回答のあった2,021人

##### (1) 送付数と回答状況

地域	送付数		回答者数					
			全体		内訳			
					郵送		オンライン回答	
県北	1,491	26.6%	675	45.3%	561	83.1%	114	16.9%
県中	1,576	28.1%	508	32.2%	440	86.6%	68	13.4%
県南	453	8.1%	165	36.4%	143	86.7%	22	13.3%
相双	371	6.6%	113	30.5%	100	88.5%	13	11.5%
いわき	1,015	18.1%	330	32.5%	272	82.4%	58	17.6%
会津	634	11.3%	212	33.4%	187	88.2%	25	11.8%
南会津	62	1.1%	18	29.0%	16	88.9%	2	11.1%
合計	5,602	100.0%	2,021	36.1%	1,719	85.1%	302	14.9%

##### (2) 調査票内容項目別集計

回答者2,021人について集計した（無効回答0人）。なお、各項目には、それぞれ無回答・無効回答がある。また、割合（%）は、端数処理を行っているため、各項目の%の合計は100%とならないこともある。

##### ① あなたはふだんご自分で健康だと思いますか？

主観的健康度の悪い（「あまり健康ではない」または「健康ではない」と答えた）者の割合9.3%

地域	非常に健康		まあ健康な者		あまり健康ではない		健康ではない		無・無効回答		合計	
県北	94	13.9%	515	76.3%	61	9.0%	5	0.7%	0	0.0%	675	100.0%
県中	87	17.1%	369	72.6%	44	8.7%	6	1.2%	2	0.4%	508	100.0%
県南	30	18.2%	123	74.5%	11	6.7%	1	0.6%	0	0.0%	165	100.0%
相双	16	14.2%	87	77.0%	10	8.8%	0	0.0%	0	0.0%	113	100.0%
いわき	64	19.4%	232	70.3%	28	8.5%	4	1.2%	2	0.6%	330	100.0%
会津	42	19.8%	153	72.2%	16	7.5%	1	0.5%	0	0.0%	212	100.0%
南会津	3	16.7%	14	77.8%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	18	100.0%
合計	336	16.6%	1,493	73.9%	171	8.5%	17	0.8%	4	0.2%	2,021	100.0%

※主観的健康度の悪い者の割合 平成23年度：質問項目なし 平成23年度フォロー：9.6% 平成24年度：3.8%  
平成25年度：3.7% 平成26年度：3.7% 平成27年度：3.6%

##### ② ここ最近1ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか？

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	167	24.7%	505	74.8%	3	0.4%	675	100.0%
県中	135	26.6%	371	73.0%	2	0.4%	508	100.0%
県南	37	22.4%	128	77.6%	0	0.0%	165	100.0%
相双	23	20.4%	89	78.8%	1	0.9%	113	100.0%
いわき	67	20.3%	259	78.5%	4	1.2%	330	100.0%
会津	49	23.1%	163	76.9%	0	0.0%	212	100.0%
南会津	2	11.1%	16	88.9%	0	0.0%	18	100.0%
合計	480	23.8%	1,531	75.8%	10	0.5%	2,021	100.0%

③ ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	77	11.4%	595	88.1%	3	0.4%	675	100.0%
県中	73	14.4%	433	85.2%	2	0.4%	508	100.0%
県南	14	8.5%	151	91.5%	0	0.0%	165	100.0%
相双	13	11.5%	99	87.6%	1	0.9%	113	100.0%
いわき	44	13.3%	282	85.5%	4	1.2%	330	100.0%
会津	27	12.7%	185	87.3%	0	0.0%	212	100.0%
南会津	0	0.0%	18	100.0%	0	0.0%	18	100.0%
合計	248	12.3%	1,763	87.2%	10	0.5%	2,021	100.0%

うつ傾向 (②、③の両設問で「はい」またはいずれかに「はい」と答えた者)

地域	両方「はい」		いずれかが「はい」		両方「いいえ」		無・無効回答		合計	
県北	68	10.1%	108	16.0%	496	73.5%	3	0.4%	675	100.0%
県中	61	12.0%	86	16.9%	359	70.7%	2	0.4%	508	100.0%
県南	13	7.9%	25	15.2%	127	77.0%	0	0.0%	165	100.0%
相双	8	7.1%	20	17.7%	84	74.3%	1	0.9%	113	100.0%
いわき	37	11.2%	37	11.2%	252	76.4%	4	1.2%	330	100.0%
会津	22	10.4%	32	15.1%	158	74.5%	0	0.0%	212	100.0%
南会津	0	0.0%	2	11.1%	16	88.9%	0	0.0%	18	100.0%
合計	209	10.3%	310	15.3%	1,492	73.8%	10	0.5%	2,021	100.0%

※うつ傾向 25.7% [ 519人(両方「はい」+いずれかが「はい」) / 合計2,021人 ]

平成23年度：27.1% 平成23年度フォロー：25.6% 平成24年度：25.5% 平成25年度：24.5%

平成26年度：23.4% 平成27年度：22.0%

④ 育児に自信がもてないことがありますか？

地域	はい		いいえ		何ともいえない		無・無効回答		合計	
県北	122	18.1%	269	39.9%	281	41.6%	3	0.4%	675	100.0%
県中	95	18.7%	189	37.2%	221	43.5%	3	0.6%	508	100.0%
県南	30	18.2%	73	44.2%	62	37.6%	0	0.0%	165	100.0%
相双	19	16.8%	44	38.9%	49	43.4%	1	0.9%	113	100.0%
いわき	53	16.1%	153	46.4%	123	37.3%	1	0.3%	330	100.0%
会津	44	20.8%	97	45.8%	71	33.5%	0	0.0%	212	100.0%
南会津	4	22.2%	5	27.8%	9	50.0%	0	0.0%	18	100.0%
合計	367	18.2%	830	41.1%	816	40.4%	8	0.4%	2,021	100.0%

※「はい」と回答した者 平成23年度：質問項目なし 平成23年度フォロー：15.8% 平成24年度：15.4%

平成25年度：17.5% 平成26年度：16.6% 平成27年度：17.7%

⑤ 放射線の影響について不安なこと全ての□に✓を記入してください。

ひとつでもチェックした者 90.9% (平成23年度フォロー：94.2%)

子どもの健康について不安があるとチェックした者 68.7% (平成23年度フォロー：79.5%)

地域	子どもの健康		偏見		食品		水		遺伝的な影響		子どもの外遊び		その他		有効回答
県北	442	72.1%	292	47.6%	244	39.8%	185	30.2%	213	34.7%	183	29.9%	16	2.6%	613
県中	329	70.9%	241	51.9%	188	40.5%	189	40.7%	179	38.6%	152	32.8%	7	1.5%	464
県南	106	67.9%	70	44.9%	72	46.2%	60	38.5%	43	27.6%	47	30.1%	3	1.9%	156
相双	73	70.2%	59	56.7%	50	48.1%	45	43.3%	32	30.8%	30	28.8%	1	1.0%	104
いわき	184	62.8%	118	40.3%	164	56.0%	136	46.4%	91	31.1%	81	27.6%	5	1.7%	293
会津	122	63.9%	74	38.7%	82	42.9%	60	31.4%	47	24.6%	64	33.5%	2	1.0%	191
南会津	7	41.2%	7	41.2%	7	41.2%	3	17.6%	1	5.9%	3	17.6%	0	0.0%	17
合計	1,263	68.7%	861	46.8%	807	43.9%	678	36.9%	606	33.0%	560	30.5%	34	1.8%	1,838

※分母は有効回答(□に✓を記入した者)。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。



以下の⑥、⑦は、平成23年8月1日～平成25年4月8日に生まれたお子様についてお尋ねいたします。

⑥ お子様はこれまでに入院を要した病気にかかったことがありますか？

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	182	27.0%	489	72.4%	4	0.6%	675	100.0%
県中	128	25.2%	374	73.6%	6	1.2%	508	100.0%
県南	40	24.2%	122	73.9%	3	1.8%	165	100.0%
相双	35	31.0%	78	69.0%	0	0.0%	113	100.0%
いわき	51	15.5%	274	83.0%	5	1.5%	330	100.0%
会津	50	23.6%	161	75.9%	1	0.5%	212	100.0%
南会津	8	44.4%	9	50.0%	1	5.6%	18	100.0%
合計	494	24.4%	1,507	74.6%	20	1.0%	2,021	100.0%

※「はい」と回答した者 平成23年度フォロー：24.7%

⑥の設問(お子様はこれまでに入院を要した病気にかかったことがありますか?)に「はい」と答えた者の病名の内訳(複数回答あり)

肺炎	117	ケトン性低血糖症	2	完全大血管転位症	1	先天性心疾患	1
RSウイルス感染症	75	ヒトメタニューモウイルス感染症	2	肝炎	1	先天性水腎症	1
気管支炎	43	マイコプラズマ感染症	2	顔面神経麻痺	1	先天性胆道拡張症	1
川崎病	29	咽頭炎	2	気胸	1	早発黄疸	1
熱性けいれん	27	黄疸	2	急性肝炎	1	足親指静脈奇形	1
喘息	24	急性細気管支炎	2	急性硬膜下血腫	1	多のう胞異形成腎	1
胃腸炎	20	血管性紫斑病	2	急性骨髄性白血病	1	多指症	1
ロタウイルス感染症	16	紫斑病	2	急性耳下腺炎	1	胆道閉鎖症	1
鼠径ヘルニア	12	心房中隔欠損	2	急性上気道炎	1	腸炎	1
気管支肺炎	10	先天性白内障	2	急性腎不全	1	腸回転異常症	1
ノロウイルス感染症	8	尿道下裂	2	急性鼻炎	1	溺水	1
マイコプラズマ肺炎	8	喘息性肺炎	2	極低出生体重児	1	點頭てんかん	1
中耳炎	8	扁桃炎	2	血管腫	1	吐血	1
アデノウイルス感染症	7	頸部リンパ節炎	2	血小板減少性紫斑病	1	頭部外傷	1
インフルエンザ	7	喘息性気管支炎	2	股関節脱臼	1	動脈管開存症	1
突発性発疹	7	EBウイルス感染症	1	口唇裂	1	肉芽腫	1
けいれん	6	RSウイルス細気管支炎	1	広汎性発達障害	1	乳び胸	1
気管支喘息	6	アトピー性皮膚炎	1	恒常性外斜視	1	脳出血	1
RSウイルス肺炎	5	アナフィラキシーショック	1	剛直母指	1	脳症	1
クループ	5	アレルギー性紫斑病	1	合指症	1	脳性麻痺	1
ヘルパンギーナ	4	カポジ水痘様発疹症	1	細気管支炎	1	播種性血管内凝固症候群	1
急性咽頭炎	4	ギランバレー症候群	1	自家中毒	1	肺高血圧	1
手足口病	4	てんかん	1	自閉症	1	肺動脈上行大動脈起始症	1
腎盂腎炎	4	ノウイルス、ロタウイルスなどの胃腸炎	1	斜視	1	肥厚性幽門狭窄症	1
脱水症	4	ピーターズ奇形	1	周期性嘔吐症	1	副耳	1
停留精巣	4	ヒトメタニューモウイルス肺炎	1	食物アレルギー	1	蜂窩織炎	1
RSウイルス気管支炎	3	ファロー四徴症	1	侵襲性肺炎球菌感染症	1	無呼吸	1
クループ症候群	3	ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群	1	心疾患	1	無呼吸症候群	1
口蓋裂	3	ヘルペスウイルス	1	新生児一過性多呼吸	1	無熱性けいれん	1
心室中隔欠損	3	ミルクアレルギー	1	新生児感染症	1	薬疹	1
腸重積	3	リンパ管腫	1	真性包茎	1	遊走精巣	1
超低出生体重児	3	リンパ節炎	1	神経芽腫	1	溶連菌感染症	1
低出生体重児	3	陰のう水腫	1	水痘	1	両移動精巣	1
尿路感染症	3	下痢症	1	水頭症	1	頸部皮下腫瘍	1
ウイルス腫瘍	2	化膿性リンパ節炎	1	睡眠時無呼吸症候群	1		
かぜ症候群	2	仮性クループ	1	先天性耳瘻孔	1		
クループ性気管支炎	2	過剰歯	1	先天性十二指腸閉鎖症	1		

⑦ お子様のことで心配なこと全ての□に✓を記入してください。

ひとつでもチェックした者 66.9% (平成 23 年度フォロー：70.8%)

こころと身体の発達をチェックした者 56.9% (平成 23 年度フォロー：56.1%)

病気をチェックした者 45.5% (平成 23 年度フォロー：57.6%)

地域	こころと身体の発達		病気		生活習慣		その他		有効回答
県北	263	57.5%	198	43.3%	214	46.8%	29	6.3%	457
県中	206	59.0%	163	46.7%	155	44.4%	14	4.0%	349
県南	65	55.6%	60	51.3%	48	41.0%	6	5.1%	117
相双	45	53.6%	37	44.0%	38	45.2%	5	6.0%	84
いわき	115	54.0%	103	48.4%	84	39.4%	8	3.8%	213
会津	68	56.7%	50	41.7%	57	47.5%	8	6.7%	120
南会津	8	61.5%	4	30.8%	3	23.1%	1	7.7%	13
合計	770	56.9%	615	45.5%	599	44.3%	71	5.2%	1,353

※分母は有効回答 (□に✓を記入した者)。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

### (3) 自由記載

地域	あり		なし		合計	
県北	57	8.4%	618	91.6%	675	100.0%
県中	52	10.2%	456	89.8%	508	100.0%
県南	15	9.1%	150	90.9%	165	100.0%
相双	9	8.0%	104	92.0%	113	100.0%
いわき	26	7.9%	304	92.1%	330	100.0%
会津	24	11.3%	188	88.7%	212	100.0%
南会津	3	16.7%	15	83.3%	18	100.0%
合計	186	9.2%	1,835	90.8%	2,021	100.0%

※自由記載ありの割合 平成 23 年度：42.2% 平成 23 年度フォロー：15.0% 平成 24 年度：20.7% 平成 25 年度：12.0%  
平成 26 年度：10.5% 平成 27 年度：15.7%

#### 自由記載内容内訳

この調査への賛同	33	17.7%
調査への意見・苦情	24	12.9%
胎児・子どもへの放射線の影響についての心配	23	12.4%
育児相談	17	9.1%
育児支援サービスの充実の要望について	14	7.5%
本人の精神的不調への訴え	11	5.9%
放射線についての情報発信や調査結果の公表への要望について	11	5.9%
医療サービスの不足への不安や不満	9	4.8%
本人の身体的不調の訴え	8	4.3%
離乳食・食物への放射線の影響についての心配	5	2.7%
情報の信頼性・不足に対する不安や不満	5	2.7%
経済的な不安・負担に対するもの	5	2.7%
甲状腺検査への要望について	5	2.7%
水への放射線の影響についての心配	4	2.2%
除染・遊び場の確保への要望	4	2.2%
医療サービスの充実や体のケアに対する要望	4	2.2%

外出・外遊びでの放射線の心配	3	1.6%
今回妊娠の転帰との関連の心配	3	1.6%
県民健康調査への要望	3	1.6%
人間関係	3	1.6%
経済的支援の要望	2	1.1%
内部被ばく (ホールボディカウンタ等)	2	1.1%
検査の要望	2	1.1%
健診・検診への要望	2	1.1%
外部被ばく	1	0.5%
避難の支援	1	0.5%
その他	52	28.0%

※記載内容の割合の分母は、自由記載ありの人数 186 人

※複数回答あり

※平成 23 年度フォロー：胎児・子どもへの影響の心配 13.8%、この調査への賛同 12.3%

#### (4) 支援状況

平成24年フォローアップ調査 要支援者数 256人（回答2,021人）（要支援率12.7%）

集計期間：平成28年11月22日～平成29年6月30日

地域	送付数	回答数	要支援者数
県北	1,491	675 45.3%	84 12.4%
県中	1,576	508 32.2%	76 15.0%
県南	453	165 36.4%	17 10.3%
相双	371	113 30.5%	10 8.8%
いわき	1,015	330 32.5%	43 13.0%
会津	634	212 33.4%	26 12.3%
南会津	62	18 29.0%	0 0.0%
合計	5,602	2,021 36.1%	256 12.7%

※回答数の割合の分母は送付数。要支援者数の割合の分母は回答数。

※要支援率 平成23年度：15.0% 平成23年度フォロー：14.7% 平成24年度：15.4% 平成25年度：15.2%  
平成26年度：11.6% 平成27年度：13.0%

#### 地域別要支援者の内訳

地域	うつ項目による支援		自由記載内容による支援		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
県北	68	81.0%	16	19.0%	84	100.0%
県中	61	80.3%	15	19.7%	76	100.0%
県南	13	76.5%	4	23.5%	17	100.0%
相双	8	80.0%	2	20.0%	10	100.0%
いわき	37	86.0%	6	14.0%	43	100.0%
会津	22	84.6%	4	15.4%	26	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	209	81.6%	47	18.4%	256	100.0%

※割合（%）は、端数処理を行っているため、各項目の%の合計は100%とならないこともある。

※うつ項目による支援 平成23年度：87.4% 平成23年度フォロー：79.7% 平成24年度：68.0% 平成25年度：67.6%  
平成26年度：77.7% 平成27年度：60.1%

#### 地域別「主な相談内容」の内訳

地域	母親の心身の状態に関すること		子育て関連生活のこと		子どもの心身の健康に関すること		放射線の影響や心配に関すること		家庭生活に関すること		避難生活に関すること		その他		要支援者数
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
県北	40	47.6%	19	22.6%	15	17.9%	12	14.3%	6	7.1%	0	0.0%	35	41.7%	84
県中	34	44.7%	19	25.0%	20	26.3%	12	15.8%	12	15.8%	0	0.0%	26	34.2%	76
県南	8	47.1%	4	23.5%	5	29.4%	1	5.9%	2	11.8%	0	0.0%	6	35.3%	17
相双	5	50.0%	4	40.0%	3	30.0%	2	20.0%	2	20.0%	2	20.0%	2	20.0%	10
いわき	17	39.5%	7	16.3%	11	25.6%	2	4.7%	3	7.0%	0	0.0%	22	51.2%	43
会津	11	42.3%	6	23.1%	4	15.4%	5	19.2%	2	7.7%	0	0.0%	10	38.5%	26
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	115	44.9%	59	23.0%	58	22.7%	34	13.3%	27	10.5%	2	0.8%	101	39.5%	256

※分母は要支援者数。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

支援完了理由の内訳

	傾聴 <sup>※1</sup>		情報提供 <sup>※2</sup>		既受診先あり <sup>※3</sup>		Q&A 対応 <sup>※4</sup>		受診勧奨 <sup>※5</sup>		市町村へ <sup>※7</sup>		ころへ <sup>※8</sup>	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
県北	51	60.7%	13	15.5%	7	8.3%	7	8.3%	5	6.0%	0	0.0%	0	0.0%
県中	50	65.8%	21	27.6%	11	14.5%	4	5.3%	2	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
県南	11	64.7%	2	11.8%	1	5.9%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
相双	8	80.0%	2	20.0%	2	20.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
いわき	22	51.2%	9	20.9%	4	9.3%	2	4.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
会津	17	65.4%	6	23.1%	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	159	62.1%	53	20.7%	26	10.2%	15	5.9%	7	2.7%	0	0.0%	0	0.0%

	放射線へ <sup>※6</sup>		専門医紹介 <sup>※9</sup>		不在		連絡先不明		拒否		その他		要支援者数
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
県北	0	0.0%	0	0.0%	24	28.6%	4	4.8%	2	2.4%	2	2.4%	84
県中	0	0.0%	0	0.0%	17	22.4%	5	6.6%	1	1.3%	2	2.6%	76
県南	0	0.0%	0	0.0%	5	29.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	17
相双	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10
いわき	0	0.0%	0	0.0%	17	39.5%	4	9.3%	0	0.0%	0	0.0%	43
会津	0	0.0%	0	0.0%	5	19.2%	2	7.7%	0	0.0%	2	7.7%	26
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	0	0.0%	0	0.0%	70	27.3%	15	5.9%	3	1.2%	7	2.7%	256

※分母は要支援者数。内訳は延べ数。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

※傾聴の割合 平成23年度フォロー：52.5% 平成24年度：62.0% 平成25年度：61.7% 平成26年度：59.8% 平成27年度：73.3%

※1 対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了。

※2 適切な情報提供・行政窓口を紹介し終了。

※3 既に受診先や相談先があることを確認し終了。

※4 相手の疑問・質問に適切に回答し終了。

※5 医師の診察を受けることを勧めて終了。

※6 放射線相談窓口へつなぎ終了。

※7 市町村へつなぎ終了。

※8 ころの専門医へつなぎ終了。

※9 専門医へ専門的回答をお願いし終了。

## 平成29年度「妊産婦に関する調査」実施計画

## 1 平成29年度「妊産婦に関する調査」

- (1) 実施目的：平成23年度から実施している本調査の回答率は約50%と、高い回答率を保っており、母子の健康について県民の関心の高さを示している。今年度も妊産婦のこころや身体の状態を把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、今後の福島県内の産婦人科医療の充実へつなげていくことを目的とする。
- (2) 対象者：①平成28年8月1日から平成29年7月31日までに、福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された者  
②上記期間内に福島県外で母子健康手帳を交付された者で、福島県で里帰り出産した者
- (3) 実施時期：対象者①については、母子健康手帳の交付時期により、平成29年11月から平成30年3月までの期間内で3回に分けて調査票を発送（予定）。
- (4) 実施方法：ア 調査票の配布  
対象者①については、県内59市町村より得られた対象者情報をもとに配布（死産、流産を除く）。  
対象者②については、県内の産科医療機関の協力のもと調査票を配布。  
イ 回答方法  
調査票の返送またはオンライン回答による  
ウ 支援  
回答内容から支援が必要と思われる者に対し、助産師・保健師等による電話支援を行う。また、メールや専用ダイヤルによる支援体制を整え相談に応じる。

## 2 フォローアップ調査（追加調査）

- (1) 実施目的：平成25年度「妊産婦に関する調査」の回答者にフォローアップ調査を実施し、健康状態を把握し、支援の必要な者には電話支援を継続することを目的とする。
- (2) 対象者：平成25年度「妊産婦に関する調査」の回答者（流産、中絶、死産を除く）のうち、市町村への照会により母子ともに生存が確認された者（約6,700件）
- (3) 実施時期：平成30年1月（予定）
- (4) 実施方法：ア 調査票：自記式調査票（ハガキ）  
イ 調査回答方法：郵送及びオンライン  
ウ 支援：電話やメールによる相談・支援

## 3 関係機関との連携

関係機関と連携をより密にし、各地域の意見を反映させつつ、回答率の向上及び得られた回答に基づく妊産婦支援の向上に努める。

- (1) 平成27年度調査結果報告会並びに支援研修会の開催

## ア 趣旨

妊産婦の健康管理や安心して福島で生活することへ繋げていくためには、関係機関と連携することが必要であることから、調査についての結果報告会を開催した。

## イ 対象

市町村及び県保健師、その他助産師等母子保健に関わる者

## ウ 開催状況

平成29年5月～6月に県内5方部（県北、県中・県南、会津、相双、いわき）において計5回実施し、計48施設82人の参加があった。

## エ 内容

## (ア) 報告

平成27年度妊産婦に関する調査 調査結果報告

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 妊産婦調査室長  
産科婦人科学講座 教授 藤森 敬也 (ふじもり けいや)

平成27年度妊産婦に関する調査 支援結果報告

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 妊産婦調査副室長  
総合科学教育研究センター 教授 後藤 あや (ごとう あや)

(イ) 講演

「働く人のメンタルヘルスとセルフケア」

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 特任准教授  
八木 亜紀子 (やぎ あきこ)

(ウ) 質疑応答

(2) リーフレットの作成・配布

調査票送付時に、調査に基づく結果内容や支援状況を説明したリーフレットを同封する。また、県内の協力医療機関や関係機関に配布し、調査について周知する。

## 平成29年度「妊産婦に関する調査」の変更点について

## 1 調査票発送者について

変更前	平成27年8月1日から平成28年7月31日までに福島県内の59市町村より母子健康手帳を交付された者
変更後	平成28年8月1日から平成29年7月31日までに福島県内の59市町村より母子健康手帳を交付された者のうち、把握できる流産、死産者を除いた者
変更理由	妊娠結果が流産、死産である場合の対象者の心理的負担を考慮したため（ただし、流産・死産については件数のみ把握する。）

## 2 調査票の内容について

調査票の主な変更点は以下のとおり。なお、軽微な変更はあるが、調査項目自体の大幅な変更はない。

## (1) 調査年度及び対象となる母子健康手帳交付年度の変更

変更前	【調査年度】平成28年度 【母子手帳交付年度】平成27年8月1日から平成28年7月31日までに福島県内の59市町村より母子健康手帳を交付された者
変更後	【調査年度】平成29年度 【母子手帳交付年度】平成28年8月1日から平成29年7月31日までに福島県内の59市町村より母子健康手帳を交付された者のうち、把握できる流産、死産者を除いた者
変更理由	調査年度等が変更になったため

## (2) 表紙

## ア オンライン回答用二次元コード及びオンライン回答サイト URL の印字追加

変更前	(新規)
変更後	【オンライン回答用二次元コード】印字 【オンライン回答サイト URL】 <a href="http://fukushima-mimamori.jp/17nimpu">http://fukushima-mimamori.jp/17nimpu</a>
変更理由	オンライン回答利用者の利便性を図るため

## イ 但し書きの部分（変更箇所は下線部）

変更前	本調査票は、福島県各市町村の母子健康手帳（以下、母子手帳）の交付資料に基づいて発送しています。ご本人が記入できない場合には、家族の方や同居されている方がご記入ください。また、ご返送は、お子様の1か月児健診の結果までご記入いただいた後にお願ひ致します。
変更後	本調査票は、福島県各市町村の母子健康手帳（以下、母子手帳）の交付資料に基づいて発送しています。設問にはお子様の生後1か月の発育についてお答えいただくものがござい <u>ます</u> 。ご回答は、お子様の1か月児健診が終了してからお願いいたします。回答方法は、調査票の返送、または、オンライン回答のいずれかのご都合のよい方法をお選び <u>ください</u> 。ご本人が回答できない場合には、家族の方や同居されている方がご回答 <u>ください</u> 。
変更理由	オンライン回答の周知及び1か月児健診結果の未記入を減らすため

(3) 4 ページ問 13 以降の分岐の説明文（変更箇所は下線部）

変更前	妊娠 12 週以降（妊娠 4 か月以降）妊娠 22 週未満の流産・中絶された方、及び妊娠 22 週以降の死産・出産を経験された方もお答えください。その他の方は、5 ページの間 17 にお進みください。出産されていない方には、大変申し訳ございませんが、わかる範囲でご記入ください。
変更後	妊娠 12 週未満の方は、 <u>間 17 にお進みください。</u> 以下は出産されていない方には、大変申し訳ございませんが、わかる範囲でご記入ください。
変更理由	妊娠 12 週以降の該当者の未記入を減らすため



平成29年度

# 県民健康調査 妊産婦に関する調査 調査票

〒123-4567

福島県福島市光が丘1

医大花子 様



オンライン用  
(平成30年8月末まで)  
ID:  
217xxxxxxx  
パスワード:  
xxxxxxxx

オンライン回答サイト: <http://fukushima-mimamori.jp/17nimpu>

- ・本調査票は、福島県各市町村の母子健康手帳(以下、母子手帳)の交付資料に基づいて発送しています。
- ・設問にはお子様の生後1か月の発育についてお答えいただくものがございます。ご回答は、お子様の1か月児健診が終了してからお願いいたします。
- ・回答方法は、調査票の返送、またはオンライン回答のいずれかのご都合のよい方法をお選びください。ご本人が回答できない場合には、家族の方や同居されている方がご回答ください。
- ・ご回答いただいた内容等により、専任の助産師等からお電話をさせていただくことがございます。また、電話やメールを通してのご相談等も受け付けていますので、ぜひ、ご利用ください。

以下にご記入後、次のページからの質問にご回答ください。

ふりがな	生年月日
氏名	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 年 月 日
TEL 例: 024-549-5180	携帯番号 例: 090-xxxx-xxxx
住所に変更があった方や、医療機関にて調査票を配布された方は住所のご記入をお願いします。調査結果の報告等にて使用させていただきます。	
ふりがな	
住所 〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> — <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
	都・道 市・区 町・区 府・県 郡 村
(アパート名等)	

福島県・福島県立医科大学

これからの全ての質問は平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日に母子手帳を交付された方にお尋ねしています。必要事項をご記入いただき、あてはまる□に✓をつけてください。

ご記入日： 平成      年      月      日	回答者： 1 <input type="checkbox"/> 本人    2 <input type="checkbox"/> 代理（続柄      ）
----------------------------------	--

問1. 母子手帳の交付年月日、交付市区町村名をご記入ください。

平成  年  月  日      母子手帳交付：\_\_\_\_\_ 市・区  
町・村

問2. あなたはふだんご自分で健康だと思いますか？(✓はひとつ)

1 <input type="checkbox"/> 非常に健康だと思う	2 <input type="checkbox"/> まあ健康な方だと思う
3 <input type="checkbox"/> あまり健康ではない	4 <input type="checkbox"/> 健康ではない

問3. 今回の妊娠・分娩全般に関して十分にケアが受けられたと思いますか？(✓はひとつ)

1 <input type="checkbox"/> とてもそう思う	2 <input type="checkbox"/> そう思う	
3 <input type="checkbox"/> どちらともいえない	4 <input type="checkbox"/> そう思わない	5 <input type="checkbox"/> 全くそう思わない

問4. 1) ここ最近 1 ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか？

1 <input type="checkbox"/> はい	2 <input type="checkbox"/> いいえ	(✓はひとつ)
-------------------------------	--------------------------------	---------

2) ここ最近 1 ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか？

1 <input type="checkbox"/> はい	2 <input type="checkbox"/> いいえ	(✓はひとつ)
-------------------------------	--------------------------------	---------

問5. 現在避難生活をしていますか？(✓はひとつ)

1 <input type="checkbox"/> 現在避難中で仮設住宅で生活している
2 <input type="checkbox"/> 現在避難中で仮設住宅以外の場所で生活している
3 <input type="checkbox"/> 避難生活をしてきた時期があるが現在は自宅で生活している
4 <input type="checkbox"/> 避難していたことはない

「1」または「2」と答えた方のみにお尋ねいたします。

避難生活のため、もともと同居していた家族と離れて生活していますか？

1 <input type="checkbox"/> はい	2 <input type="checkbox"/> いいえ	(✓はひとつ)
-------------------------------	--------------------------------	---------

「はい」と答えた方のみにお尋ねいたします。家族とコミュニケーションがとれていますか？

1 <input type="checkbox"/> はい	2 <input type="checkbox"/> いいえ	3 <input type="checkbox"/> どちらともいえない	(✓はひとつ)
-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------	---------

問6. ふだん、どなたと同居していますか？(里帰り中の方は、ふだんの状況で選んでください)

当てはまるすべての□に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1 一人暮らし(同居している人はいない)	<input type="checkbox"/> 3 子ども(今回出産された子どもを含む)
<input type="checkbox"/> 2 夫またはパートナー	<input type="checkbox"/> 4 義理または実父母
<input type="checkbox"/> 5 その他(具体的に: _____)	

問7. 喫煙についてお尋ねします。あなたご自身の喫煙についてお答えください。

1) 今回の妊娠届を出すまでに、あなたはタバコを吸っていましたか？(✓はひとつ)

<input type="checkbox"/> 1 吸ったことはない	<input type="checkbox"/> 2 今回の妊娠に気づく前に止めた
<input type="checkbox"/> 3 今回の妊娠に気づいて止めた	<input type="checkbox"/> 4 吸っていた

2) 今回の妊娠期間中、あなたはタバコを吸っていましたか？

<input type="checkbox"/> 1 吸っていなかった	<input type="checkbox"/> 2 吸っていた (✓はひとつ)
-------------------------------------	--

3) 現在、あなたはタバコを吸っていますか？

<input type="checkbox"/> 1 吸っていない	<input type="checkbox"/> 2 吸っている (✓はひとつ)
-----------------------------------	--

問8. 今回の調査対象となる(平成28年8月1日から平成29年7月31日の期間に母子手帳の交付を受けた)

分娩(出産・死産を含む)は、一人(単胎)ですか？二人(ふたご)ですか？

<input type="checkbox"/> 1 一人(単胎)	<input type="checkbox"/> 2 二人(ふたご) (✓はひとつ)
-----------------------------------	--

問9. 今回の調査対象の妊娠についてお答えください。

妊娠様式	<input type="checkbox"/> 1 自然妊娠	<input type="checkbox"/> 2 排卵誘発	<input type="checkbox"/> 3 人工授精	<input type="checkbox"/> 4 体外受精
------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

分娩予定日	平成	年	月	日
-------	----	---	---	---

妊娠結果	妊娠終了時の年月日	妊娠期間(妊娠週数)
<input type="checkbox"/> 1 出産 <input type="checkbox"/> 2 流産 <input type="checkbox"/> 3 中絶 <input type="checkbox"/> 4 死産	平成 年 月 日	( )週

ふたごの際には二人目に関して下記をご記入ください。

<input type="checkbox"/> 1 出産 <input type="checkbox"/> 2 流産 <input type="checkbox"/> 3 中絶 <input type="checkbox"/> 4 死産	平成 年 月 日	( )週
---	----------	------

この期間内に母子手帳を複数回交付された方は、別途、調査票をお送りさせていただきますので、妊産婦専用ダイヤル(024-549-5180 平日 9:00~17:00)へご連絡ください。

(参考1) 妊娠 1 か月 : 妊娠 0 週 ~ 妊娠 3 週  
 妊娠 2 か月 : 妊娠 4 週 ~ 妊娠 7 週  
 妊娠 3 か月 : 妊娠 8 週 ~ 妊娠 11 週  
 妊娠 4 か月 : 妊娠 12 週 ~ 妊娠 15 週  
 妊娠 5 か月 : 妊娠 16 週 ~ 妊娠 19 週  
 妊娠 6 か月 : 妊娠 20 週 ~ 妊娠 23 週  
 妊娠 7 か月 : 妊娠 24 週 ~ 妊娠 27 週  
 妊娠 8 か月 : 妊娠 28 週 ~ 妊娠 31 週  
 妊娠 9 か月 : 妊娠 32 週 ~ 妊娠 35 週  
 妊娠 10 か月 : 妊娠 36 週 ~ 妊娠 39 週  
 妊娠 11 か月 : 妊娠 40 週 ~ 妊娠 43 週

(参考2) 出産: 妊娠 22 週以降での生児の娩出  
 流産: 妊娠 22 週未満の妊娠の終了  
 中絶: 妊娠 22 週未満の人工的な妊娠の終了  
 死産: 妊娠 22 週以降での子宮内で亡くなった胎児の娩出とします。

問10. 今までの妊娠歴についてお尋ねいたします。

※問9でご回答いただいた「今回の調査対象の妊娠」は除いてお答えください。

1) 今まで流産の経験はございますか？

はい  いいえ (✓はひとつ)

2) 今まで中絶の経験はございますか？

はい  いいえ (✓はひとつ)

3) 今まで死産の経験はございますか？

はい  いいえ (✓はひとつ)

4) 今まで出産の経験はございますか？

はい  いいえ (✓はひとつ)

5) 今までふたごの出産の経験はございますか？(流産・死産を含む)

はい  いいえ (✓はひとつ)

問11. あなたには、今回の妊娠前にかかったことのある病気がありましたか？

はい  いいえ (✓はひとつ)

「はい」と答えた方のみにお尋ねいたします。

以下に挙げる病名のうち、当てはまるすべての□に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)

- 1 高血圧       2 糖尿病       3 高脂血症       4 がん  
 5 脳の疾患(脳卒中、てんかんなど)       6 神経・筋疾患(重症筋無力症など)  
 7 精神疾患(うつ病、統合失調症など)       8 甲状腺疾患  
 9 心臓病(心筋梗塞・狭心症、不整脈、先天性心疾患など)  
 10 呼吸器の疾患(肺炎、喘息(ぜんそく)など)       11 肝臓の病気(慢性肝炎など)  
 12 腸の病気       13 膠原病(SLE(全身性エリテマトーデス)など)  
 14 他のアレルギー性疾患(アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎など)  
 15 感染症(結核など)       16 血液の疾患(特発性血小板減少症など)  
 17 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問12. 今回の妊娠中にあなたに告げられた病気・状態がありましたか？

はい  いいえ (✓はひとつ)

「はい」と答えた方のみにお尋ねいたします。

具体的な病気・状態について当てはまるすべての□に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)

- 1 妊娠高血圧症候群       2 妊娠糖尿病       3 前置胎盤       4 切迫流産  
 5 切迫早産       6 自然流産       7 早産       8 不眠、不安などの精神的問題  
 9 肺炎・インフルエンザ・破傷風などの感染症       10 羊水過多  
 11 羊水過少       12 血栓症(エコノミークラス症候群)・肺塞栓症  
 13 脳卒中(脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血など)  
 14 外傷       15 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)



問15、問16は出産された方にお尋ねいたします。出産されていない方は、問17にお進みください。

問15. 育児に自信がもてないことがありますか？

はい     いいえ     何ともいえない (✓はひとつ)

問16. 1か月児健診(お子様の生後1か月の発育)に関してご記入ください。(母子手帳等ご参照ください)

		ふたごの際の第2子記入欄	
(平成 年 月 日実施)		(平成 年 月 日実施)	
生後 <input type="text"/> か月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日		生後 <input type="text"/> か月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
に1か月健診を受診		に1か月健診を受診	
体重: <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> g	身長: <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> cm	体重: <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> g	身長: <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> cm

問17. 次回の妊娠・出産をお考えですか？

はい  
 いいえ

「はい」と答えた方のみにお尋ねいたします。  
 次回の妊娠・出産に関する事で、あったらよいと思っているサービスなどは次のうちどれですか？当てはまるすべての□に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)

(✓はひとつ)

産休・育児休暇などの充実  
 保育所・延長保育・病児保育などの拡充  
 育児や小児医療に関する情報やサービス  
 放射線と健康リスクに関する情報  
 その他 ( )

「いいえ」と答えた方のみにお尋ねいたします。

その理由は次のどれに当てはまりますか？当てはまるすべての□に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)

希望していない     収入が不安定なため  
 家事・育児の協力者がいないため     保育所など子どもの預け先がないため  
 今いる子どもに手がかかるため     避難生活をしているため  
 家族と離れて生活しているため     年齢や健康上の理由のため  
 放射線の影響が心配なため  
 その他 ( )

本調査についてのご意見、ご要望、またはご自身の体調や育児の心配ごとなどございましたら、以下の自由記載欄にご記入ください。

これで質問はすべて終わりです。

本調査票は、お子様の1か月児健診の結果までご記入いただいた後に、返信用封筒に入れてご提出ください。

電話やメールを通しての妊娠や子育てについてのご相談等も受け付けています。

ぜひ、ご利用ください。ご協力ありがとうございました。

**【お問い合わせ先】**

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター  
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

妊産婦専用ダイヤル

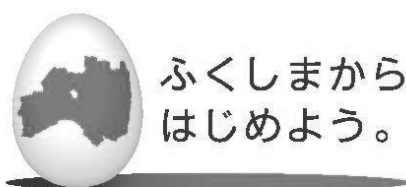
電話 : 024-549-5180

(平日 9:00~17:00)

メール : [nimpu@fmu.ac.jp](mailto:nimpu@fmu.ac.jp)

78000xxxxxx

県民健康調査



Future From Fukushima.

福島県・福島県立医科大学



## 県民健康調査

# 「妊産婦に関する調査」についてのお知らせ



※福島県立医科大学では、妊娠の最終結果やご出産の情報を完全に入手することができないため、本調査票等が届きましたことをご不快な思いをされた方には心よりお詫び申し上げます。福島県の妊産婦の皆さんの現状把握のため、どうぞ本調査にご協力ください。

福島県  
福島県立医科大学

## 福島県の妊産婦のみなさん、体調はいかがでしょう

福島県立医科大学では、福島県の委託を受け、県民健康調査の一環として「妊産婦に関する調査」を実施しています。妊産婦の皆さまのこころや身体の状態を把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、今後の福島県内の産婦人科医療の充実へつなげていくことを目的としています。

### 調査対象となられる方

- ① 平成 28 年 8 月 1 日から平成 29 年 7 月 31 日までに福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
- ② 上記①の期間内に福島県外の市区町村から母子健康手帳を交付された方の中で、いわゆる里帰り出産された方

①の方は、福島県各市町村の母子健康手帳の交付資料に基づいて調査票を送付しています。また、②の方へは、県内産科医療機関を通じ、本調査へのご協力をお願いしています。

### 回答方法は、調査票の返送、または、オンライン回答のいずれかのご都合のよい方法で。



- ◇ 期間中は、インターネットにより、パソコンやスマートフォンからいつでも好きな時間に回答できます。(詳細は別紙をご参照ください)
- ◇ ご回答は任意ですが、多くの皆さまのご協力により充実したケアへ繋がりますので、どうぞよろしく願いいたします。
- ◇ 調査へのご意見を含め、皆さまの生の声をお聞かせ下さい。
- ◇ 妊娠、出産、育児などについて、専任の助産師、保健師等による電話相談もしています。専門的な内容のご相談には、医師が対応いたします。
- ◇ ご回答内容に基づいて、助産師、保健師等から連絡させていただく場合がございます。

<個人情報の取り扱いについて> 本調査に関する個人情報は、県民健康調査において使用するほか、お住まいの市町村にも必要に応じて提供させていただきます。また、調査への回答や結果、回答にもとづく支援内容等については、学術的研究目的の利用及び公表(統計処理等)をしますが、個人が特定される形で公表することはありません。

### ご出産された方は、1か月児健診を受けた後で、ご回答下さい。

「妊産婦に関する調査」専用お問い合わせ先

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

電話 024-549-5180 (平日 9:00~17:00)

メール [nimpu@fmu.ac.jp](mailto:nimpu@fmu.ac.jp)

# フォローアップ調査 アンケートはがき

999-1234

福島県福島市庄野字袴場1-1福島県福島市  
庄野字袴場1-1福島県福島市庄野字袴場1-1  
福島県福島市庄野字袴場1-1福島県福島市  
庄野字袴場1-1

福島 花子 様

平成30年1月12日

公立大学法人 福島県立医科大学  
放射線医学県民健康管理センター



1234567

## 「妊産婦に関する調査」4年目アンケートのお願い

このハガキは、平成25年度「妊産婦に関する調査」にご回答いただいた方（平成24年8月1日～平成26年4月9日にご出産された方）を対象として、市町村からご住所の情報提供を受けてご連絡させていただいております。

### 【お問い合わせ先】

放射線医学県民健康管理センター

妊産婦専用ダイヤル：024-549-5180

（平日9:00～17:00）

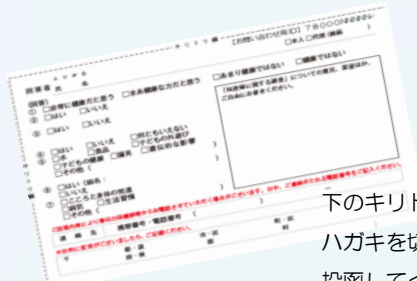
妊産婦専用メール：nimpu@fmu.ac.jp

【お問い合わせ用ID】78000×××××

平成25年度県民健康調査「妊産婦に関する調査」ではご協力いただきありがとうございました。その後いかがお過ごしでしょうか。「妊産婦に関する調査」は、福島県から委託を受け平成23年度から毎年行っています。調査の結果から、震災前後に出産された方たちにうつ傾向の方が多いことがわかりました（調査結果の詳細は当センターのホームページに掲載しています。http://fukushima-mimamori.jp/pregnant-survey/）。また、お子さまが大きくなるにつれ、新たな悩みが出てくることもあります。そのため、出産後4年経った皆さまのこころと身体の健康状態の経過を伺い、不安の軽減や必要なケアの提供のお手伝いができればと考えております。今回、過去に妊産婦調査で得たご本人様の情報を基に、ご連絡させていただいております。回答いただいた内容により、専任の保健師等からお電話させていただく場合がございます。回答は任意です。回答されなくても不利益を被ることは一切ありません。

## A、B どちらかご都合のよい方法で、ご回答いただけます。

### A ハガキの郵送



下のキリトリ線に従って  
ハガキを切り離しポストに  
投函してください。

### B オンライン回答



#### ①直接アクセス（スマホなど）

右の二次元コードを読み込んでください。  
IDとパスワードの入力は不要です。



または、

#### ②下記のURLを入力してアクセスし、下記のオンライン用IDとパスワードを入力してください。

http://fukushima-mimamori.jp/17nimpu

オンライン用  
ID 117××××××××  
パスワード ××××××××

オンライン回答受付は  
平成30年8月末まで  
です。

以下の質問に対して、右の回答欄の当てはまる□に✓してください。

- ①あなたはふだんご自分で健康だと思いますか？
- ②ここ最近1ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか？
- ③ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか？
- ④育児に自信がもてないことがありますか？
- ⑤放射線の影響について不安なこと全ての□に✓を記入してください。
- 以下の⑥、⑦は、平成24年8月1日～平成26年4月9日の間に生まれたお子様についてお尋ねいたします。
- ⑥お子様はこれまでに入院を要した病気にかかったことがありますか？
- ⑦お子様のことで心配なこと全ての□に✓を記入してください。

ご回答ありがとうございました。

アンケートの送り方は裏面をご参照いただき、保護シールを貼付し、投函してください。

ふりがな

回答者氏名

【お問い合わせ用ID】78000×××××

□本人 □代理（続柄）

（回答）

- ① 非常に健康だと思う まあ健康な方だと思う あまり健康ではない 健康ではない
- ② はい いいえ
- ③ はい いいえ
- ④ はい いいえ 何ともいえない
- ⑤ 水 食品 子どもの外遊び  
子どもの健康 偏見 遺伝的な影響  
その他（ ）
- ⑥ はい（病名：  
いいえ
- ⑦ こころと身体の発達  
病気 生活習慣  
その他（ ）

「妊産婦に関する調査」についての意見、要望ほか、ご自由にお書きください。

ご回答内容により専任の保健師等からお電話させていただく場合がございます。日中、ご連絡がとれる電話番号をご記入ください。

連絡先 携帯番号・電話番号（ ）

\*住所に変更がございましたら、ご記載ください。

〒 都・道 市・区 町・区  
府・県 —23 郡 村

郵便はがき

960-1290

福島市光が丘1番地

福島県立医科大学  
放射線医学県民健康管理センター 行



料金受取人私郵便

福島中央局 認  
承 1181

差出有効期間  
平成 年 月  
日まで

「妊産婦に関する調査」4年目アンケート

県民健康調査

福島県・福島県立医科大学  
〒960-1295 福島市光が丘1番地  
公立大学法人福島県立医科大学  
放射線医学県民健康管理センター  
妊産婦専用ダイヤル TEL 024-549-5180



ふくしまから  
はじめる。

＜個人情報の取り扱いについて＞

本アンケートに関する個人情報は、県民健康調査において使用するほか、お住まいの市町村にも必要に応じて提供させていただきます。また、アンケートへの回答や結果、回答にもとづく支援内容等については、学術的研究目的の利用及び公表（統計処理等）をしますが、個人が特定される形で公表することはありません。

アンケートの送り方

1 キリトリ線に沿ってハガキを切り離してください。



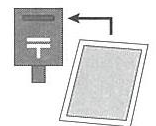
2 ハガキの記入欄に必要事項を記入してください。



3 同封のシールをハガキの裏面に貼り付けて記入欄が見えないようにしてください。



4 そのまま郵便局へお出しください。



2017.10.23 第28回福島県「県民健康調査」検討委員会

## 東京電力福島第一原子力発電事故における 住民の線量評価に関する包括研究の経過報告

国際医療福祉大学クリニック

鈴木 元

# 本日の話題

環境省「包括研究」による線量評価の概要

「包括研究」の3年間の中間報告

福島の小児甲状腺線量再評価値と他の報告との比較

今後の研究の方向性

環境省 原子力災害影響調査等事業(放射線の健康影響に係る研究調査事業)  
東京電力福島第一原子力発電事故における住民の  
線量評価に関する包括研究 (H26～H28)

東京電力福島第一原子力発電事故における住民の線量評価に関する包括研究

鈴木 元(国福大)、長谷川、大葉(県立医大)、他

ソースターム評価と大気拡散シミュレーション

永井 晴康 (日本原子力開発機構)

土壌中I-129の分析によるI-131 土壌沈着等の推計

松崎 浩之 (東大 総合博物館)

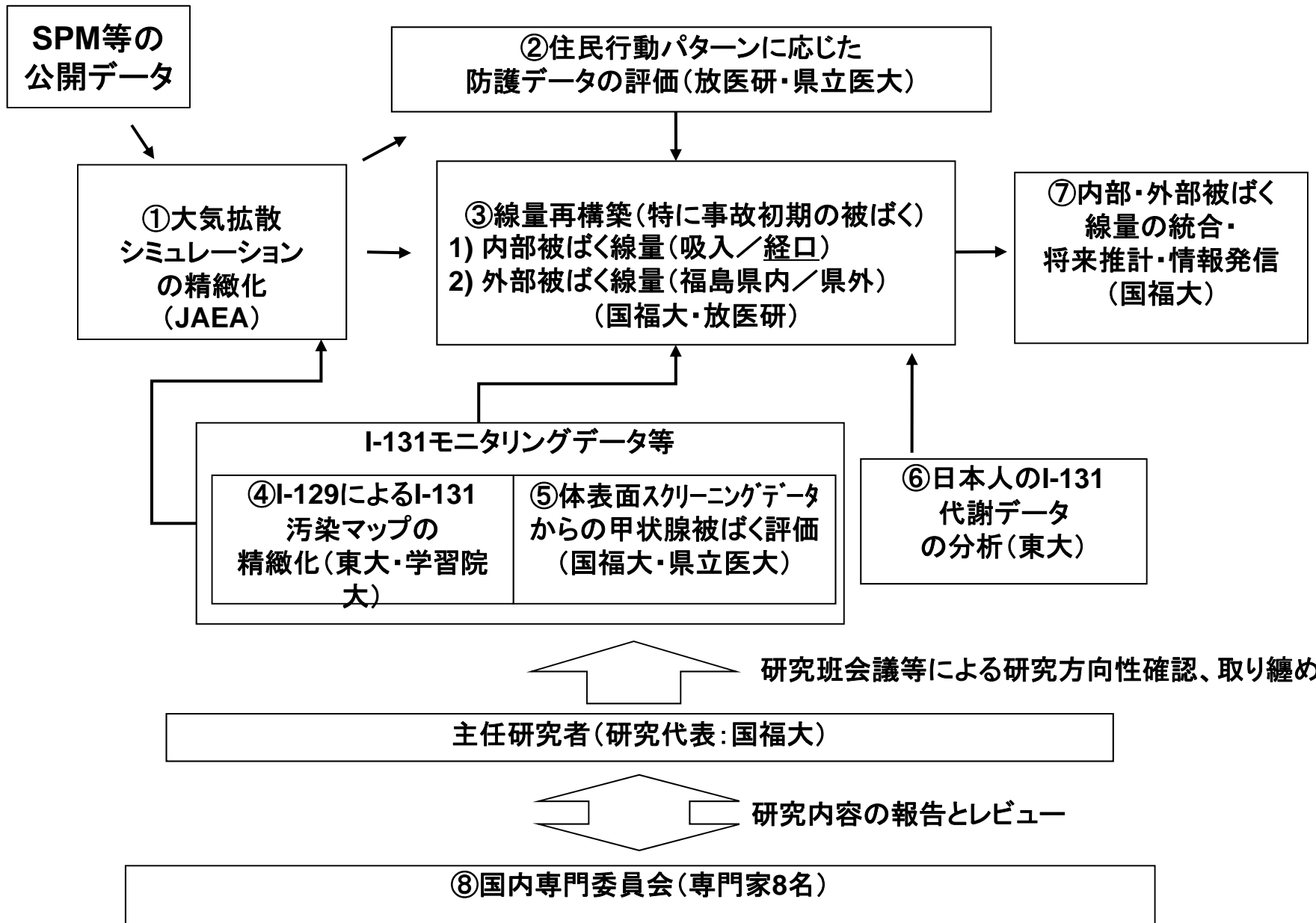
事故初期段階における住民の被ばく線量再構築

栗原 治 (放医研)

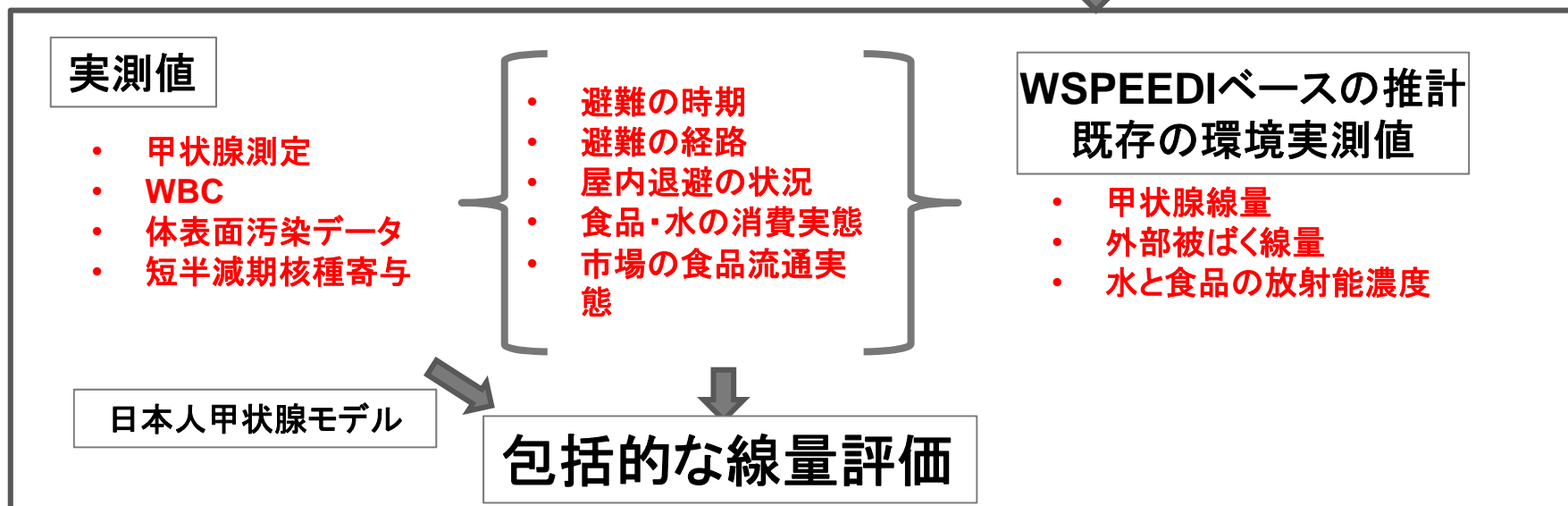
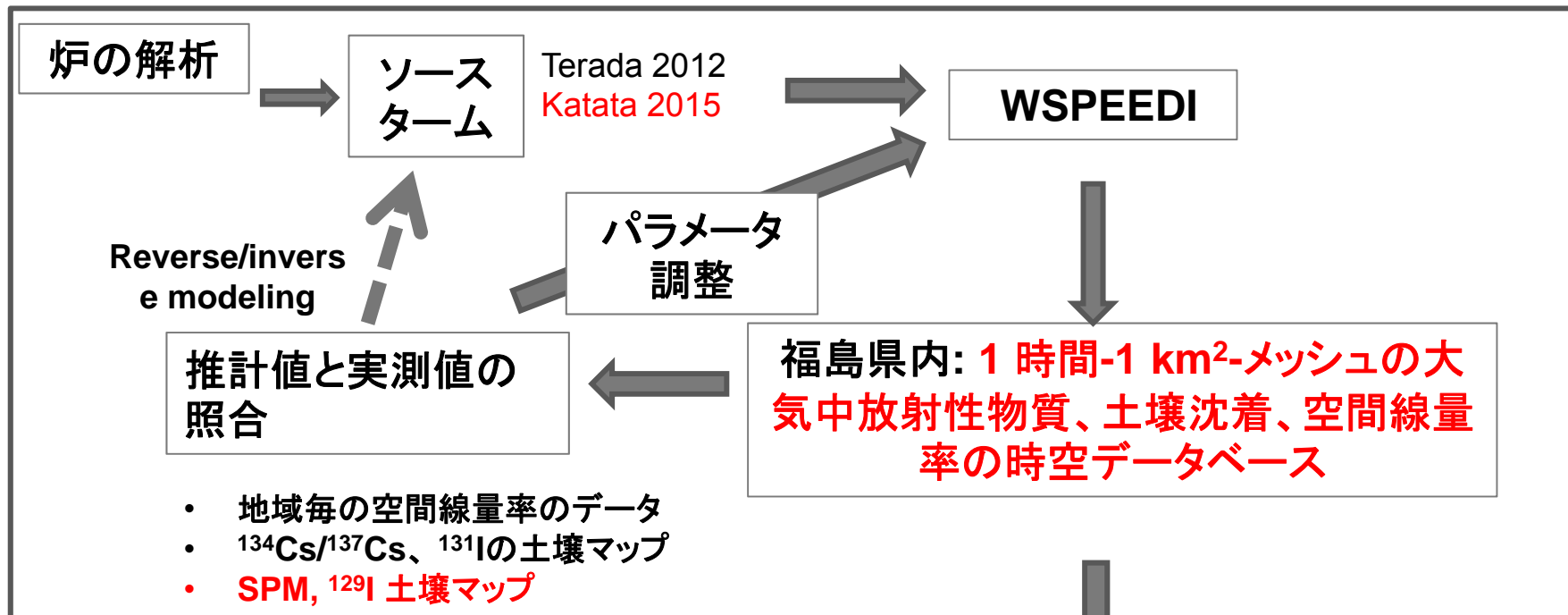
放射性ヨウ度の血中動態並びに甲状腺集積率の予測

楠原 洋之 (東大 薬学)

※H29～H30 「事故初期の住民内部被ばく線量評価の精緻化に関する包括研究」  
を実施中









# なぜ線量再評価が必要か？

甲状腺超音波検査で発見される小児甲状腺がんが、原発事故由来の放射線被ばくに起因するかどうか、**線量(地区平均)の推計が必要**

甲状腺の内部被ばくを起こす寿命の短い放射性核種 ( $^{131}\text{I}$ ,  $^{132}\text{I}/^{132}\text{Te}$ ,  $^{133}\text{I}$ ) の測定データが少ない ( $^{131}\text{I}$ からの線量評価に限っても 1,080名小児甲状腺検査、他 床次等の甲状腺検査など100名未満)

疫学的には甲状腺線量が50～100mGy以上でリスク増加が懸念されるところ、国連科学委員会(UNSCEAR)の**大気運搬・拡散・沈着(ATDM)シミュレーションに基づく線量評価値は、避難地域でこのレンジに入っている**

UNSCEAR評価値は、サンプル数は少なかったが早期に実施された甲状腺測定やホールボディカウンターによる線量推計値より過大評価になっている

**新たな情報を取り込んで、UNSCEAR報告書の不確実性要因を低減する必要がある**

表1. UNSCEAR 2013報告書

事故後1年間の地域平均の実効線量及び甲状腺吸収線量の推定値

		避難をした地区			
グループ		実効線量(mSv)		甲状腺吸収線量(mGy)	
		20歳 (成人)	1歳児 (乳児)	20歳 (成人)	1歳児 (乳児)
1	予防的 避難地域	1.1 - 5.7	1.6 - 9.3	7.2 - 34	15 - <b>82</b>
	計画的 避難地域	4.8 - 9.3	7.1 - 13	16 - 35	<b>47 - 83</b>
		避難をしていない地域			
2	福島県 (避難区域外)	1.0 - 4.3	2.0 - 7.5	7.8 - 17	33 - <b>52</b>
3	近隣県	0.2 - 1.4	0.3 - 2.5	0.6 - 5.1	2.7 - 15
4	その他の 都道府県	0.1 - 0.3	0.2 - 0.5	0.5 - 0.9	2.6 - 3.3

# UNSCEAR 2013 報告書

## 1歳児甲状腺線量に寄与した被ばく源

予防的避難地区(富岡、大熊、田村、南相馬(小高)): 避難先での被ばくが大きい

→ 避難先の主に飲料水・食品 (36~42 mGy)

予防的避難地区(檜葉、浪江): 避難途上と避難先の寄与がほぼ拮抗

→ 避難途上の吸入被ばく(35~46 mGy)・

主に避難先の飲料水・食品(36~46 mGy)

計画的避難地域(浪江(津島)、葛尾、飯舘、南相馬(原町)、川俣): 避難前・避難途上の被ばくが大きい

→ 居住地区での吸入被ばく・飲料水・食品  
(45~63 mGy)

飲料水・食品からの線量を大きく見積もっている

# UNSCEAR 2013 “福島報告書”

## 不確実性の原因と本研究での検討

不確実性の原因	本研究での検討
(112) ソースターム（放出源情報：時間当たりの核種別放出量）	Katataソースタームへ更新
(C120) ATDM パラメータ	既存の空間線量率だけでなく、SPM中の放射性セシウム連続測定分布を使って WSPEEDIのパラメータを最適化
(111) $^{131}\text{I}$ 測定とその空間的分布	$^{129}\text{I}$ の土壌分布、浮遊粒子状物質SPM中の放射性セシウム連続測定
(113) 大気中の $^{131}\text{I}$ の粒子型とガス型（元素と有機化）の相対的量 (C121) とりわけ福島県内における相対的量	東海村と千葉以外にはデータなし 50%:50%
(C116) 家による遮蔽係数と屋内滞在時間	JAEAなどによる実測、県民健康調査 基本調査の質問票 →外部被ばく線量の推計

# UNSCEAR 2013 “福島報告書”

## 不確実性の原因と本研究での検討

不確実性の原因	本研究での検討
(114) 市場でスクリーニングされた食品の代表性、および市場での福島産の割合 (C123) 検出限界以下の食品の取扱い (114) 食品の流通および消費の変化 (C128) 規制前の食品/水の消費実態	WBCデータの解析 マーケットバスケット法、陰膳法データ整理
	避難住民の消費実態聞き取り調査 ミルク、水道水、事故後の福島県内の流通実態
	WSPEEDIの推計を使った汚染スクリーニング前の水道水 <sup>131</sup> I濃度推計
(C116) 家による遮蔽係数と屋内滞在時間	避難住民の体表面汚染分布、放射能のスペクトルから線量評価
(115) ICRPモデルより低い日本人の <sup>131</sup> I 甲状腺取り込み率	日本人甲状腺モデル (ヨウ素代謝、甲状腺体積)

# 3年間の包括研究による 線量推計の中間評価

1歳児の甲状腺等価線量： 外部被ばく、飲水、煮炊きの水、吸入被ばくを合わせた地区の平均値

最も高い飯舘、浪江でも 40 mSv未満

他の予防的避難地域 16 mSv未満

他の計画的避難地域 12 mSv未満

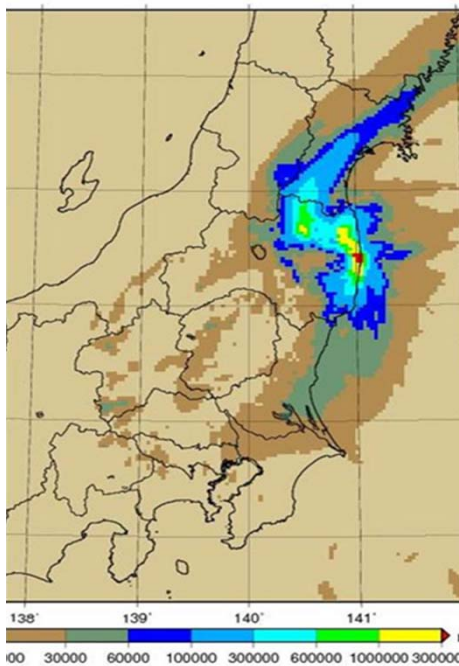
1歳児の外部被ばく、内部被ばくの合計値は、UNSCEAR報告の7%～69%の値だった

# 大気拡散シミュレーション WSPEEDIの精緻化

H24、H25年度

UNSCEAR-source  
MM5  
Old-GEARN

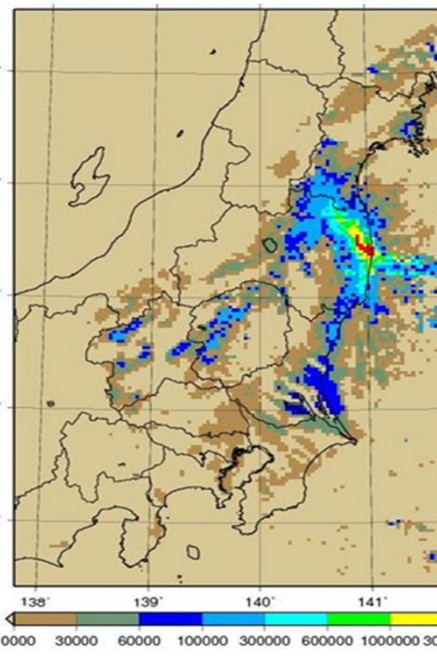
Cs-137 deposition at UTC= 2011-03-31\_15h



H26年度末

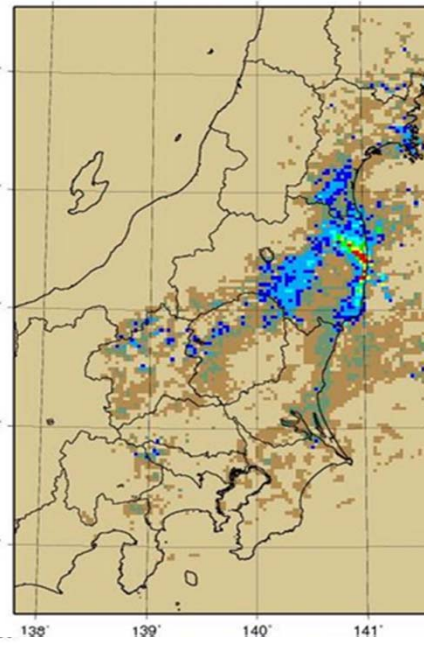
New-source  
MM5  
New-GEARN

Cs-137 deposition at UTC= 2011-03-31\_15h



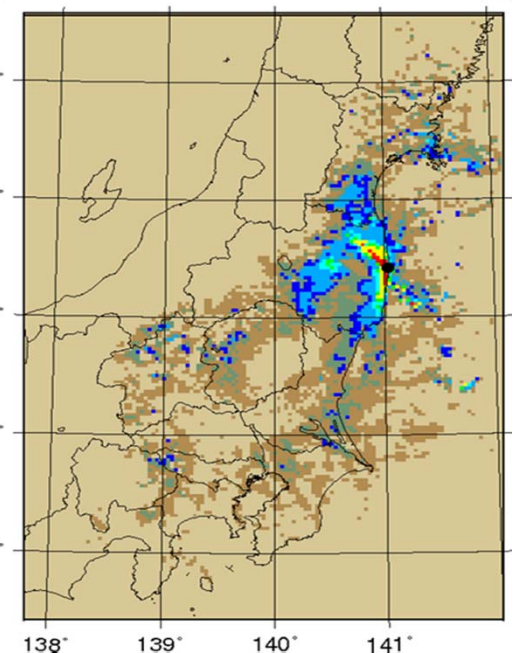
H27年度末

New-source  
WRF-DA  
New-GEARN  
DB基本版の出力



H28年度末

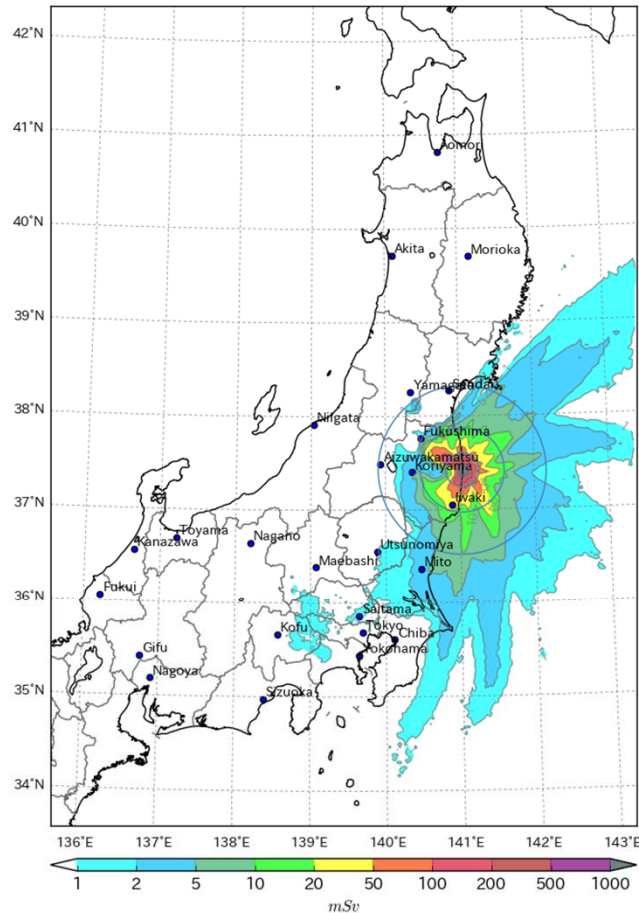
Optimum-source  
WRF-DA  
New-GEARN  
DB完成版の出力



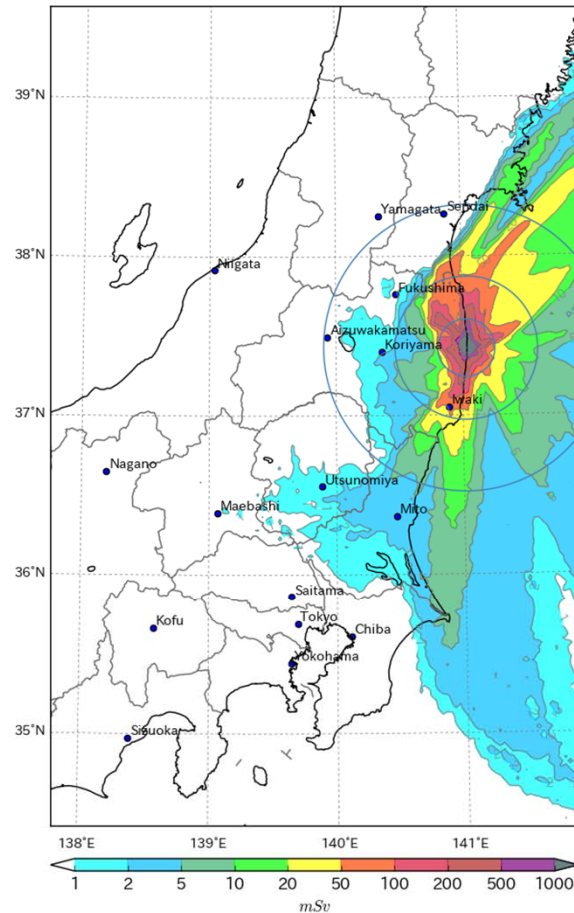


# WSPEEDIの精緻化：<sup>131</sup>I甲状腺等価線量マップ (広域)

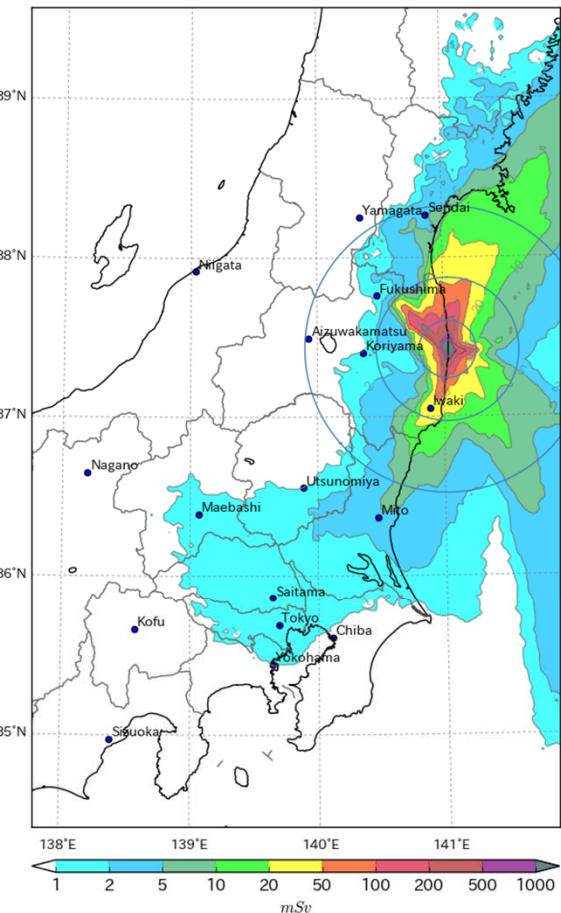
Teradaのソースターム



Katataのソースターム



修正Katataソースターム



次スライドの土壌<sup>129</sup>I測定による  
<sup>131</sup>Iマップと不整合部分有り、さら  
なる改良が必要

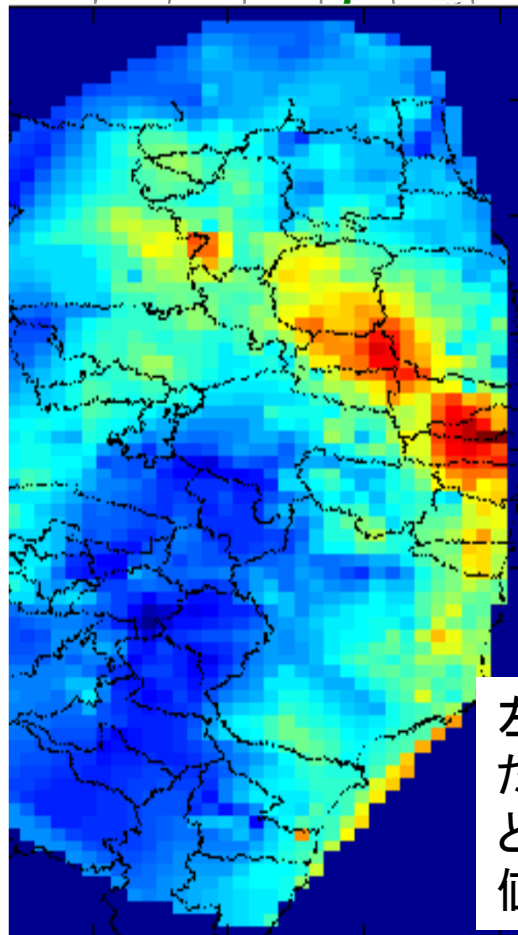


# <sup>131</sup>I 土壌沈着データの精緻化

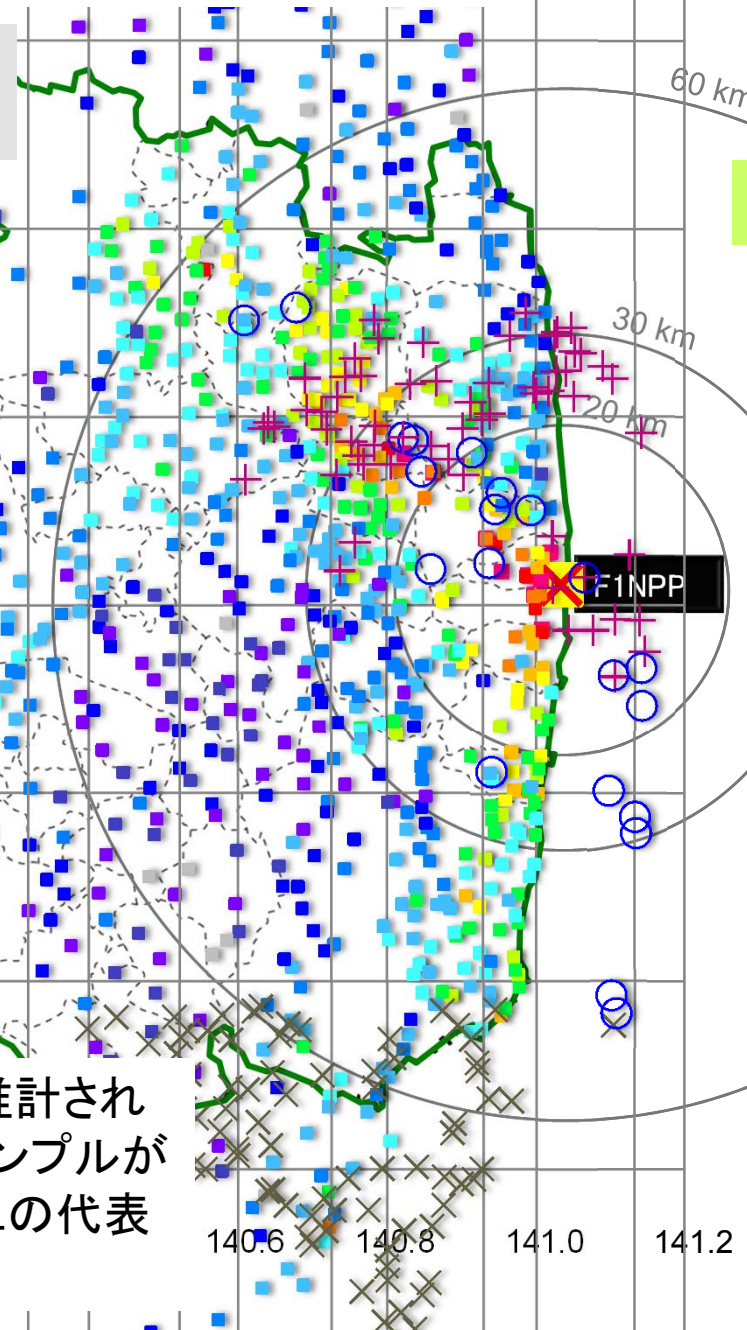
890カ所の土壌サンプルを<sup>129</sup>Iの質量分析解析し、<sup>131</sup>Iの土壌沈着マップを充実させた

37.8

Fukushima prefecture



左図：<sup>129</sup>I測定から推計された<sup>131</sup>I濃度を土壌サンプルがとられた2kmメッシュの代表値として表現



x South-Wes  
+ new select  
o detailed an  
+ new select

<5.12e+12

140.6 140.8 141.0 141.2

# 甲状腺内部被ばく線量

WSPEEDIの環境汚染の推計だけでは、甲状腺線量を評価できない

避難行動、飲食実態を反映させる必要

経口摂取の実態 食品・水

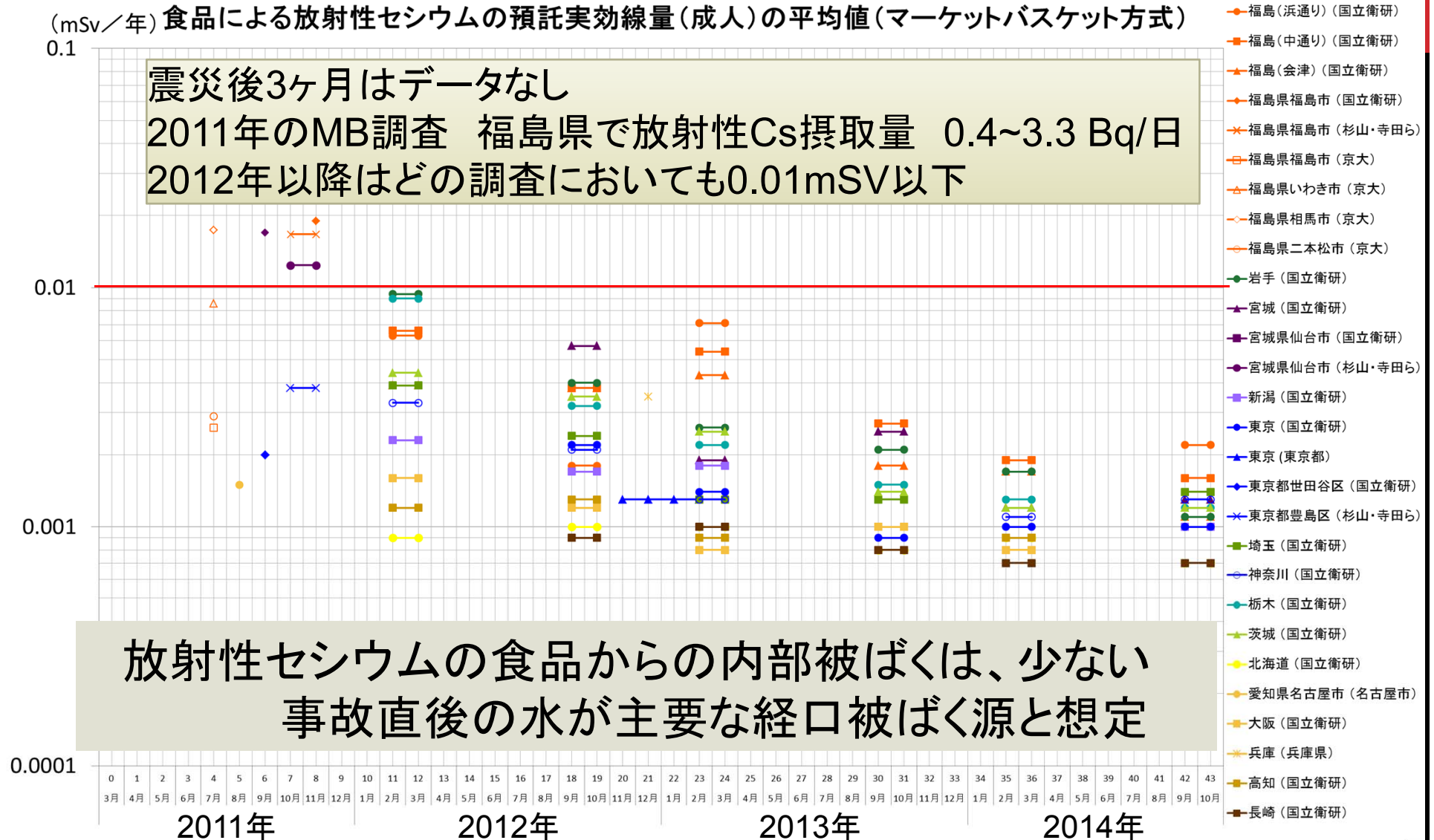


避難途上の吸入摂取 体表面汚染データを使った吸入被ばく評価 2D-モンテカルロ(2D-MC)シミュレーション

飲食実態の調査 → 水が主な汚染経路

WBCによる放射性セシウム測定値から放射性ヨウ素／放射性セシウム比を仮定して推計

# 経口被ばく:MB方式の調査結果(成人、平均値)



## 経口被ばく(水)： 内部被ばくの要因となる喫食状況調査

### 調査結果から得られた知見

- ヒアリング結果より3月時期に露地野菜等は一般的には摂取しておらず、一般的な避難者・非避難者における内部被ばく線量(経口摂取)は、水からの影響が大きいと考えられる。
- 測定されていない時期における水の濃度も推計し、本資料では参考として摂水量を仮定し、水道水からの内部被ばく線量を推計した。

- 避難者と非避難者の一日の摂水量を以下のように設定。

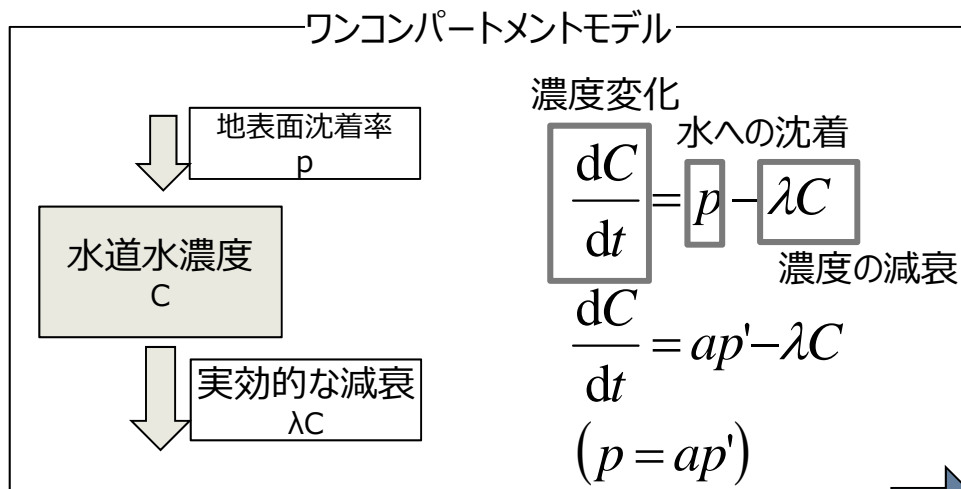
区分	年齢	対象	中央値 (ml)	算術平均 (ml)	95%値 (ml)
非避難者	□10歳 □成人	□飲料水(通常は水道水・ボトル水、市販の飲料等で摂取)をすべて水道水で摂取したと仮定 □水道水で調理した米による摂取	1,714	1,822	3,084
	□1歳	□粉ミルクから摂取			
避難者	□10歳 □成人	□飲料水をすべて水道水で摂取していると仮定(ただし、避難所でペットボトル1ℓ配布されたと仮定し、マイナス1ℓ) □水道水で調理した炊き出し(おにぎり、汁物、カップ麺)による水の摂取	1,130	1,174	2,100
	□1歳	□粉ミルクから摂取			

# 経口被ばく(水): 水道水の放射能濃度推計 (1-コンパートメントモデル)

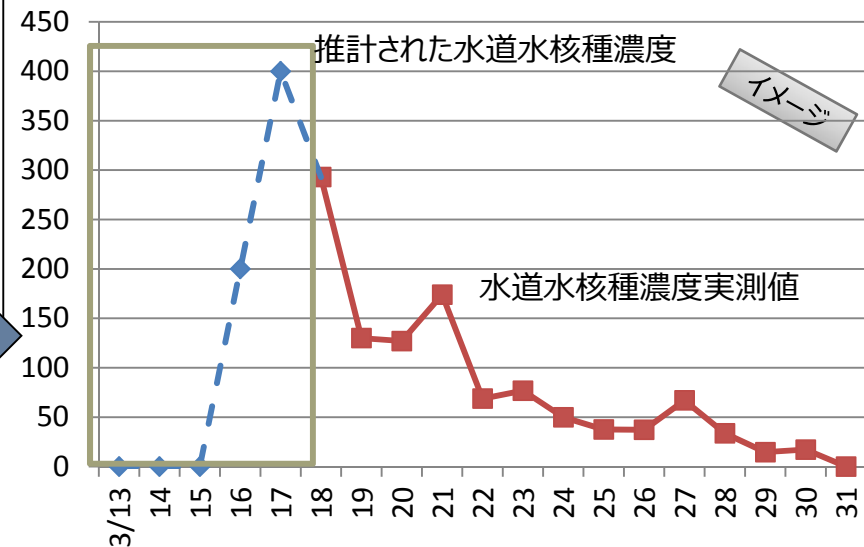
水道水の放射能濃度は、1-コンパートメントモデルを用いて推計を行う。

水道水の核種濃度変化が、新たな放射性物質の水への沈着率と放射性物質の実効的な減衰で表されるモデル。

水への沈着率は、拡散シミュレーションによる地表面沈着率に換算係数を掛けることで算出。  
 $dC/dt$ を水道水中濃度の変化、 $C$ をある時点での水道水中濃度、 $p'$ を地表面沈着率として代入し、パラメータの換算係数 $a$ と実効減衰係数 $\lambda$ を最小2乗法等で求める。



C	水道水中の核種濃度 (Bq kg <sup>-1</sup> )
p	水への沈着率 (Bq kg <sup>-1</sup> d <sup>-1</sup> )
p'	地表面沈着率 (Bq m <sup>-2</sup> d <sup>-1</sup> )
a	換算係数 (m <sup>2</sup> kg <sup>-1</sup> )
λ	実効減衰係数 (s <sup>-1</sup> )      赤字: 未知



# 経口被ばく(水)：避難ルートに沿った線量

- 以下の浪江町、南相馬市、飯館村の避難ルートを想定し、水道水濃度とそれに沿った線量を推計した。

	避難パターン
浪江町	3/11(浪江町)浪江町役場、3/12(浪江町)津島活性化センター、3/15(二本松市)東和第一体育館
南相馬市①	3/11(南相馬市原町区)テクノアカデミー浜、3/12(南相馬市原町区)石神第二小学校、3/15に(伊達市)梁川体育館
南相馬市②	浪江町住民とともに 3/12(浪江町)津島活性化センター、3/15(二本松市)東和第一体育館(計算上は浪江町避難ルートと同様)
飯館村	3/11(飯館村)草野小学校体育館へ避難、3/19栃木県へ避難

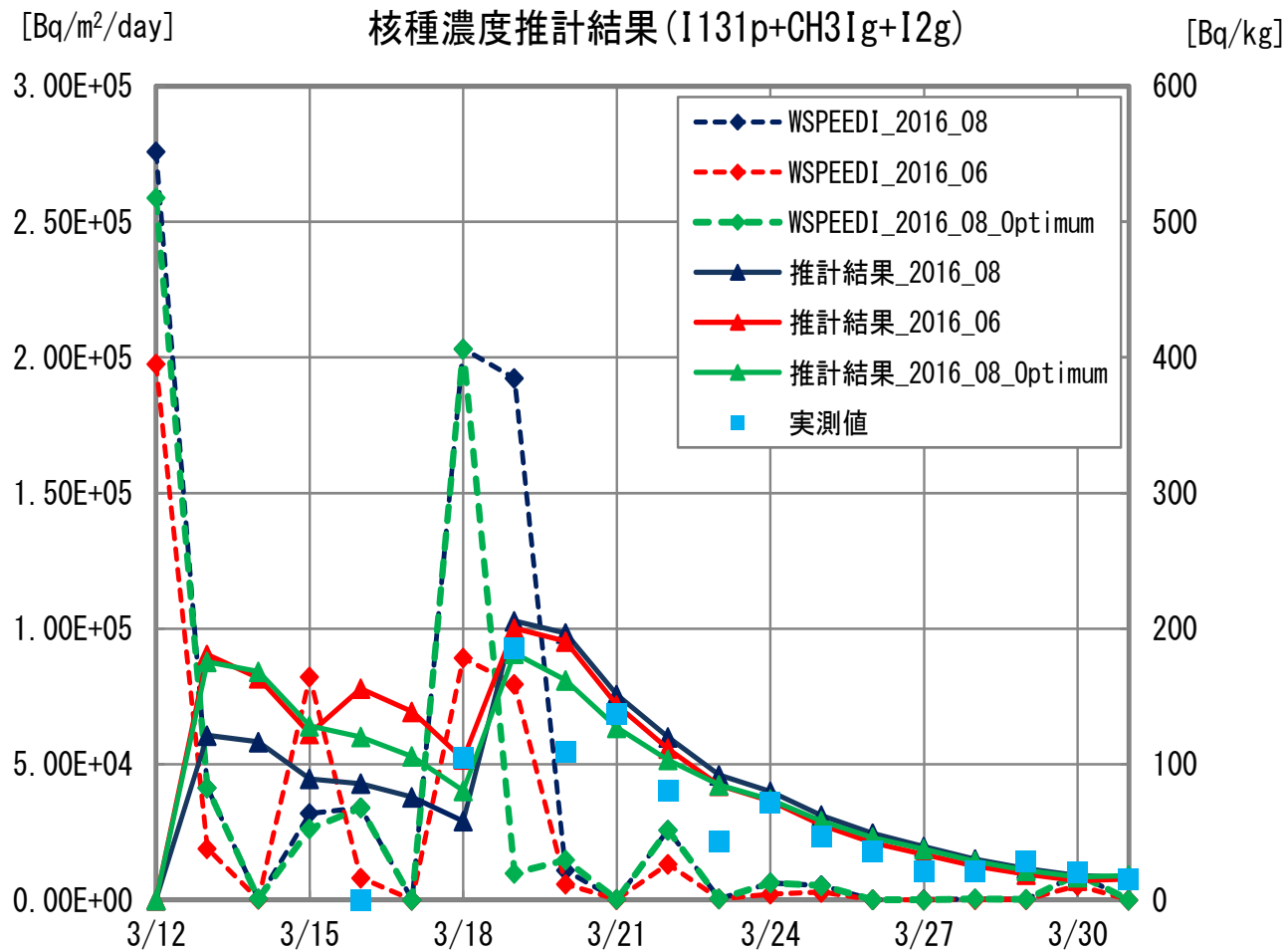
摂取量 平均値 (/day)	非避難者	避難者	I-131 (Sv/Bq)			
			成人	10歳	1歳	
1歳	1.0L	1.0 L	預託実効線量 換算係数	$2.20 \times 10^{-8}$	$5.20 \times 10^{-8}$	$1.80 \times 10^{-7}$
10歳	1.8 L	1.2 L	甲状腺預託等価線量 換算係数	$4.30 \times 10^{-7}$	$1.00 \times 10^{-6}$	$3.60 \times 10^{-6}$
成人	1.8 L	1.2 L				

避難者はペットボトル 1L 配給。上記摂取量は、1歳児を除きペットボトル分を差し引いている



## 水道水の放射能濃度推計結果:南相馬市(南相馬合同庁舎)

- 水道水の放射能濃度推計の結果を以下に示す。



## 経口被ばく(水)： 避難住民の甲状腺等価線量 (mSv)

	避難者											
	田村	川俣	広野	楢葉	富岡	大熊	双葉	葛尾	川内	浪江	南相馬	飯舘
1歳児	5.6	4.9	2.0	4.3	10	5.6	3.5	0.3	10	6.3	6.1	22
10歳児	1.9	1.6	0.7	1.4	3.4	1.9	1.2	0.1	3.4	2.1	2.0	11
成人	0.8	0.7	0.3	0.6	1.5	0.8	0.5	0.0	1.5	0.9	0.9	4.7

乳児は粉ミルク100%と仮定。混合栄養(母乳:粉ミルク=1:1)なら、評価値の約60%の値、母乳100%なら評価値の20%以下

南相馬： 3/12 小高 → 原町 → 3/23に新潟避難のシナリオ

飯舘： 段階的避難シナリオ、井戸、主要3水源地からの供給割合を考慮。3/21以降はペットボトル



# 経口被ばく(水)： 非避難住民の甲状腺等価線量 (mSv)

	非避難者							
	浜通り				中通り			会津/南 会津
	いわき	原町	新地	相馬	県北	県中	県南	
1歳児	4.0	6.1	3.6	2.8	0.4~1.2	0~9.4	0.7~ 9.5	0.0~0.9
10歳児	2.0	3.1	1.8	1.4	0.2~0.6	0~4.7	0.3~4.8	0.0~0.5
成人	0.9	1.3	0.8	0.6	0.1~0.3	0~2.0	0.1~2.0	0.0~0.2

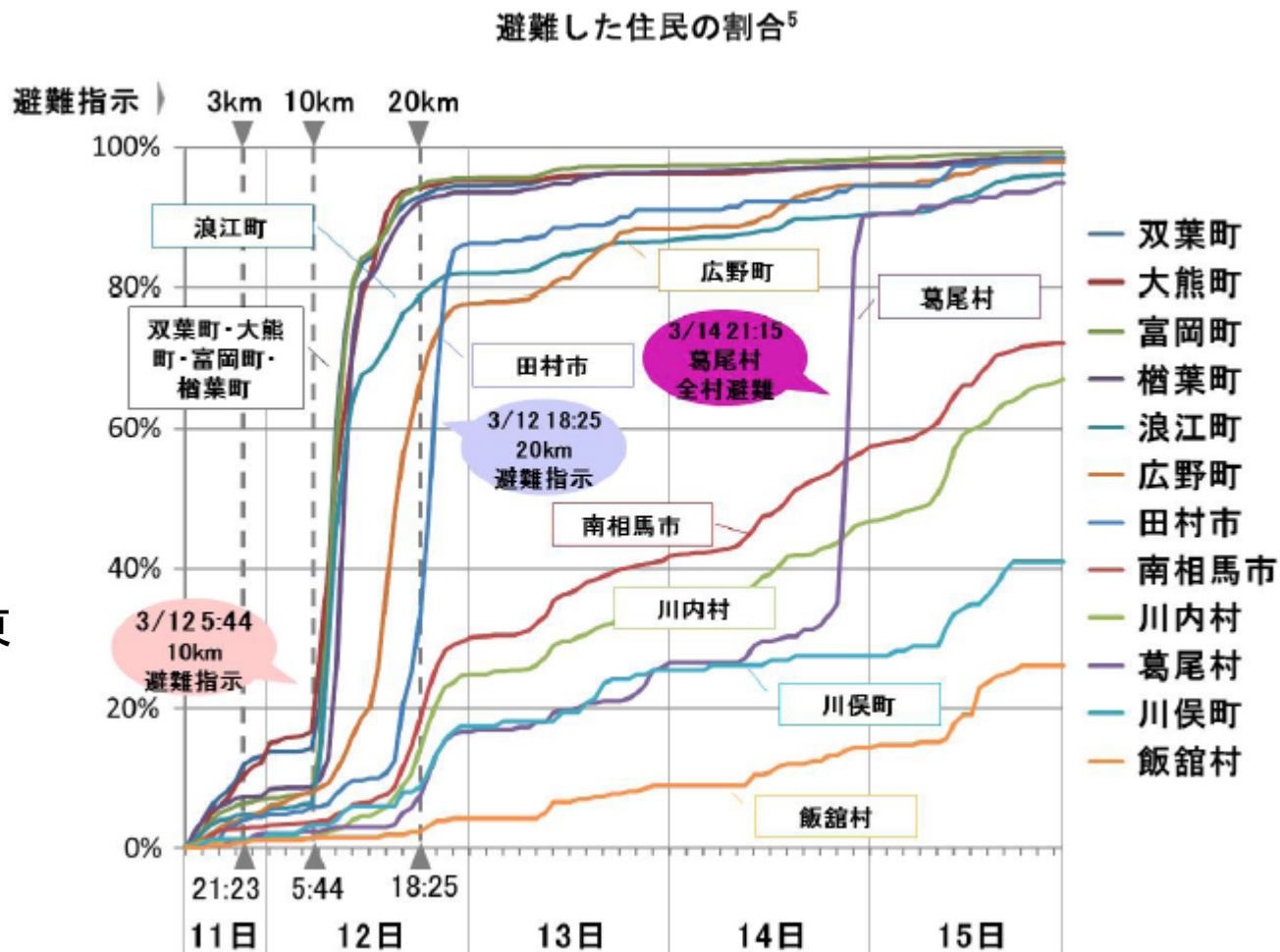
原町 : 3月22日までは自宅で煮炊き、3月23日に新潟へ避難したシナリオ

三春 : 3月15日安定ヨウ素剤服用により16日、17日にそれぞれ90%,30%低減効果

# 吸入被ばく：避難時期と避難ルートにより、吸入曝ばくのレベルが異なる

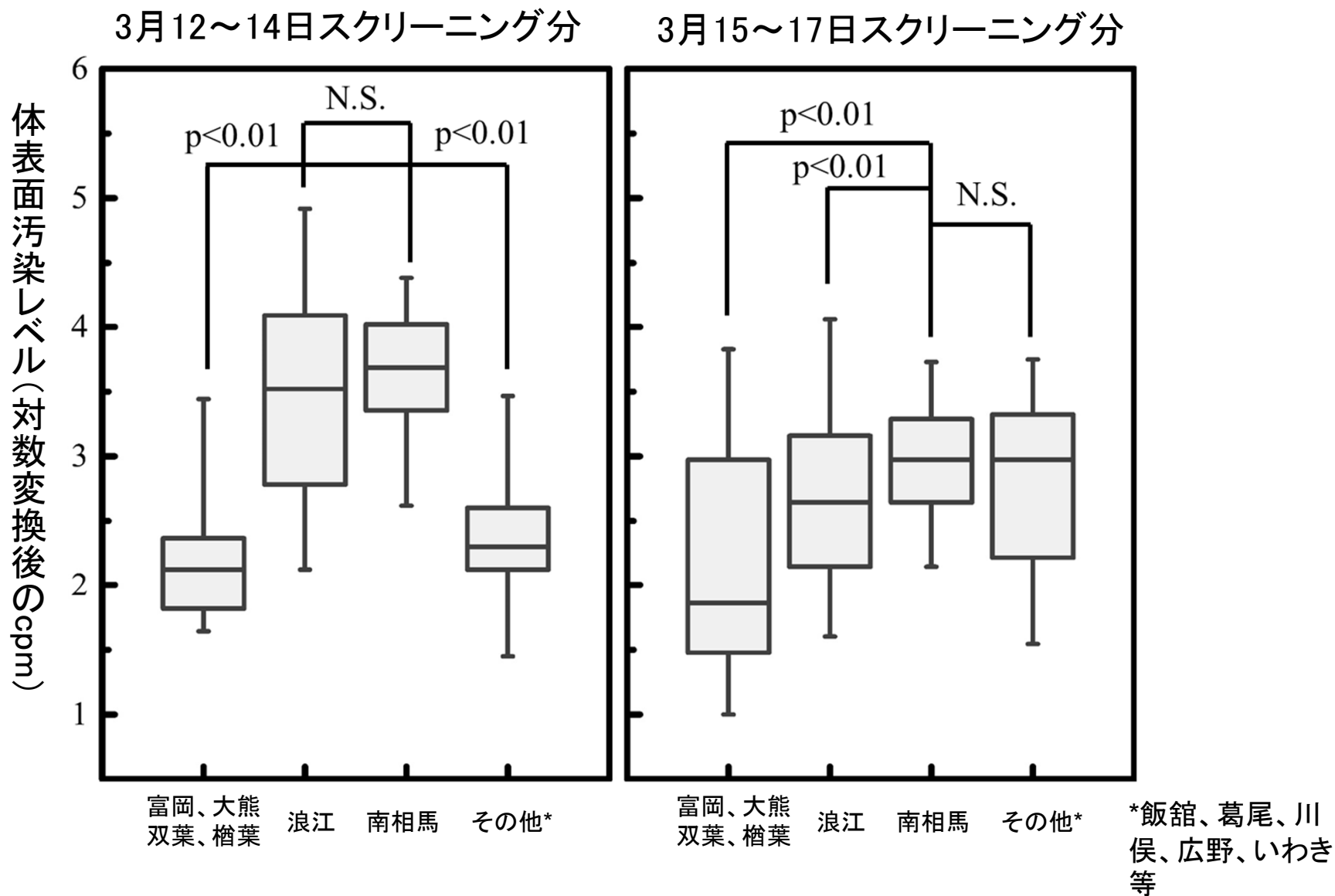
3月12日プルーム  
午後北東へ向かう

3月15日のプルーム  
早朝に南へ向かい、夕方までに時計回りに北東へ向かう

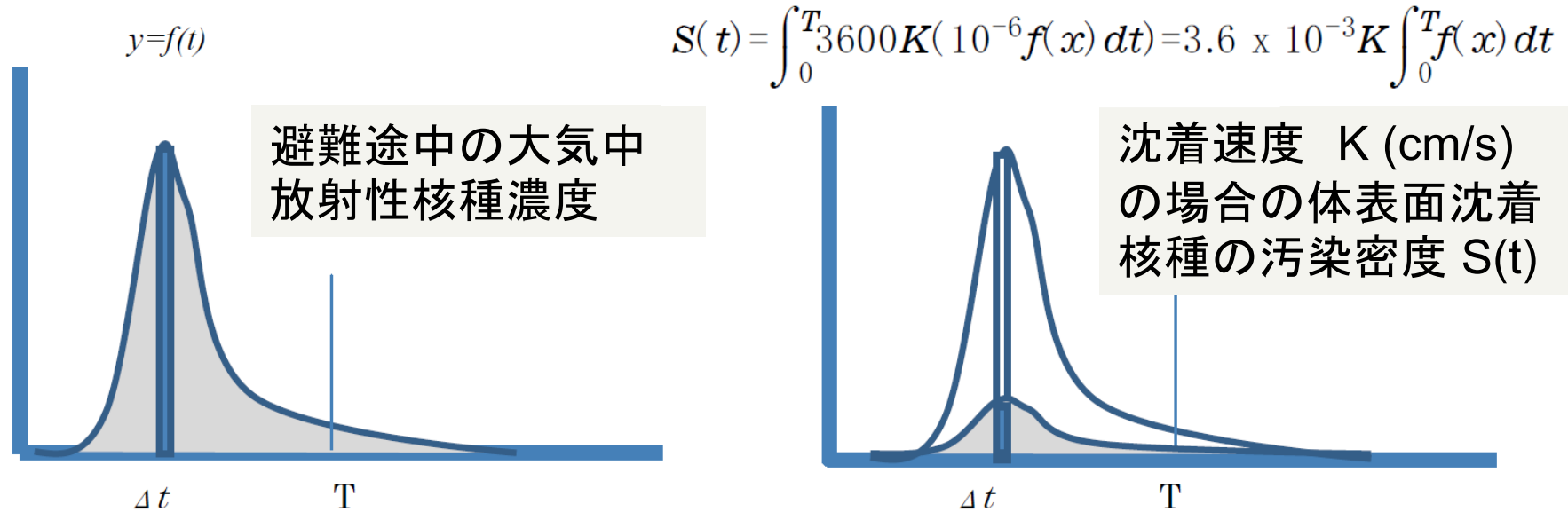


国会事故調、アンケート結果

# 吸入被ばく： 3月12日、15日のプルーム曝露の地域差 頭部汚染レベルの分布

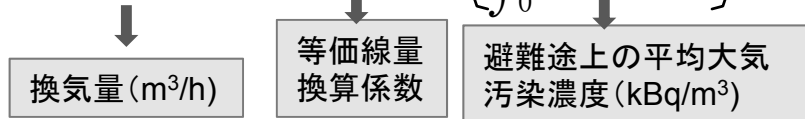


# 吸入被ばく： 体表面汚染核種密度から 吸入被ばく量を推計



<sup>131</sup>I を例にとると、時間”0” から”T”までの1歳児の累積甲状腺線量  $D(T)$  は、

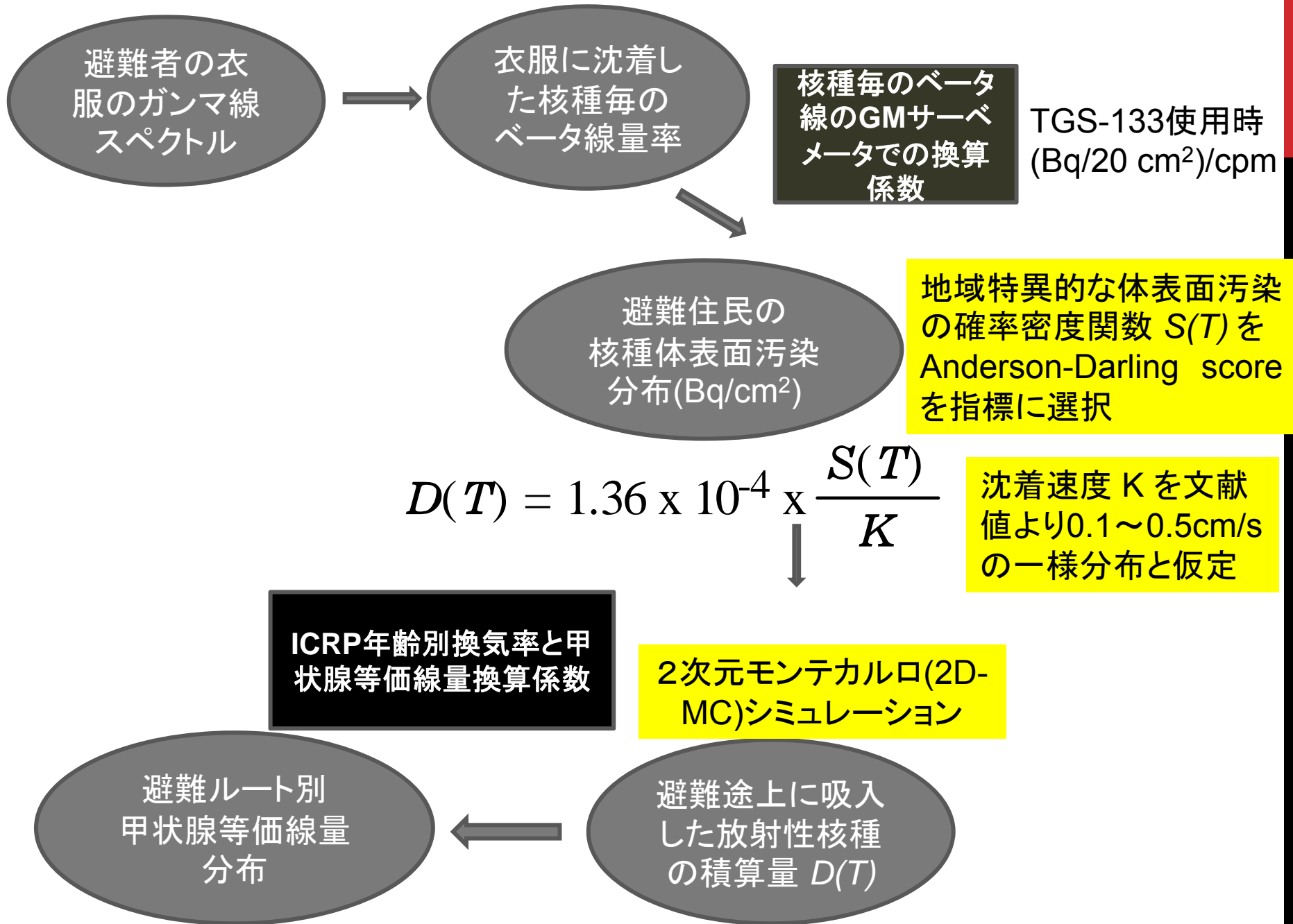
$$D(T) = 0.35 \times T \times 1.4 \times 10^{-6} \left\{ \int_0^T f(t) dt / T \right\} = 4.9 \times 10^{-5} \int_0^T f(t) dt$$



$$S(T) = 3.6 \times 10^{-3} \times K \cdot D(T) / 0.35 \times 1.4 \times 10^{-6} = 7.35 \times 10^3 K \cdot D(T)$$

$$D(T) = 1.36 \times 10^{-4} S(T)/K$$

一方、 $S(t)$ は 衣服の核種割合核種のベータ線放出率、GMサーベイメータの実測値、核種毎のベータ線測定線源効率及び機器効率を使い計算可能





# 吸入被ばく： 2D-MCシミュレーション による甲状腺等価線量推計

地区グループ	年齢	平均値 (90% UI)	中央値	90%-tile 値
富岡・大熊・ 双葉・楢葉	1歳児	6.1 (3.2-12.6)	0.5	5.8
	10歳児	5.5 (2.8-11.3)	0.4	5.2
	成人	3.0 (1.6-6.2)	0.2	2.9
浪江	1歳児	31.4 (16.2-64.5)	5.1	50.8
	10歳児	26.6 (13.7-54.6)	4.4	40.1
	成人	14.5 (7.5-29.9)	2.4	23.6
南相馬	1歳児	8.3 (4.3-17.0)	6.5	16.8
	10歳児	7.1 (3.7-14.6)	5.6	14.4
	成人	3.9 (2.0-8.0)	3.1	7.9
その他*	1歳児	3.7 (1.9-7.6)	1.6	9.2
	10歳児	3.3 (1.7-6.7)	1.4	8.2
	成人	1.8 (0.9-3.7)	0.8	4.5

\*飯館、葛尾、川俣、  
広野、いわき等

# 甲状腺実測値ベースの線量評価とシミュレーションベースの線量評価との比較における注意点

## ① $^{131}\text{I}$ 甲状腺取り込み率の問題: 10%~20% vs. 30%

甲状腺直接計測に基づく甲状腺線量評価や、甲状腺直接計測値の分布とWBCによる $^{134}\text{Cs}$ 測定分布との比較から $^{131}\text{I}/^{134}\text{Cs}$ 比を求め、間接的に $^{131}\text{I}$ 摂取量を求める手法では、 $^{131}\text{I}$ の甲状腺取り込み率は、個人の実態を反映。日本人では10%~20%との報告(吉沢ら、Kuniiら、楠原ら)

他方、水消費量や2D-MCシミュレーションに基づく線量評価では、ICRPモデルの $^{131}\text{I}$ の甲状腺取り込み率30%が使われている

② **短半減期核種の寄与:** 甲状腺測定値やWBC測定値からの評価では、 $^{131}\text{I}$ の線量を推計している。短半減期核種の寄与が3月12日のプルームで高いため、3月12日のプルーム曝露量が多い浪江や小高地区からの避難者では、その寄与分を推計する必要

③ **WBCの過大評価:** WBCでは、衣服汚染や慢性摂取の影響があり、3月中旬の急性摂取と仮定した計算では過大評価になる



# 包括研究中間報告の甲状腺等価線量評価値と他の研究の評価値との比較

WBCによる $^{134}\text{Cs}$ 測定値から、 $^{131}\text{I}/^{137}\text{Cs}$ 比=3.8を仮定して $^{131}\text{I}$ 摂取量を推計  
Kim et al: *Health Phys.* 111: 451-464, 2016

**浪江成人614名のWBC:** Momoseらの報告。CEDの中央値 0.02mSv、90%-tile値0.10mSv。3月12日と3月15日プルームの $^{131}\text{I}$ 曝露率を体表面汚染データより推計し、短半減期核種補正。

浪江1歳児の甲状腺等価線量

50%-tile値	6.8 mSv
90%-tile値	34 mSv

**包括研究** 浪江1歳児の吸入被ばくと 経口摂取からの甲状腺等価線量

50%-tile値  $5.1 \text{ mSv} + 6.3 \text{ mSv}^* = 11.4 \text{ mSv}$  (7.6 mSv $^{\$}$ )

90%-tile値  $50.8 \text{ mSv} + 6.3 \text{ mSv}^* = 57.1 \text{ mSv}$  (38 mSv $^{\$}$ )

(\* 津島経由で3月15日二本松に避難した場合の経口摂取分)

$^{\$}$ 日本人の $^{131}\text{I}$ 甲状腺取り込み率を30%ではなく、実測値に近い20%として計算。

## 包括研究中間評価:1歳児の甲状腺線量推計

	1.事故後 4ヶ月の外 部被ばく* (mSv)	2. 吸入被 ばく平均値 (mSv)	3. 経口被ばく 平均値 (mSv)	1+2+3	UNSCEAR 2013 平均値 (mGy)
富岡	0.7	6.1	10.2	17.0	49
大熊	0.9		5.6	12.6	36
双葉	0.8		3.6	10.5	15-19
楢葉	0.5		4.3	10.9	69-82
浪江	1	31.4	6.3	38.7	81-83
南相馬	0.8	8.3	6.3 (津島経由 で避難)	15.4	47-53
			6.1 (原町で屋 内退避)	15.2	

\* 県民健康調査  
行動調査データより推計

吸入被ばくは3/17日までの評価値、  
経口被ばくは3月31日までの評価値

# 包括研究中間評価： 1歳児の甲状腺線量推計

	1.事故後 4ヶ月の外部被ばく *(mSv)	2. 吸入被ばく 平均値 (mSv)	3. 経口被ばく 平均値 (mSv)	1+2+3	UNSCEAR 2013 平均値 (mGy)
飯舘	4.1	3.7	22	29.8	56
川俣	0.8		4.9	9.4	65
田村	ND		5.6	9.3 + a	44
広野	0.5		2	6.2	34
川内	0.8		10.2	14.7	47
葛尾	0.8		0.3	4.8	49
いわき	0.3		4	8	33-52
中通(県北)	1.4	0.4 ~ 1.2	(1.8~2.6) + a		
中通(県中)	1	0~9.4	(1~10.4) + a		
中通(県南)	0.6	0.7~9.5	(1.3~10.1) + a		
会津	0.2	0~0.9	(0.2~1.1) + a		
南会津	0.1	ND	0~0.7	(0.1~0.8) + a	

\* 県民健康調査  
行動調査データより推計

吸入被ばくは3/17日までの評価値、  
経口被ばくは3月31日までの評価値

# 結論

- ソースタームの改定、WSPEEDIの気象計算モデル、沈着パラメータ等の改良により、土壌沈着データや空間線量率測定値との整合性が向上
- 避難途上の吸入被曝を避難住民の体表面汚染密度( $^{131}\text{I}$ ,  $^{132}\text{I}/^{132}\text{Te}$ ,  $^{133}\text{I}$ )より推計し、短半減期核種を含めた線量を初めて評価
- 実測値のない初期の飲料水・煮炊き水からの内部被ばく平均値を推計
- 体表面汚染分布を使った2D-MCシミュレーションによる1歳児の吸入被ばくの中央値、90%-tileと水からの線量の平均値の和は、  
浪江の成人WBCから $^{131}\text{I}/^{134}\text{Cs}$ 比=3.8で計算した値より高めの評価、  
しかし、甲状腺 $^{131}\text{I}$ 取り込み率20%とすると、ほぼ同じ
  - 2D-MCシミュレーション、飲水からの評価が一定の妥当性を持つ
  - 浪江とほぼ同じ時期に実施した飯舘や川俣のWBCとの比較においては、飲水からの内部被ばくが相対的に高いため、飲水からの線量を平均値でなく、幅のある値で比較する必要がある

## 結論

- 1歳児の外部被ばく、内部被ばくからの甲状腺等価線量の平均値は、UNSCEAR報告の7%～69%となった
- 1歳児の甲状腺等価線量の平均値は、全ての地域で40mSv未満
- 計画的避難地域住民の避難時期、時期毎の避難割合、飲水量の幅に不確かさがある
- 日本人の甲状腺<sup>131</sup>I取り込み率の不確かさが、実測値ベースの線量評価との比較において問題となる

## 今後の予定(H29年度、H30年度)

WSPEEDIの不確実性の低減： SPMの<sup>129</sup>I濃度データとの照合作業。アンサンブル計算。

住民の行動調査との照合： 段階的避難シナリオを採用している飯舘や南相馬(原町地区、鹿島地区)等の経口摂取や吸入による被ばくの再評価

3月17日以降のプルーム曝露が大きかった地域の吸入被ばくの推計。

日本人の年齢別飲水量の幅を含めた線量評価： 厚労省研究班との連携

1歳児 1L 成人 1.8L は、飲水量平均値としては安全側

日本人甲状腺モデルの検討： 体積、甲状腺取り込み率

最終年度に線量再評価

## 「県民健康調査」検討委員会「甲状腺検査評価部会」設置要綱

## (設置)

第1条 「県民健康調査」検討委員会（以下、「委員会」という。）設置要綱第5条の規定に基づき、「県民健康調査」甲状腺検査について、病理、臨床、疫学等の観点から専門的知見を背景とした議論を深め、適切な評価を行っていくため、「甲状腺検査評価部会」（以下「部会」という。）を設置する。

## (所掌事項)

第2条 部会は、前条の目的を達成するため、次の事項を所掌する。

- (1) 甲状腺検査結果の検証・評価に関すること。
- (2) 甲状腺検査の実施に必要な事項に関すること。
- (3) その他、検討委員会が指示した事項に関すること。

## (組織)

第3条 部会は、委員会の座長が指名する委員会の委員及び委員以外の有識者で構成する。

- 2 部会員の任期は、委員会委員と同じくする。
- 3 部会員は、再任されることができる。
- 4 部会に部会長を置き、部会員の互選によってこれを定める。
- 5 部会長は、部会の会務を総理する。
- 6 部会に副部会長を置き、部会長がこれを指名する。
- 7 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、副部会長が、その職務を代理する。

## (運営)

第4条 部会の会議は、部会長が招集する。ただし、新たに組織された部会の最初に開催される会議は、委員会の座長が招集する。

- 2 部会長は、部会の会議の議長となる。
- 3 部会長は、必要があると認めるときは、部会の会議に部会員以外の者の出席を求め、その意見を聴取することができる。

## (報告)

第5条 部会における検討内容等については、直後に開催される検討委員会において、部会長が指名した者が報告を行う。

## (事務局)

第6条 部会の庶務は、委員会事務局で行う。

## (その他)

第7条 部会の公開、資料及び議事録の取扱いは、委員会運営要領に準じる。

- 2 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、知事が別に定める。

## 附 則

この要綱は、平成25年8月30日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

「県民健康調査」検討委員会「甲状腺検査評価部会」部会員名簿

50音順 ・ 敬称略

氏名	現職
あみ ひろふみ 阿美 弘文	一般財団法人 大原記念財団 大原総合病院 外科主任部長 (一般社団法人福島県病院協会 推薦)
かたのだ こうた 片野田 耕太	国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計・総合解析研究部 部長
かとう りょうへい 加藤 良平	国立大学法人 山梨大学大学院 医学工学総合研究部 人体病理学講座 教授 (一般社団法人日本病理学会 推薦)
すずき げん 鈴木 元	国際医療福祉大学クリニック 院長 (一般社団法人日本放射線影響学会 推薦)
そぶえ ともたか 祖父江 友孝	国立大学法人 大阪大学大学院 医学系研究科 社会環境医学講座 環境医学 教授 (一般社団法人日本疫学会 推薦)
たかの とおる 高野 徹	国立大学法人 大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌代謝内科学 講師 (日本甲状腺学会 推薦)
みなみたにかんし 南谷 幹史	帝京大学ちば総合医療センター 小児科学 病院教授 (一般社団法人日本小児内分泌学会 推薦)
よしだ あきら 吉田 明	公益財団法人 神奈川県予防医学協会 婦人検診部 部長 (日本内分泌外科学会及び日本甲状腺外科学会 推薦)



## 学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会設置要綱

### (設置)

第1条 「県民健康調査」検討委員会（以下、「委員会」という。）設置要綱第5条の規定に基づき、県民健康調査における学術研究目的でのデータの提供に係るルールを制定するにあたり、個人情報、法律、疫学、統計等の観点から専門的な助言等を得るため学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会（以下、「部会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 部会は、前条の目的を達成するため、次の事項を所掌する。

- (1) 学術研究目的のためのデータ提供に係るルールの骨子となる考え方に関すること。
- (2) その他、検討委員会が指示した事項に関すること。

### (組織)

第3条 部会は、委員会の座長が指名する委員会の委員及び委員以外の有識者で構成する。

- 2 部会員の任期は、委員会委員と同じくする。
- 3 部会員は、再任されることができる。
- 4 部会に部会長を置き、部会員の互選によってこれを定める。
- 5 部会長は、部会の会務を総理する。
- 6 部会に副部会長を置き、部会長がこれを指名する。
- 7 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、副部会長が、その職務を代理する。

### (運営)

第4条 部会の会議は、部会長が招集する。ただし、新たに組織された部会の最初に開催される会議は、委員会の座長が招集する。

- 2 部会長は、部会の会議の議長となる。
- 3 部会長は、必要があると認めるときは、部会の会議に部会員以外の者の出席を求め、その意見を聴取することができる。

### (報告)

第5条 部会における検討内容等については、直後に開催される検討委員会において、部会長が指名した者が報告を行う。

### (事務局)

第6条 部会の庶務は、委員会事務局で行う。

### (その他)

第7条 部会の公開、資料及び議事録の取扱いは、委員会運営要領に準じる。

- 2 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、知事が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成28年3月7日から施行する。

# 学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会 部会員名簿

50 音順 ・ 敬称略

氏名	現職
いのうえ ゆうすけ 井上 悠輔	国立大学法人東京大学 医科学研究所公共政策研究分野 准教授
おおひら てつや 大平 哲也	公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 健康調査支援部門長
かも けんいち 加茂 憲一	北海道公立大学法人札幌医科大学 医療人育成センター数学・情報科学講座 准教授
かんの はるとか 菅野 晴隆	福島県弁護士会 弁護士
さいとう ひろゆき 齋藤 広幸	公立大学法人会津大学 復興支援センター 上級准教授
しおや ひろやす 塩谷 弘康	国立大学法人福島大学 人文社会学群行政政策学類（法社会学担当） 教授
たかの たけひこ 高野 武彦	福島県保健福祉部 次長（健康衛生担当）
つがね しょういちろう 津金 昌一郎	国立研究開発法人国立がん研究センター 社会と健康研究センター長
ほうざわ あつし 寶澤 篤	国立大学法人東北大学 東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門 教授
ほし ほくと 星 北斗	一般社団法人福島県医師会 副会長

## 甲状腺がん等症例の把握について

平成29年10月23日

## 1 経緯

- 第27回「県民健康調査」検討委員会において、県民健康調査甲状腺検査で把握した事例以外の保険診療等の事例の把握についての意見があり、継続して検討することとなった。
- 県では、検討委員会での意見を踏まえ、保険診療されている事例等の情報提供等について、県立医科大学と協議してきた。

## 2 福島県立医科大学における取り組みについて

県立医科大学甲状腺・内分泌センターにおいて、以下の取り組みが予定されている。

**「県民健康調査 甲状腺検査」集計外の甲状腺がんに関する学内の調査について**

福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 甲状腺・内分泌センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2017年〇月〇日 福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター  
甲状腺・内分泌センター長 横谷 進

**【研究課題名】**

「県民健康調査 甲状腺検査」集計外の甲状腺がんに関する学内の調査

**【研究期間】**

2017年〇月〇日（承認日）～2019年9月30日

**【研究の意義・目的】**

県民健康調査 甲状腺検査では甲状腺がんの集計を担当していますが、集計の対象とならなかった甲状腺がんの患者さんがどれくらいいらっしゃるのかを福島県立医科大学学内で調査します。

**【研究の方法】**

県民健康調査 甲状腺検査の対象者の中で、学内で甲状腺がんの手術を受けた、または、学内で穿刺吸引細胞診により「悪性、または、悪性の疑い」と診断された患者さんを対象にします。放射線医学県民健康管理センターへの照会を通して甲状腺検査の集計外であることを明らかにし、人数を集計します。